

被災地6年目の声

復興住宅訪問支援シートからプライバシー保護を考慮して週末ボランティアでまとめたものです。(担当はお伺いしたボランティア、自筆は被災者の方が直接書かれたものです。)

1月8日

[復興住宅]

・高血圧・不整脈・メニエル病。今は小康状態だが、検査などを受ける為、3ヶ所の病院へ通っています。市街地にいる息子とは、よく行き来をよくしており、ご近所とはお茶を飲む等、仲良くしている。でも通院がある為、行事にはなかなか参加できない。〈「安心カード」と「火事・救急ステッカー」を差し上げた〉。(70歳女性、一人暮らし、担当：矢野、岸本、矢萩)

・ここはドアを閉めてしまったら、コミュニケーションがとれなくなり、寂しい。同じ仮設にいた方達が、入居しているようだが、どの棟に住んでいるのかわからない。週3回、病院通い(肝臓病と心筋梗塞)をしている。病院の方が、話の合う人がいて、楽しい。行事には、いつも参加しない。昼食代でお金を取られるより、病院代を払う方が自分の為になる。〈戸口でも、部屋が酒臭かったので心配です〉。(65歳以上男性、一人暮らし、担当：沼田、辻野、藤丸)

・以前住んでいたアパートは、雨漏りなどしていたが、4年間辛抱しました。今は良い所に住まわしてもらっています。私は腰が悪く、歩けなくなった為…去年手術をしました。夫は酒・タバコ・勝負事を一切しません。でも収入は月13~15万なので、生活が苦しく…なかなか病院へ行けない。毎月8,400円の国保の支払いも辛い。自立支援金をもらえれば、少しは助かるのだが…。罹災証明はあるのに、何回手続きしてもダメ、なぜ…。公営ではグループが出来てしまい、人間関係は分裂している。ちょっと落ち込んでいたけど、おかげで元気になりました。〈ご近所の方も呼ばれ、皆で歌を歌い、和やかな時間を過ごしました〉。

1月20日：被災者連絡会に訪問してもらったところ、(1)自立支援金・半壊の為、解体証明が必要。現在そのアパートはまだ建っている為、支払いが行われぬ。(2)生活保護…ご主人が「まだ頑張る」と言われており、ご主人にとっても張り合いとなるので、その気持を大事にされては…。生活保護は受けられます。いつでもお手伝いしますよと伝えた。今後も継続し、訪問を行います…と連絡が入る。(66歳、2人暮らし、担当：長船、小波本)

・糖尿病と肝臓が悪い。耳鳴りがする。今、何か仕事をしてみたい。1ヶ月10日ぐらいでも、ダメやったら仕方ないけど…。以前、浄水器サギにあい、解約の時…2万円取られた。あと宗教も来たけど、危ないから断った。階段が黒く汚れているので、自分の家から水を運び、掃除をしている。7階の中央あたりに水道栓を付けて欲しい。〈市にホースを調達してくれるよう、掛け合ってみたらどうかとお伝えする〉。(68歳男性、一人暮らし、担当：小波本、長船)

・2年前の手術で片肺を取ってから、背中に痛みがあり、一時入院した事も…。今は長く歩くと、しんどい。特に、7棟(エレベーター)までの、坂が辛い。(72歳、2人暮らし、担当：岸本、矢野、矢萩)

・母(95)は骨折が治らず、1月中に転院する予定。今の病院は良い所だが、市外からの入院だったので、色々不都合があり、変わらざるを得なくなった。「水道局から来た」と入居当初にだまされて買った浄水器の金だが、まだ支払っている(月3,800円×5年)。事を大

きくし、今より多額の金を支払わされるのが嫌なので、電話番号を聞いた消費者センターには、相談していない。今も時々訪問販売が来るが、すべてインターホン越しに断っている。(57歳男性、一人暮らし、担当：岸本、矢野、矢萩)

・ここは買い物が不便なので、バイクを使うが、ミラーを盗られたりするので、今は建物の陰に置いている。悪い奴おるで…。夏はベランダに西日が射し込み、部屋が暑いので、日中は廊下で過ごした。冬は暖かい。ここの坂はきつく、腰の具合が悪くなった。また喘息で片肺がなく、心臓の具合も悪いので…安定剤を飲んでいる。「心のふれあいセンター」が3月に閉まるのは、寂しい。(77歳男性、一人暮らし、担当：小波本、長船、小林(弘))

・「いのち…聞かせて」は、ボランティアの人が詞を作り、僕が曲を付けたんよ。僕は、商売人やった。震災の1年前から目が悪くなり、その後さらに悪化し、自動車が運転できなくなったので、商売もやめた。そして以前から音楽が好きだったので、キーボードを買い作曲を始めた。この目は難病指定で、医者が「治す事はできないが、悪化を止める事はできる」と言うので、薬を使ってみた。でも右目は完全に光を失い、左目(0.03)は辛うじて何とか見る事ができる。もっと訪問してもらいたい。〈キーボードで演奏して下さり、感激しました〉。(63歳、2人暮らし、担当：猪上、赤西、浦口)

・糖尿病で人工透析を受ける為、入院中。今日は外泊許可をもらった。一人でいる時は、テレビゲームでパチンコ・麻雀・将棋などを楽しんでいる。でも、一人だと寂しい。食事や水の制限をされている(1日700ml)。どうしてもものが渴く時は、氷をなめている。〈お土産に、チョコレート・ジュース・アイスクャンディーをたくさん頂いた。他にも部屋に甘い物がたくさんあり、外泊許可で帰った時が、少し心配に思われる〉。(50歳男性、一人暮らし、担当：沼田、藤丸、辻野)

1月15日

[復興住宅]

・最近、夫が退院して、家に戻ってきた。先日、下の集会場で「ふとんの実演販売」があり、参加者一人一人に花束が渡され、話を聞かされた。私は途中で退席したが、何名かは高額な羽毛布団を買わされたようです。(70代、2人暮らし、担当：赤西、加藤、里)

・足の具合が悪いので、出歩けない。何ヶ月に1回の訪問ではなく、頻繁に来て欲しい。来週でも、出来たら訪問して欲しい。〈鹿児島方面出身との事で、偶然そちら出身の者がおり、話に花が咲きました〉(80歳女性、一人暮らし、担当：赤西、加藤、里)

・車を運転するので、よく出掛けます。明石の市場まで、仕事で毎日出掛けています。でもそろそろ、引退しようとかとも思っている。ここは、人の交流がないので、寂しい。震災前の長屋では、「儲かりまっか？」などと声をかけ合い、毎日が楽しかった。地震が起きてから、ホンマ変わってしまった。でもあんたらな、中途半端はイカン！。最後までやり通さなアカンで！〈と力強く生きるコツを教えてくださいました〉。(77歳女性、一人暮らし、担当：小波本、猪上、伊富貴)

・10年前から糖尿病を患っています。足が痛み、なかなか起き上がれない。杖をつきながら、週4回病院へ通い、リュックを背負って買い物に行く。〈コープの宅配サービスのチラシを、お渡したところ〉これに頼るようになったら終いだし…。ずっと一人なので、慣れている。(78歳女性、一人暮らし、担当：浜本、今田、辻野)

・足が冷えるとこむら返りのような症状になるので、その時は湯で温める。年を取ったという気分になるのが嫌だから、カラオケをよく利用しています。坂が、急こうばいで…かなり距離があり、大変。荷物（買い物）が多い時は、タクシーを使わざるを得ない。（80歳、2人暮らし、担当：白岩、山本、原）

・10年前に脳梗塞を患い、左の手足が痺れる。市街地までの通院は遠いが、むしろ楽しみにしている。食事会などの行事にも、時々参加します。肉親と行き来はないが、ギャンブル友達とはよく会う。〈『火事・救急ステッカー』をお渡しし、『安心カード』もお勧めしたが…〉いらん。死ぬ時はしゃあないで。（66歳男性、一人暮らし、担当：小坂、矢野、矢萩）

・夫は40年間車に乗る仕事だったが、退職してからは足が悪くなり、歩けない状態になった。私も糖尿病でしんどい。入居当時…住宅前の坂道で転び頭部を負傷、入院した。この坂があるので、外に出るのが怖い。長男は夫の通院の為に送迎をしてくれ、娘は週1回、掃除などの身の回りの家事をしてくれる。とてもこんな状態なので、介護がなければやっていけない。〈インターホンを押してもしばらくは出てこられず、ドアを開けられた時は、「しんどくて朝から寝ていました」と疲れたご様子だった。『火事・救急カード』とカイロをお渡しする〉。（80歳、2人暮らし、担当：小坂、矢野、矢萩）

・仮設は寒かった。でも地元の方々から親切にしてもらい、物資もたくさん頂きました。考えてみたら避難所・仮設・公営と、いい所へ行け、運が良かったと思う。坂の下にあるローソンは、一人暮らし用の物が、よく揃っているので便利。午前中はレース編みをし、午後はよく出掛けています。レース編みはパティオで売っているんですよ。とにかく「元気なのが財産」です。（75歳女性、一人暮らし、担当：西畑、長船）

・膝が悪く、年とともに痛くなる。集会場にはよく行きますよ。一人では、生きていかれませんしな…。でも、こんな立派な所へ入れてもらったけど、これから年いくだけやし、大変やわ。（73歳女性、一人暮らし、担当：西畑、長船）

・公営住宅へ何回申し込んでも当たらず、一時は愚痴ばかり言ってノイローゼになっていた時もある。今だから言えるけど、家内に大きな声を出していた…。この棟の自治会を、2月から作るようにしている。亡くなった方もおられるので、自治会がないと困る事が、やはりある。（84歳、2人暮らし、担当：猪上、伊富貴、小波本）

・移ってから半年位なので、何とか慣れなければと思い、行事には極力参加しています。知り合いは2～3人出来たが、棟が離れている為、電話してからお茶を飲みに行くんですよ。エレベーターに近いせいか、インターホンを押して逃げるなどのいたずらをされた為、チャイムの電源を切っている。（68歳、2人暮らし、担当：小坂、矢野、矢萩）

・仮設（小規模）の自治会長を4年間していたので、ここで世話役を頼まれるが、しんどいで断っている。最近まで様々な勧誘の電話があり、迷惑していた。どこで調べてくるんやろか？電話帳にも名前載せてないのに。（71歳男性、一人暮らし、担当：赤西、加藤、里）

・夫の仕事（左官業）も少ない為、夫婦共に憂鬱になっている。（65歳、2人暮らし、担当：原、山本、白岩）

1月22日

[復興住宅]

・夫婦で談話室へよく出掛ける。夫は95年の秋、脳梗塞になり、手と右足が不自由に。それ

でもリハビリの甲斐があって、大分動くようになった。今でも毎日2時、棟内の階段を杖をつきながら上って、足を動かしている。(65歳以上、2人暮らし、担当：横山、辻野)

・被災時、ガスを止めろ！電気を切れ！と言うが、大災害の中でそんな事出来るもんじゃない。出来るならば…電力会社・ガス会社で実施してもらいたい。日本舞踊で、片足立ち等の鍛錬をしたので、足・腰は丈夫です。父からは感謝する事の大切さ、母からは料理について、しっかり教えてもらった。(75歳女性、一人暮らし、担当：片山、白岩)

・震災時、一昼夜気絶していた。頸椎を負傷したので、今も寝る時は横になれず、座卓に布団を敷き、座った状態で寝る。正座が出来ないので、毛糸をかぶせた風呂用の椅子に腰を下ろすが、立ったまま部屋の中をウロウロしている事が多い。右手も利かないので、物を落としても、壊れたり…下を傷つけないようタオルを敷き、その上にビニールをかぶせている。また床や畳にいつも雑巾を置き、足で磨いている。身障者にならないよう、頑張っています。LSAは3人いるが、平日は私が通院しており、土・日はLSA室が閉まってしまい、個人的には…余り頼りにならない。要介護認定の書類が来たが、ケアプラン作成をどうしたらよいか→現在デイサービスに通っているという事なので、施設の方に相談する事になった。〈昔は山好きで、寝食を忘れる程だったとの事で、冗談好きな…面白い方でした〉。(80歳女性、一人暮らし、担当：土谷、矢萩)

・今のところ、困っている事は何もない。支払いは7月やったかなあ？ ふとんの…。〈セールスマンに勘違いされたようだが、その事には余り触れられたくないご様子。「消費者相談コーナー」が載っているチラシは、渡せずじまいでした〉。(65歳以上、2人暮らし、担当：横山、辻野)

・血行障害から右足が悪くなった。今は3ヶ所の病院へ通っています。坂がしんどい。ヘルパーさんが週1回、掃除と洗濯に来るが、1時間じゃ大した事はしてもらえない。4月からは介護保険で2時間になるかな？ 困った時はボタンを押し、LSAの人に来てもらう。ボタンの音は響くのか、近所の住人が駆けつけてきた事も…。食事会には、顔を出さない。話し相手がいないから…。(85歳男性、一人暮らし、担当：横山、辻野)

・ここは年寄りが多くて…。特にこのフロアは80歳前後が多い。動ける人、そうでない人、色々いる…。ボランティアがよく来てくれるし、恵まれているのと違いますか？ (70代、2人暮らし、担当：赤西、長船)

・終戦直後、夫を亡くし、日本中が廃墟となっていた。それを考えると、ボランティアも物資の援助もあった震災は、それほど大変ではなかった。年々…気力と体力の衰えを自覚するので、昔の張り詰めた気持ちを取り戻したいと思う事もあるが、かつてのハングリー精神やモチベーションは蘇らない。今は近所の人にご馳走をしたり、世話になったお医者さんとの交流が楽しみ。〈ご自分の人生経験を語られたり、“お花”の指導をされるなど、晴れ舞台や役割を提供出来れば、ますますお元気で活躍して下さるのでは…〉。(86歳女性、一人暮らし、担当：白岩、片山)

・耳が聞こえにくい〈筆談になる〉。腰も頭もふらつく。脳梗塞で、左半身が動かないので、ヘルパーに週に2回来てもらい、買い物や家事をしてもらっている。デイサービスセンターにも行ってます。なるべく動くようにしてるけど、何回転んだかわかりません…。まるで閉じこもっているようで、恥ずかしい。春になったら、少しは外に出られるんやけど…。(80代男性、一人暮らし、担当：赤西、長船)

・頻りに野菜等の販売車も来るので、買い物の不便さは感じない。子供達や友だちがたくさんいるので、孤独感は感じない。私も地震前から一人暮らしですが、「孤独死」という惨めなところばかり報道せず、元気な人の事も報道してもらいたい。(65歳以上女性、一人暮らし、担当：福本、矢野)

・今のところ、世話になる事はない。妻は痴呆で、訳のわからん、ムチャな事を言いよる。自分の家という事がわからんようで、よその家に世話になってると言う。ここへ来てひどくなった。他は、どうもないのやけど…。(65歳以上、2人暮らし、担当：赤西、長船)

・避難所では、青森や福岡などのボランティアが来てくれ、嬉しかった。その頃作った短歌です。『この頃の若人等と思いに ボランティアの姿美し』。亡くなった夫に苦勞させられたが、その後も借地権のトラブルに巻き込まれる等…色々あって、ストレスが溜まるばかり。毎日仏壇に線香をあげ、「こんなに苦勞しているんやから、出てきて手伝ってくれ」と言うている。L S Aの方が、日に2回来てくれる。ここでは他に話す人がいない。随分しゃべったな。あんたら災難やったけど、話せて嬉しかった。今度いつ来てくれる。(82歳女性、一人暮らし、担当：藤丸、小林(弘))

・3日前に退院したばかり。苦勞して家を見て、一生住めると思ったのに、全壊。ショックは大きく、情けない…。でも命があって良かった。家がつぶれて、考え方が変わった。貯めて…持っていける物でもないし、何事も不足と思わないようにしている。そして元気で、人様に迷惑掛けないようにしたい。(80代女性、一人暮らし、担当：赤西、長船)

1月29日

[復興住宅]

・最近、震災の事を思い出し、眠れない。早く床に着いても、朝方まで眠れず、眠剤に頼る事も…。私は静かなのが苦手で、隣近所の声…子供の声が部屋にいて、聞こえる方がいいのだが。(79歳女性、一人暮らし、担当：赤西、森栗)

・公営の近くにバスを通して欲しい。また入口ステップの高さが40cmもあり、年寄りや障害者に不便だと、区役所へ訴えた。市バスは、小型バス・低ステップバスの導入・改良を、予定している。山陽バスは、前向きに考えていると、市より説明があった。最近、建物の名称に横文字が多い。年寄りには覚えにくく、意味も理解できないのでは？ 学校教育の第一歩は、家庭教育から！〈とても熱く語られていました〉。(77歳、2人暮らし、担当：赤西、森栗)

・建物の設備がいいだけでは、年寄りにはあかん。坂下のバス停までおりられん人がようけおる。この坂を上ってくるコミュニティバス(テレビで放映していたのは100円だった)があれば、いいのだが…。〈妻〉仲良かった友達に会いたいけど、くも膜下出血で足が悪くなり、耳も聞こえなくなったので、自由に動けない。だから、同じ年頃の方が来てくれ、嬉しいわ。近所の方がよくして下さり、娘もこの棟に住んでいるので、安心。でも仮設の時と違い、戸を開けて「まあお茶でも…」という雰囲気はなくなった。集会場へ行っても耳が聞こえないので、行ってない。〈奥さんとはボードを使いながら、話をしました。また「安心カード」と「かみひこうき」をお渡しした〉。(79歳、2人暮らし、担当：里、長船)

・ここでは近所付き合いは、少ない。震災の事は、経験した人でないと、話してもわからない。〈と言いながら、高校生と大学生である若い私達に、震災の苦しい体験談を語って下さった〉。(67歳、2人暮らし、担当：氏江、河野、辻野)

・糖尿病で内臓の調子が悪い。寝ているだけなので、いろいろな事を考えてしまう。最近よく転ぶので、医者からヘルパーを頼んでもらい、買い物をしてもらうようになった。この坂道は、下る時が怖い。坂がきついので、急に足が速くなり、転びそうになる。(70代女性、一人暮らし、担当：里、長船)

・淋しいから、一人であちこち歩き回っている。集会場にも行くが、友達はいない。名谷駅近辺へ行くと、知り合いに会えるので、よく行きます。〈歌がお好きとの事で、生き生きと話して下さった〉。(71歳男性、一人暮らし、担当：里、長船)

・糖尿病と狭心症(ニトログリセリン常備)。でもペーパーブロックを作り皆に配ったり、材料を買いに大阪へ行ったりもする。上の住人の物音が響くので、狭心症の診断書をもらい管理事務所へ行ったが、個人の性格の問題という事で、なかなか取り合ってくれない。証拠として録音しろと言われたので、最新型のMDを買った。〈コーヒーカップや帽子を集めておられるとの事で、とても楽しく話されており、まだまだ話し足りないご様子でした〉。(66歳男性、一人暮らし、担当：土谷、福本、辻野)

[一般公営の空き家募集入居者]

・隣近所のコミュニケーションがないから、こもりつきり…。だから回りに住む人が、どういう人か知らない。家賃が高い為共働が多く、自治会がない。仮設にいた頃は集会場で将棋を打っていたものだが、今は何もする気になれない。ここは方向音痴になりやすい。(83歳男性、一人暮らし、担当：矢野、小波本、森岡)

・自治会行事はなく、近所付き合いもないので、テレビを見てボーっと過ごしている事が多い。駅前へ買い物に行った時、同じ仮設だった人と、お茶を飲むぐらいが楽しみ。最近物忘れが激しいので、メモして持ち歩くようにしているが…。ここに来てから、ずっと食欲がない。手術をした右足も痛む。目が痛むので、神戸大病院へ月1回通っているが、2~3時間待って診療は1分程度。原因も病名も教えてくれない。〈テレビを見られる時に「おかしい時は笑い、腹が立つ時は怒った方がいいですよ」とお伝えした。同じ事を何回か繰り返し話されていたので、気になった〉←定期的に訪問する予定。(67歳男性、一人暮らし、担当：伊富貴、島原、矢萩)

2月5日

[復興住宅]

・平成9年に仮設内で倒れ(くも膜下出血)、左半身不随となった。少しでも良くなるよう、「しあわせの村」へリハビリに行っている。バスで通えないのでタクシーを利用するが往復1万円かかり、タクシーチケット補助(500円×72枚/年)があっても、大変な負担になる。介護用品についても、補助を受けられる用品が限定されており、値段も高価だ。各人の経済状況に応じ、柔軟な対応をしてもらいたい。毎日忙しく、過ごしています。相談を受ける際、自分から情報を出すか、そのかわり情報も入ってくるというネットワークが広がり、友達が増えている。また、いつでも寄って下さい。(65歳男性、一人暮らし、担当：土谷、藤丸、瀬戸)

・妻は12年前、脳梗塞で倒れ、左半身不随となった。今では寝たきりになっており、理解力もない。おしめの世話が必要で、24時間介護している。「どうですか…? 顔を見たら安心や。」というボランティアが、ちょくちょく来て迷惑。自分の家をのぞかれているようで…。

私は身内がおらず、小さい頃から大変苦労した。妻がいるからこうしているが、妻が亡くなったら私はどうなってもいい。また機会を作り、お出で下さい。〈はがきで、お礼状を出しました〉。(57歳、2人暮らし、担当：堀、長船、白岩)

・リウマチで両手足が使えない(障害1種1級)為、買い物や炊事・家事は全て夫に任せてもらっている。夫は建設作業の仕事で、あちこち(遠くは姫路まで)行くが、体力はある方で、力は若い人に負けないくらい。バスが近くを通るらしいが、ステップを上がれないので、乗る事が出来ない。食事会に参加しており、知り合いも何人かできた。ここは住み心地がいい。(60歳、2人暮らし、担当：山室、猪上、矢萩)

・夫婦共に、元気です。よく食べ、毎朝1時間くらい2人で散歩している。ここは違法駐車が多く、約2万円も払って駐車場を借りているのが、バカバカしくなる。家賃は、しばらく市が3割負担してくれるはずなのに、今度から1割負担だという通知が来た。年金暮らしの為、収入は全く変わっていないので、困っている。〈再訪問の際、家賃の減免申請手続きに最寄りの区役所へ出向くよう伝える予定〉。ここは開発が進んでいるし、これからもっといい所になる。長生きせなあかん。(70歳、2人暮らし、担当：矢野、白倉)

・痛風に悩まされている。毎日焼酎を飲んでいるのが、いけないのだろうか? でも飲まずには、寝られないからね。男一人、ここに住んでいたら…。(70歳男性、一人暮らし、担当：横山、堀内、赤西)

・夫は鉄鋼関係の塗装の仕事をしているが、不況で生活が苦しい。ストレスだらけで、何もする気になれない。夜もなかなか眠れない…。一人暮らしの方に料理などを持って行くが、相手の方もお返しを気にするので、気を使う。自治会ができない。犬や猫を飼っている人がいるが、市に言っても何もしてくれない。痰や唾を吐く人も多い。エレベーター内に『小便するな!』と書いてある程で、マナーが悪すぎる。話を聞いてくれるボランティアなので、普段言えない愚痴を言え、すごくスッキリした。〈今の日本・若者について怒っていらした。その若者達を作ったのは、自分達だ…とも〉。(77歳、2人暮らし、担当：小波本、立花)

・酒を1日1升飲むが、肝臓や腎臓は、どこも異常がない。近くの立ち飲み屋へ、よく行く。酒を止めたら、胃潰瘍が治ると医者に言われた。(66歳男性、一人暮らし、担当：森岡、川口、福本)

・公営住宅内で、ボランティア活動をしている。近くの公営に、同じ仮設だった人が多く住んでいるので、食事会などを通し交流しています。娘(20代)と2人暮らしです。息子とは、所得制限があるので別居しています。(40代、2人暮らし、担当：堀内、横山、赤西)

2月12日

[復興住宅]

・仮設では、泥棒やケンカ…本当に色々あった。住み心地は悪く、人間の浅ましきを見てきた。だからここに来て、周りの人とは余り交流がない。鉄の扉で区切られ、人間関係は本当に希薄だ。自殺者も、何人か出た。神戸市はハコを作って、それでもういいと思ってるみたい…。震災前からずっと一緒のペットと、離れられない。ペット禁止の為、以前「飼うな。ぶつ殺すぞ!」と言われた。糞の始末もきちんとしており、責任を持って飼っているのに、どうしてこんな事言われるのか…。昔大した目的意識も持たずにやってきたボランティアを、怒鳴って追い返した事がある。この住宅では、ボランティア活動していくのは、すごく大変だと思う。で

も一步一步積み重ねていって、何か出来るはずだ。苦労も多いだろうけど、頑張る。(69歳、2人暮らし、担当：永安、白倉)

・白内障で、月1回通院している。バスの停留場が年寄りには遠く(2号線まで歩かなければならない)、4車線の道を渡るのが怖い。(70代、2人暮らし、担当：矢野、白岩)

・転居後しばらくは、前住んでいた所へ行き友人と会っていたが、帰ってくるとよけい寂しくなるので、行かなくなった。入居2ヶ月になるが、眠れない(眠剤を飲んでいる)。前の所が賑やかだったのに比べ、ここは人気ほとんどないので、怖い…。それに、人付き合いするのが嫌になった。行事もあるらしいが、参加していない。今は夫の給料で食べさせてもらっているが、働きたいと思い、ハローワークで探しても…ない。〈シルバー人材センターを紹介したところ…〉月1回、区役所に行くので寄ってみます。山姥ギャルとか、最近の若者はようわからんが、こういう…すがすがしい人もおるんや。今日は若い人と話ができてよかった。(70代、2人暮らし、担当：長船、辻野(祥)、矢萩)

・全体の掃除は、階によって参加状況がバラバラだ。よくある孤独の問題も、付き合いが出来ないのでなく、付き合いをしない人が多いのではないかと思う。人の心は難しいものだ。市は「自治会を作れ。選挙で」と言うが、どんな人が住んでいるのか…分からない状況で、投票のしようがない。人々の心が落ち着き、互いに分かるまで、相当の時間がかかるだろう。〈男性二人で、共同生活をされていた〉。(？歳男性、一人暮らし、担当：白岩、矢野)

・地震当日、起きてテレビを見ていたが、結局…家が焼けてしまい、何も取り出す事ができなかった。〈戸口から見た限りでは、部屋の中に荷物を確認できなかった。ガスを使われておらず、畳の上に食器を置かれ食事をされていた。孤独に注意したい〉。(？歳男性、一人暮らし、担当：白岩、矢野)

・自治会がないので、出来る事を強く望んでいます。心臓が悪いので1日3回、ニトログリセリンを飲んでいる。スーパーが近くにあるけど、品数や店舗の間取りが中途半端で、利用しにくい。(？歳男性、一人暮らし、担当：里、福本)

2月19日

[復興住宅]

・10年程前から胃潰瘍だが、通院していない。視力が低下し、ぼやっとしか見えない。病名は分からず、治らない…。収入は、市バスの運転手をしていた時の年金だけなので、毎月の国保の支払い(¥15,000)が痛い。仮設の時はボランティア(元気村・ノーサイド)がよく来てくれたが、今はほとんど来ない。楽しみもなく、一日テレビを見ているだけ。〈お友達が来訪中でした。お話中に、タバコをしきりに吸われていたのが、気になった〉。(60歳男性、一人暮らし、担当：辻野、矢萩)

・市街地の会社へ通うのに大変だったが、北区の仮設はいい所だった。元気なおばあちゃんが多く、出張でしばらく留守にしていると「元気やったか」と訪ねて来てくれた。それに比べると、ここは孤独だ。横の繋がりが無い。私達…若い者でも、一人で部屋におったら変になる。来るのは訪問セールスばかり。うるさいから、この階の人…みんな表札外しているやろ。(48歳男性、一人暮らし、担当：里、小林(弘))

・妻は体に障害がある。自分も今、風邪で体調を崩している。〈「何かお困りのことは？」とお聞きすると…〉ここはもう、大変なことばかり。苦労ばかりしている。今は体調が悪いけど、

また来て下さい。(?歳、 2人暮らし、担当：片山、白倉)

・〈前回訪問・家賃は、市が3割負担だったが、4月より1割負担になると通知を受けた。年金収入は変わっていないのに…。ご夫婦によると「市の窓口へ行っても、理解できる説明をしてくれないので、納得できない」との事。調べるお約束をしたので、被災者連絡会へ資料コピーをFAXで送り、詳しい説明を受けた。3月4日訪問をし、お伝えする予定。(70歳、2人暮らし、担当：白倉、片山、若菜)

・お金があれば、不自由しない。健康も…自分で守らなければ、誰も助けてくれませんよ。自分でやっていきます。ボランティアさんには、あまり頼りたくない。(?歳、 ?人暮らし、担当：矢野、山室、福本)

・物事をあまり深く考えないタイプなので、困っている事ないなあ。腰痛(持病)だが、歩く事には自信があり、毎朝2~3キロ散歩する。でも最近は足腰が弱くなって、歩幅が狭くなった。高齢世帯支援員が1~2週間に一度訪問してくれ、住み心地は良く、将棋をする友達もできた。ただ同じ仮設からここへ3人来ているが、女性の一人暮らしの家には行きにくい…。ボランティア主催で『男の料理教室』が、今までに4回あった。参加者20~30名のうち、実際男性は5~6名。それも資金難という事で、次回で最後になるのが残念だ。(77歳男性、一人暮らし、担当：矢萩、小林(好)、辻野)

・戦後復員して働き詰めに働き、工場を持ったが、家も工場も震災でパー。今は息子がやっているが、不景気だ。身障3級だが、福祉からの援助は…ほとんどない。知人が同居し、身の回りのことをしてくれている。医者へ行くのに、タクシーを利用するが、往復5,000円かかる。今でも5~6ヶ所へ通院しているので、大変だ。市役所に、公営前までバスを通すよう掛け合ったが、「12月までには、何とかします」との返事。それまで待つ言うんか? テープを聴くしか、楽しみはない。集会場は普段閉められており、使うのに許可や料金が必要だ…。棟の中に皆が集まって、テレビを見たり話したりする場所が欲しい。(82歳、2人暮らし、担当：里、小林(弘))

・息子(未成年)の収入と、私の収入(被災地しごと開発事業)を合わせても20万以下だ…。仕事で留守の時があるけど、いつでも来て下さいね。(42歳、2人暮らし、担当：土谷、長船)

・震災後5年にもなって、ボランティアが訪れて下さるのには、言葉で表せないほどの…ありがたさを感じる。右目は見えず、左の視力も0.6なので、医者に細かい字の読み書きを止められており、『かみひこうき』を出せないのが…残念だ。友達も数人出来た。高齢者支援員も週1回来てくれる(2年の期限付き)。でも、昔の歌を気の合う者同士、歌ったりしたい。また歌舞伎・俳句・日本画・洋画・宝塚歌劇について、話が通じる人は居ないだろうか? 〈一緒に「第一高等学校寮歌」・「妻をめとらば」を唄うと、とても喜んで下さった〉。(77歳女性、一人暮らし、担当：堀内、赤西)

[一般公営の空き家募集入居者]

・今は話し相手も2~3人出来、週1回須磨まで詩吟を習いに行く。でも仮設と違い、ボランティアや駐在さん等が来ない。たまに来るのは訪問セールス。息子が時々来て「カギやチェーンロックをかける」とうるさく言う。洗濯機がベランダにおけるので、随分楽になった。しかし隣の人が、夜中に洗濯するので困る(近所の方に話してもらったが、相変わらずだ)。団地

の老人会が、役員のなり手がなく…潰れた。(78歳女性、一人暮らし、担当：小林(弘))

・この住宅に決まった時は、市街地の便利な所と喜んだが…。建物は築40年経ち、すきま風もひどく、西日がきつい。住民のマナーも悪い。禁止されている日に生ゴミを出したり、ゴミをあちこち散らかすので、ゴキブリが増えるいっぽう。夜、ドアをどンドン叩く等、数えればきりが無い。間違い電話も多い(N T Tには相談した)。7月からの医療制度について、何か表のようなものがあれば欲しい。〈新聞に掲載されていた、段階別表をお送りする予定〉。(72歳女性、一人暮らし、担当：堀内、赤西)

2月26日

[復興住宅]

・2月初めに母が亡くなり、バタバタして落ち着かない。私は3年前、事故でほぼ失明状態(障害1種1級)になった。でも公営周辺の道だけは、ほぼ頭に入っているので、杖なしでも歩ける。炊事などもちょっと動作は鈍いが、一人でこなしている。訓練施設(点字講習・歩行訓練など)へ行くよう医者に勧められたが、入学するには検定があり、各区10人という枠もある。あと1年様子を見るつもり…。サラリーマンだったが、失明してからは仕事を失い、福祉(生活保護)を受けている。最低限の生活費だけなので、しんどい。(48歳男性、一人暮らし、担当：中田、矢萩)

・緑内障の為…視力が弱く、足もかなり不自由。娘と孫が近所に居るので、色々手伝ってもらっています。近くに利用しやすい病院がないので、長田区まで通院している。でも交通の便が悪いので、やむを得ずタクシーを使うが、往復7,000円程かかる。ふれあい喫茶等には、割と参加しています。ここは知り合いが出来にくいですね。(80代女性、一人暮らし、担当：池部、赤西)

・2年後ぐらいに、近くに日赤病院が出来ると聞いているが、早く作って欲しい。(？歳、？人暮らし、担当：今村、福本)

・年金が少ないので仮設にいた時は、昼間パートに行っていたが、今は働いていない。ここでは夕食会等、様々な催しがあるが、毎日だとしんどくなる。趣味の造花作りをしている時が、一番楽しいです(肩が凝るけど…)。今は病気にしないように気を付けている。またボタンを押せばL S Aがすぐ来てくれるので、安心だ。自治会がないので、マナーが悪い。犬を飼ったり、勝手にゴミを捨てたり…。(71歳女性、一人暮らし、担当：堀内、長船、山室)

・仮設の時に来てくれた、長崎や横浜のボランティアが、今でも訪ねてくれるのが嬉しい。一緒に写真を撮ったり話しをたり、孫といるような感じです。近所に弟・妹がいるので、毎日のように出掛けている。でも一人暮らしは、寂しい。仮設の時は、互いに物を持っていったりと、交流があってよかった。ここは扉を閉めたら、挨拶も言われへん。食事会などに誘われるが、ああいう所で話すのは…苦手なので、行ってない。4車線の横断歩道で事故があったが、私達(高齢者)はゆっくりしか歩けないので、渡り切らないうちに…『赤』になってしまう。(85歳女性、一人暮らし、担当：中田、矢萩)

・昨年12月、血圧が下がって動けなくなり、そのまま2ヶ月程入院し、最近戻ってきた。ここでは、みんな警戒心が強い。塩と酒だけで生活している、一人暮らしの男性が多く、孤独死が起こるのも…納得出来る。人は一人では生きられないのに、人付き合いもしないんだから…。仮設時代の友人と、どちらかが亡くなった時は、互いに面倒を見ようと言いつけている。翻訳

の仕事をしているが、人間…やる事があると、生きるにも張り合いがある。ここのボランティアは大変だと思う。寒い中、ご苦労様。(70代男性、一人暮らし、担当：竹森、矢野、白倉)
・高齢者支援員が週2回、回ってきてくれる。非常ボタンも整備され、バリアフリーなのでとても住みやすい。でも自治会が出来ないのが、気になる。同じ仮設にいた人とは、今でも付き合いがあるけど、それ以外は余り…。元気に過ごしています。仮設と違い、野菜作りが出来ないので寂しい。仮設の頃から、いつも来てくれてありがとう。97年の冬かな、“ふれあいセンター”前で作ってくれた焼きそば(カレー味でした)は…忘れられない。(65歳、2人暮らし、担当：竹森、矢野、白倉)

・被災時、骨折をした為…歩行困難となった。仮設住宅での暮らしは大変だったが、互いに心が通っていた。ここでは、自治会がとても出来にくい状況。近所付き合いは一切ない。でも来訪者は多いです。宗教・売り込み・インチキなど…。ボランティアと称して、家の中に入り込んだ宗教家もいた。遊びに来て下さい！。いつでもどうぞ！。お待ちしております(…と好感を持って下さった)。(62歳女性、一人暮らし、担当：伊藤、白岩)

・病院へは、2週間に一度行っている。この年になったら、仕事がない…。今のところ、義援金でやってます。掃除をしないといけないが、ほとんど誰も来ないし、きれいにすると他人の家みたいに居心地が悪いので…していない。男の一人暮らしには広くて、駅も近く、家賃も安い。でも、仮設の方が良かった。ここは近所付き合いがなく、寂しい。ボランティアが来たら、みんな喜ぶだろう。なんて事もない話だったけど、話せてスッキリした。〈帰り際、玄関を出てからも話が続いた〉。(59歳男性、一人暮らし、担当：安田、辻野)

3月4日

[復興住宅]

・足が象のように腫れ上がっている。45歳の頃発病したが、抗生物質が効かず、治療法がない。若い頃から胃下垂や手のしびれ・自律神経失調症…と病気続き。移動が不自由な為、トイレに近い所で…一日中寝起きしてあり、週1回「家政婦協会」の方に、薬や買い物を依頼している。風呂はほとんど入れず、洗濯機も使えないので、服は汚れたら…捨てる。歯がないので巻きずし・調理野菜等、近くのダイエーで売っている物を食べている。収入は月9万円の厚生年金のみ。廊下の電気ストーブや電子レンジを多用するので、電気代は月32,000にもなる(ガスは未使用)。早く…お迎えが来るのを、待っている。〈歌が好きとの事で、野ばらをドイツ語で唄って下さった。部品を用意し、レンジを載せるラックの補修をする予定。後日、福祉課を訪ねた。「保健婦やケアマネージャーなどが訪問するが、話を聞いてくれない。本人の申請が必要なので、福祉サービスや介護認定を行えずにいる」との事〉。(64歳女性、一人暮らし、担当：堀内、白岩、白水)

・夫はシルバー人材派遣の仕事をしている。帰宅後は、近くの公園で年配の方々と、一緒に将棋を指しています。仕事をしているという理由だけで、仮設・復興住宅とも…一番後回しにされてきた。ここでは、近所付き合いがない。しにくい。〈当日はお孫さんが遊びに来ていた〉。

(62歳、2人暮らし、担当：小田、伊藤、丸笹)

・平成8(1996)年からタクシーの運転手のアルバイトをしていたが、1月に右足甲を骨折し、入院中(外出許可をもらい、今日は帰ってきた)。3月中旬に退院予定だが、もう仕事はないと思う。仕事の情報が欲しい〈HYOGOしごと情報広場のチラシを、お渡しした〉。

保険料の支払いは、市役所に相談に行った。家賃も、現状では…払えないので、退院後に役所へ相談するつもり。神戸空港が着工したらしいが、大手ゼネコンが入り、また地元の業者には仕事が回ってこないだろう。建物はできて、人間の復興はまだまだや。あんたらも大変だと思うけど、頑張るな。(54歳、2人暮らし、担当：山室、矢萩、浦口)

・足が弱く、目が不自由なので、外出を規制されている。ヘルパー同伴で時々買い物に行く以外、外出しない。まだ杖なしでも大丈夫だが、目が見えにくい印として、最近使うようにしている。週に何回か、外に出る際付き添ってくれる人がいたら、と思う。家事も出来る事は、するようにしている(ガスは危ないから使わない)。近所の人とは交流がない。デイサービス(お風呂と食事)へ週2~3回行っている、その時会うぐらい。楽しみはテレビを聞く事ぐらい。〈…と寂しそうに言われていた〉。(70代女性、一人暮らし、担当：船曳、長船、赤西)

・駅に近い小規模仮設に住んでいた、買い物は便利で、みんな仲が良く…まとまっていた。骨粗鬆症で手首が痛く、精神的に参っています。肺活量も弱くなった。30~40代の頃は、山に登っても平気だったのに…。出来るだけ、他人に頼らないようにしています。週2回、食事会があるので行くけど、隣の人以外は交流がない。(74歳女性、一人暮らし、担当：里、辻野、福本)

・夫は船乗りだったので、海が見える所に住めて良かった。船乗りの仲間も、よく遊びに来る。夫は10年以上前から、車椅子の生活となった。私が介助をしているが、ストレスが溜まる事もある。暇つぶしに手芸・工作等をしています。ミルク容器(プラスチック)を使い、小さな帽子を作っているが数が足りず、十分作れない。〈…との事。集めて持っていこうと思う。作品をたくさん見せてもらい、幾つかを頂きました。次回訪問の際、「デイサービス」「介護サービス」等の資料を渡し、説明する必要あり〉。(67歳、2人暮らし、担当：船曳、赤西、長船)

・夫は市街地で仕事(大工)をしていたので、郊外の仮設に住んでる頃は、交通費が大変だった。息子夫婦が月1回、孫(2歳2カ月)と泊まりに来てくれるので、嬉しい。母(84歳)はまだぼけていないし、トイレも一人で出来るけど、食事の介助が必要です。だから、母を置いて外出という事が出来ない。週1回デイサービス(9時半~午後4時)を受けているので、その時に買い物など、まとめてするようにしている。近くのダイエーが、もう少し規模の大きい店になれば、買い物も便利になるのに。(64歳、3人暮らし、担当：川口、竹森)

・20年前、脳梗塞で右半身が不自由になったが、リハビリで動くようになった。頭に障害が残り、すぐ言葉が出てこず…言いたい事が言えなかったり、忘れてしまう事も多い。3年前(仮設の時)骨がもろくなり…右足を骨折、20針縫う手術をした。今はリハビリを兼ね、杖をつきながら、知人の犬を散歩させている。買い物も食事も、自分でしています〈言葉が不自由な分、悪質なセールスにだまされていないか、不安になりました。コミュニケーションは取りにくい、また訪問できればと思います〉。(65歳、2人暮らし、担当：伊藤、丸笹、小田)

・40年前から、目が不自由(障害1種2級)。火・金はヘルパーさんが来てくれ、部屋の掃除や料理、銀行等へ行く際の付き添いをしてくれる。でもヘルパーさんが来ない日は、手探りでも…家事を自分でするようにしている。風呂も最初はガスのつけ方がわからず戸惑ったが、今では沸かして入れるようになった。前の仮設で仲の良かった方と、日曜日に一緒にご飯を食べたり、月1回カラオケに行ったりしてます。次男は会社がこの近くなので…帰りがけに寄ってくれ、長男も月1回東京から来てくれる。隣近所と会話がないが、ここは住み心地が良く、

感謝しています。(67歳女性、一人暮らし、担当：浦口、山室、矢萩)

・ここへ来て一年近く経ち、少し慣れてきた。ここの自治会は一度なくなったが、また再結成できたので、良かったと思う。妹や娘が、時々訪ねてくれるが、帰った後…寂しくなってしまう。腰が痛むので、あまり出歩かないが、一人でいると寂しい。早く死にたい〈…と口癖になっておられたので、それは止めた方がよいですよと伝え、いろいろな話をする。場が弾み、笑いもあり…訪問を喜んで頂きました〉。(76歳女性、一人暮らし、担当：藤川、小波本、増田)

・12月に膝の手術の為、入院した。現在もりハビリ中。ここへ来てから、弱くなった。やっぱり年かな。今日みたいに雨の日は、外は滑りやすくて怖い。週1回デイサービスへ通い、家事はヘルパーさんに頼んでいる。4月からの介護保険導入で、どうなるんやろ。年寄りに死ね言うんか…？ ここは穴蔵にいるのと一緒に。だから“ふれあい喫茶”で、いろんな人に声を掛け、折り紙を教えている。〈杖についておられたが、朗らかな方でした〉。(80歳女性、一人暮らし、担当：小林(弘))

[一般公営の空き家募集入居者]

・2月からデイサービスへ、週1回通っている。男で利用しているのは2人だけだが、気が紛れる。ここでは、誰も声を掛けてくれへん。隣の人と話すのにも、ドア越しや。人の集まる所がない。子供の声がうるさいので引っ越したいが、部屋を移るのは「絶対あかん」と、市から言われた。〈寂しいと言っておられるので、障害者の作業所へ話し相手に行く事を勧めたが、乗り気ではなかった〉。(68歳男性、一人暮らし、担当：小林(弘))

3月11日

[復興住宅]

・前回訪問時…ご主人が車椅子の生活をしているので、奥様が介助しているとの事。再度訪問し、介護関連の資料渡しと説明する予定。

介護保険の認定に、市から何回も来てくれたが、申請をしなかった。私が介助できなくなったら、お世話になるつもりで、資料は一応持っています。夫は九州に帰りたがっているが、私は神戸が気に入っているので、こちらに住みたい…。近所で手芸に使う飾り紐を、売っていない。〈…と言っておられたので、洋品店で購入し、お持ちする事にした。また持参した資料も、「もしもの時に…」という事でお渡しした〉。(67歳、2人暮らし、担当：長船、矢萩)

・16年前からC型肝炎で入退院を繰り返していたが、2年前に平常の生活ができるようになり、ホッとしている。被災時のテント生活では、寝たきりの所へ…3月中頃より大アリが這い出してきて、とても困った。仮設では、毎夜5～6匹のナメクジが、顔に這い上がり、目が覚めた。妻は銀行から借入れをし、食堂(借家)を営んでいたが、地震で倒壊した。銀行から二重借金をしたが、売り上げが少ないので、負債が減らず…困っている。皆さんに、迷惑をおかけしないよう生活していきたい。(71歳、2人暮らし、本人自筆)

不況の為、妻は一日中働かなければならず、この住宅へもほとんど帰って来れない…。私は遠視と乱視で苦労しているが、最近は体調が安定してきたので、妻や息子が気を遣わないように、できるだけ一人で頑張りたい。今でも時々、地震の恐怖に襲われて目が覚める。地震の事は余り思い出したくないが、若い人達に伝えるのも大事だと思う。〈…と、当時の様子をお話

しいただいた〉。(担当：玉木、辻野)

・血圧が高く、心臓が悪い。家族はいない。ここではコミュニケーションが、なかなかうまくいかない。仮設では“庭先付き合い”があったが、コンクリート住宅ではそれができない。〈この点の支援策を、我々がどのように協力できるのか…研究課題かもしれない。ゴミ出しも高齢社会となる今後、もっと対策が求められるかもしれない。大阪市では、清掃局職員が高齢者宅の玄関まで、収集に出向いている。神戸市でも、そうした方向があってもよいのでは…。〉(86歳女性、一人暮らし、担当：田植、白岩)

・小さい頃から足が悪く、今でもリハビリに行っている。バス停が遠いので、大変だ。子供がおらず、甥や姪も遠くにいるので…なかなか頼る事ができない。震災以降…色々あったが、食べられない時と比べると、まだいい状態だと思う。〈…とプラス思考に考えておられ、気さくに色々な話をして下さった〉。(？歳女性、一人暮らし、担当：堀内、井上)

・足が悪く、杖をついている。腰の調子も悪く、寒いと特に痛む。最近、下痢気味…。子供がいないので、いざという時に心配だ。通院にタクシーを使う事が多く、灘区の病院へ行く際などは、特に高くつく。近所に外出できる所が少なく、困っている(好き嫌いがある)。弁当のサービスもあるが、予約制なので不便だ。来週にでも、また来て下さい。(76歳女性、一人暮らし、担当：堀内、井上)

・夫はヘルパー2級を目指しており、今後「介護の仕事をしたい」と意欲的です。近くに赤十字病院ができると聞いているが、買い物が不便なので、『市場』の方がいいな。〈お二人とも、九州出身という事で、その話題で盛り上がりました。顔の表情が豊かで、生き生きとされていた〉。(60代、2人暮らし、担当：下井、赤西)

・仮設の頃、肝硬変で入院したが、退院後すぐ…痰の中に菌が混じっている事が検査で判明し、また再入院(5ヶ月程)となった。注射の副作用と交通事故(昔、車と接触)の影響もあってか、足が痛む。病院へ行くのに、手押し車を押しながら、三宮まで行くのは辛い。タクシーは高いし、なかなかつかまらない。震災で、母・息子など身内をみんな亡くした。一人でいたら、何も考えずボーっとするだけ。話し相手でもいいから、誰か来てくれたら…。〈若い人はいいなあ…としきりに言われておられた。『119ステッカー』と『安心カード』の代筆をし、お渡しする。移送サービスの料金を調べ、チラシをお渡しした〉。(70歳女性、一人暮らし、担当：玉木、辻野)

・足が不自由な為、1カ月程入院し、退院したばかりです。入院して特に良くなった訳ではない(あきらめ気味…)。少々耳も不自由です。家族はおらず、一人暮らし。京都で調理師の仕事をしていたので、食事は自分で作ります。退院後、ガスコンロが点かない。〈…と言われたので、元栓を確認する。閉じてあったので、開栓しておきました〉。(70歳男性、一人暮らし、担当：白岩、田植)

・震災時、腰を強打し障害5級となった。君達ボランティアに言いたい!。ただ、助けたいのではなく、相手をよく見極めて…活動して欲しい。生活保護を受けながら、毎日のように酒やカラオケにうつつを抜かす、困り者もいる…。役所も、該当者かどうか、相手をよく見るべきだ。私は震災前に妻を亡くしたが、自分ができることは自分です。今も『いかなごのくぎ煮』を作ろうとして、鍋を焦がしてしまった。失敗やった。それに自分の事も出来ん者が、人の世話をするのは無理やで。それを頭に置いて動かなあかん!。最近の若い人達、携帯電話ばかりかけてたら、人間が墮落するで!。〈父親に説教されているような雰囲気でしたが、

参考になるお話も多かった)。 (70歳男性、一人暮らし、担当：下井、赤西)

・震災で店も自宅も全壊だったが、店は別の所で続けていた。しかし2年前に心筋梗塞と脳梗塞で倒れ(後遺症はペンを持つと震える程度です)、無理が出来ないので、店を閉めた。ポーアの仮設は、交通の便が悪く、冬はシベリア・夏は砂漠…というような状態だった。また雨が降ると水たまりが出来、蚊が多くて困った。ここは不便だといって閉じこもる人が多いけど、自分から出ていかないと…。それに自分で申し込んで、当選してから文句言うのはおかしい。その上、「ボランティアが、何も持ってこない・何もしてくれない」と文句を言う人もいる。自力で自宅再建とか苦労している人もいるのに…。いつまでも頼っているばかりではあかん。今は15歳になる犬と2人暮らしです。でも心ない飼い主がいる為に、まじめな飼い主たちは、困っています(エレベーターの中に、糞をする犬など…)。(52歳女性、一人暮らし、担当：長船、矢萩)

3月18日

[復興住宅]

・前回訪問時・手芸用の飾り紐が近くで見つからない。

〈船場(大阪)で購入した紐を、代金引換でお届けした〉。ありがとう。三宮まで行かないと、手芸品を購入する事が出来ない。でも夫の介助があり、行く暇がなかった。(67歳、2人暮らし、担当：玉木、田村、矢萩)

・ヘルニアで下半身がしびれ、働けない(生活保護を受給)。100m歩いたらしんどくなるので、外へも…余り行かない。リハビリと、週2回…銭湯へ行くだけ。また知り合いに会ったら、コーヒーを飲む等の付き合いも必要になり、月8万の生活費では…これくらい削らないと余裕がない。停留所までせっかく行っても、バスが時間通り来ない。〈市長への手紙をお渡しする。家計簿をつけておられ、カレンダーには…1日終わる事に×を記されていた〉。(70歳男性、一人暮らし、担当：長船、矢野)

・昨年3月、公営のカギ渡しがあったが、仮設の世話役として残り、10月に入居した。今でも、人の為に役立ちたいという気持はある。身内には、ここにいる事を知らせてない。住み心地はいいが、話す人もなく寂しい。テレビと話している時もある。同じ仮設から来た人とも、互いに電話したり、行き来する事が無い。15年前、中央区へ移転してから気管支喘息(薬を持ち歩いている)になり、公害病の認定を受けた。血圧も高いので、いつ倒れるかと思うと…怖い。運動不足のうえ、自炊ではどうしても栄養が片寄る。釣りが趣味なので、暖かくなったら行こうと思う。今日は、久しぶりに長いこと話ができた…ありがとう。(59歳男性、一人暮らし、担当：玉木、田村、矢萩)

・〈予告チラシの作業をしている際、「何をしているの…」と話しかけてこられた〉。訪問して下さった時、体調が悪く寝たきりが続いていたので、インターホン越しにお断りしました。今日は…久しぶりに暖かく、体調も良くなってきたので、散歩をしていた。仮設は山の中にあり、寒くて不便で、セミも鳴かない所でした。ふれあいセンターが97年春に閉鎖になった時は、寂しかった。仮設が閉鎖されるまで…大阪から毎月1回茶話会を開きに来てくれたボランティアの方や、白鷺大学の先生・学生ボランティアの方達には、お世話になりました。ここは不便で、触れ合いもない。去年の春には、入居間もない若い女性が投身自殺をした。(70代女性、一人暮らし、担当：鹿島)

・地震で家が倒壊し、6時間生き埋めになっていた。足も動かさなかったが、人に助けてもらい、生きる事が出来た。だから、人の役に立たなあかんと思い、仮設では世話役などをしていた。今は、「自分の体を大切にするように」と医者から言われ、今は療養している。妻は乳ガンの手術を受け、東京の病院（実家がある）へ、入院しています。3ヶ月程看病してきた。医者や看護婦にも言われたが、入院して最後まで面倒見るのは夫婦だけだ…と。〈奥様の事を思われていたのに、感銘を受けました〉。（79歳、2人暮らし、担当：浦口、里、猪上）

・小さな植物が植えてあるスペースを、野菜などが作れるようにして欲しい。そうすれば、みんなで作業できるから…。若い頃から鍛えているので、元気。今も六甲の酒屋でバイトをしており、ビール瓶1ケースや米の30kgを持って、階段を駆け上がれる。ずっと一人にいるから、炊事・洗濯…何でも大丈夫。〈他にも、戦争で満州やシベリアに行った話などをして下さり、非常に楽しく明るい方だった〉。（75歳男性、一人暮らし、担当：山室、田植、辻野）

・娘が近所に住んでいるので、毎日来てくれる。生活面での不満は少々あるが、良い面を見つけ、納得している。2週間に一回病院へ薬をもらいに行く程度で、外出の予定は、あまりない。ボランティアには感心している。自分中心の世の中なのに…。また来て下さい。〈ご夫婦とも…お元気で、ボランティアの事もよく理解されておられました〉。（73歳、2人暮らし、担当：辻野、山室、田植）

・普段は仕事でいないが、今日はたまたま早く帰っていました。配達の仕事をしており、寒い時期は膝が痛む…。時間が不規則なので、家では何もできない。寝るだけ…。最近、お得意先も少ない。19歳の息子がいるが、収入は少なく生活が苦しい。ここは春日野道駅から2分とあったが、それは一番近い公営で、信じてしまった…。交通は不便です。自立支援金をもらっていないが、まだ間に合いますか？ 〈後日、4月28日（金）締め切りということをお伝えし、書類をお届けした〉。（40代、2人暮らし、担当：矢野、長船、若菜）

・〈訪問先へ伺う途中、公営内のベンチに座られていた〉。仮設の時の方が、隣近所の人達といろいろ話をして、楽しかった。買い物も便利で、好きな物も自由に買え、充実していた。今度4月8日に花見（会費千円）があり、大型リフトバスを使用して、伊川谷まで行くそうです。若い人と話をする事も滅多にないから、あなた達と話せてよかった。〈明るく生き生きとされている姿に、感心しました。ベンチでひなたぼっこされている姿を見かけたら、皆さん…声を掛けて下さい〉。（88歳、？人暮らし、担当：片山、赤西、水野）

・介護保険のケアプラン作成により、利用していたサービスの費用が、今までの倍になってしまった。これでは、いろいろ母（87歳）にしてあげるつもりだった事も、出来ない。介護している人は、デイサービスの職員に言いたい事があっても、極力我慢するケースが多い。ケアプランの作成は、うまくコーディネートできる、第三者にしてもらいたい。〈散髪サービスについてたずねられたので、その資料と支援者ノート・介護保険の資料をお渡しする。今日は余りお話をされなかったが、心に秘めておられる事があると思うので、引き続きの訪問が必要〉。（52歳、2人暮らし、担当：水野、赤西、片山）

3月25日

[復興住宅]

・震災前はパートで建物の清掃をしていたが、職場が被災し、解雇となった。年金は月7万円。電気代だけでも1万円かかり、生活は大変。今は貯金を取り崩しながら生活をしています。〈も

しもの場合を考え生活保護の資料をお渡しする。土・日は、弟と一緒に映画を見たりする。でも性格が違うので、一緒に生活するのは難しい。たまに会うから、仲良くできるのだと思う。

(71歳女性、一人暮らし、担当：堀内、矢野)

・仮設はグループホーム形式で暮らしやすかったが、ここでは近所付き合いがない。1年前に妻と息子を亡くし、今は一人暮らし。ストレスの為、体調が悪い時もあり、食事も少食になった。現在の関心事は、介護保険・年金・健康の事など、自分の将来について…。高い階にいと、体調が悪くなる。入居時に、市役所の人が「1年経ったら、移動できるようにしましょう」と言ってくれたが、今だ…連絡がない。〈冷蔵庫・洗濯機・テレビ等がなく、不自由な様子であった〉。(65歳男性、一人暮らし、担当：赤西、田植)

・震災後2年間は、区画整理で空き家になった所へ、5世帯が雑魚寝状態で居たが、いろんな人がいて、大変だった。その時の事を思うと、今は…ほっとして、落ち着いている。ベランダからの海の眺めも、最高。同じ棟の方3人と、毎朝エレベーター付近の掃除をしています。また月曜は食事会のお手伝い・木曜は新舞踊のけいこをと…ストレスの溜まる暇がない。楽天的に、周囲の評判は気にせんと、笑い飛ばして生きていくのがモットー。身近にいる人・病気の人には、気を楽にして生きるよう、元気づけている。(62歳、2人暮らし、担当：矢萩、瀬戸)

・避難所から市外の仮設、その後一時待機で民間マンションに入居後、ここへ来た。仮設はコンテナだったので、寒い冬は気温が1℃になり、窓際のカーテンがバリバリに凍っていた。暑い夏は締め切って出掛けると、室温が50℃になっていた事も…。長男・次男ともに独立しており、今は孫に会うのが楽しみです。私は足が悪く、2km歩くのが限界。ヘルニア(腰)も治ったが、無理はできない。でも全く外へ出ないので、健康の為に働きたいが…なかなか職がない。2人とも出不精で、近所付き合いはほとんどない。釣りが好きだが、ここでは小さいアジやイワシしか釣れないので、行かなくなった。〈中老年向けハローワーク・シルバー人材のパンフレットをお渡し、暖かくなったら、お二人で散歩に出掛けるようお勧めした〉。(66歳、2人暮らし、担当：瀬戸、矢萩)

・夫は震災前年に亡くなり、一人暮らしです。仮設では、皆さんと仲良くお付き合いができ、楽しかった。なるべく出掛けるようにしているので、友達もいる。歩いて15分程の市場へ行くのが、楽しみです。(？歳女性、一人暮らし、担当：増田、白岩)

・年金は無し。緑内障で視力が悪化、左0.01・右0.06。失明するのではと、不安を感じます。甘いものが好きで…糖尿病になったが、体重はピーク時より、13kg落としました。「後ぞえ」として結婚、義理の子供4人の面倒をみながら、食堂を運営してきたが、被災した。当初妹が一人暮らしなので、息子(義理・50代)と3人で暮らしたが、上手くいかなかった。息子は運転手(2種)だったが、視力が悪化し、今は清掃の仕事(手取り10万)をしている。お隣の方々がよくして下さる。(68歳、2人暮らし、担当：増田、白岩)

・7年前に発病したりウマチと内科へ通院するのに、毎日忙しい。近くに息子一家が住んでおり、毎週夫婦で来てくれる。不安があるとすれば、今後のことだ。〈被災者自立支援金のことをご存知なかったので、書類をお渡しし、説明をした〉。(82歳女性、一人暮らし、担当：矢野、堀内)

・最近セールスが来なくなったが、かつて「換気扇フィルター」を1万3千円も出して買ってしまい…後悔している。週2回(水・金)の食事サービスを、利用している。1食450円

で利用者もかなりいるが、大半が女性の方（3分の2以上）なので、話しづらい。また食事が済んだら、さっさと帰られる方が多く、会話がな。月1回の大掃除は、仮設の時の方がまとまりがあった。ここでは時間を守らない人も多い。例えば、時間より早めに来て…早めに帰ってしまったりする。（70代男性、一人暮らし、担当：田植、赤西）

・掃除の仕事（月～金、1日8時間）をしており、手取りで月11万の収入になる。寂しいので…寝る時もずっとテレビをつけており、電気ストーブやこたつも使うので、電気代がかかる。土・日は三宮へ出掛け、友達に会う。でも隣近所と顔を合わすのは、月1回の掃除ぐらい。ここへ来た頃は環境の変化に慣れず、しばらく話す事が出来なかった。最近、だいぶ落ち着いてきたようだ。でも震災の時、夫でなく…自分が死んでいれど、時々思う。〈自立支援金の事をお話すると…〉そんなのがあるとは知らなかった。これは助かる。間違いなく、来週書類を持ってきてや！。〈2時間程お話をし、帰ろうとすると「もう帰るの」と言われた…。後日、書類をお届けした〉。（56歳女性、一人暮らし、担当：稲垣、辻野）

・避難所で肺気腫（障害1級）を発病し入院、そこから仮設へ入った。部屋では酸素発生器からチューブを引っ張っており、通院する時はボンベ（ビールの2リットル樽ぐらいの大きさ）を使用している。昨年10月部屋で倒れ（脳血栓）、1ヶ月半入院した。入院中、自立の程度（介護保険認定）をみる為にと一旦自宅へ戻されたが、とても生活できず再入院となる。要介護2と判定された。今でも、右半身に力が入らず、足も曲がらない。年末、風呂で溺れかけたので、シャワーを時々使用している。ヘルパーさんが、新しい人になると、なかなか言いたい事が伝わらない。（74歳男性、一人暮らし、担当：小林（弘））

・仮設で転んで、それ以来車椅子を使用している（障害2級）。昨年・一昨年と、手術（乳ガン・膝）で入院した。生活保護を受けている。4月から介護保険が始まるけど、ヘルパーが2時間しかつかない。買い物とか外出の用事を頼みたい時、どうしようか？ 通院の際、特に困る。〈被災地障害者センターの輸送ボランティアに問い合わせたが、値段の点で折り合わなかった〉。ヘルパーさんも、いろんな人がいる。床掃除した水を、流しに捨てようとする人など…。不満があっても、自分から言えず、辞めてもらうだけ…。デイサービスに誘われるけど、疲れて…皆に合わせられないので、行かない。前の仮設ではボランティアが常駐していたが、いまはそういう訳にはいかない。（84歳女性、一人暮らし、担当：小林（弘））

4月1日

[復興住宅]

・震災で足を痛め、今も杖をつきながら…リハビリ中です。タクシーで、病院や買い物に行っています。身寄りはいませんが、人に頼らないようにしている。それでも出来ない事は、友人が手伝ってくれます。でも話し相手は欲しいから、今日は待っていました。又、いつでも来て下さい。（65歳以上女性、一人暮らし、担当：林、田植）

・老人福祉も大事だが、店や企業が不況で、経営者は自殺に追い込まれるような時代だ。私達「神戸を楽しくする会」は、産業の内面から被災地復興に力を尽くしたいと思い、地元産品を通信販売する「ひようごフェニックスセール」などを企画している（NPO関連の活動）。ここで棟の世話役として、自治会を立ち上げようと思っているが、難しい。入居しているのは被災者だけではないし、世代も若い人から年寄りまで様々、なかなかまとまらない…。あなた方のような震災ボランティアも、財政難で大変やろ。県や市も金がないし、企業の寄付金なども

期待できない。『NPO宝くじ』みたいな事でもやらないと、金が集まらないのではと思う。

〈…と私達の心配をして下さった〉。(60代男性、一人暮らし、担当：関藤、矢萩)

・心臓が悪い。バスは国道2号まで(15分程・普通の人歩いて)行かなければ通っておらず、それも時刻表通り来ない。でも、ややこしい近所付き合いをしなくて済むところは、気に入っている。食事会に時々誘われるが、人と話すのは苦手だし、ガヤガヤしゃべりながら食べるのは嫌なので、行かない。弟や甥が近くに住んでいて、時々泊まりに来てくれる。〈『火事・救急ステッカー』をお渡しした。また近くを通るバスは、9月末頃開通するとの事なので、お知らせした〉。(70代女性、一人暮らし、担当：関藤、矢萩)

・地方(じかた=日本舞踊の伴奏音楽を担当する人々)として三味線を弾いており、花柳流・藤間流の公演や歌舞伎の伴奏も務めている。この公営内でも、女の子が習いに来ているが、なかなか筋がいい。こういう仕事なので、人の出入りも多く、忙しくてボケる暇もないです。震災の時、家の下敷きになり腕が使えなくなると思ったが…大丈夫だった。仮設では、イベントがあると三味線を弾いてました。〈とても若々しく、お元気な方でした〉。(81歳女性、一人暮らし、担当：関藤、矢萩)

・狭心症と網膜剥離の為、週2回タクシーで通院している。100m先にある小さなダイエーへ行くのにも、足が重い。家に閉じこもりがちで、ノイローゼになり、食欲がない。子供からも「絶対、閉じこもったらアカン」と言われてる…。人間関係が、震災でバラバラになった。今日は、話す事で発散になりました。〈…と言って下さった〉。(70代女性、一人暮らし、担当：杉岡、矢野)

・入院していたので、今年の2月に入居した。心臓弁膜症で、ペースメーカーを入れてる。通院以外で外出するのは、友人と酒を飲んだり、買い物に行く程度です。部屋の掃除や洗濯も自分で出来るので、介護は必要ないです。風呂はバリアフリーで、使いやすい。趣味を魚釣り。船で沖に出たりしていたが、引越してから一度も行っていない。(62歳男性、一人暮らし、担当：堀内、山本)

・今の生活に不満はありません。団地の掃除の時に知り合った、女性達と親しくしているので、楽しいです。今日も隣の棟の集会室で、“木の洗濯ばさみで作る椅子”を習ってきました。暮らしは…国民年金だけなので、楽ではないです。建物の前に貨車の引き込み線があり、うるさい。夜…丁度寝ようかという頃から、10分おきくらいに、長い貨車が通る(早朝5時頃も)。(72歳、2人暮らし、担当：山本、堀内)

・同じ階の女性(72~68歳)の方達と、仲良くしています。皆さんと掃除でしか会わないので、何とかしようと思い…うちで“ピザ”を取って「一緒に食べましょう」と声を掛けた。4人のうち3人が一人暮らしで、子供のない方は3人です。国民年金では生活費が少し足りないので、長男の店(近くで営業している)で、ちょっとアルバイトをしている。趣味はジグソーパズル。白内障や緑内障で、目が疲れるが、好きだから…ついつい長時間やってしまう。(72歳女性、一人暮らし、担当：山本、堀内)

・近所付き合いがあまりない。掃除の時の挨拶程度。自治会も、まだ出来ていない。話し合う環境がない。しかし、自治会を作っても揉めるだけかもしれない。(65歳以上男性、一人暮らし、担当：堀内、山本)

・去年の7月、肝臓の手術をした。退院後、食欲もないし、何もする気がしない。外出するのも億劫になる。今年7月に、又入院します。私はうつ病です。〈…と何度も言われていた。今

後も定期的に訪問をする必要がある〉。(65歳以上男性、一人暮らし、担当：林、田植、福本)

・国道を走っている車の騒音と建物の前を走るJRの貨物の音がうるさくて、眠れない時がある。年金は主人が亡くなって減ってしまい、10万にもならないが、何とか生活しています。買い物は、安いので…湊川の市場へ行きます。ダイエーが近くにあるが、店の間取りが小さいし、品数も少ない。〈おしゃべりを楽しまれている姿は、私達を待っておられたようでした〉。

(65歳以上女性、一人暮らし、担当：福本、田植、林)

・家賃を安くして欲しい…。仕事が見つからないので、困っています。家族は、いません。震災以降、姫路にいたけど、神戸に帰ってきました。(50代女性、一人暮らし、担当：小波本、平田)

・ご主人は、少し歩きにくそうにされていた。「誰の世話にもならずやれているので、福祉の世話になる必要はないです」との事。今日から介護保険が施行されますが、ご存知ですか？と問いかけると、「市役所に行って聞いた方がいいのかなあ」と答えられた。「収入は年金だけ」と言われたので、10月から保険料が天引きされる事をお伝えし、資料をお渡しした。(65歳以上、2人暮らし、担当：矢野、杉岡)

・近くに信号ができ、車のふかし音が余計うるさくなった。6階～8階は、特にうるさく聞こえる。またパトカーや救急車が、43号線と阪神高速を通り、うるさい。半年もの間、精神安定剤を飲んでいる。防音壁を作るか、窓を二重にして欲しい。仮設から植木を持ってきたが、ここに来て5～6本枯れた。〈『市長への手紙』をお渡しする〉。(65歳以上女性、一人暮らし、担当：矢野、杉岡)

・このマンションは、2階～8階まで被災者が入居しており、9階からは地権者が入居している。近々、マンションの自主管理組合の会合がある。あと5年もすれば、震災もいろいろ言われなくなるんでしょうね。(71歳男性、一人暮らし、担当：福本)

・3月13日に骨折した為、対応できない。ヘルパーは週1回来てくれます。〈動きにくい状況なので、その後の症状について気になる〉。(75歳女性、一人暮らし、担当：石黒、白岩)

・多発性筋炎で、『重症患者用特定疾患医療者』の手帳を持っている。白内障も患っており、大変。でも、ヘルパーは要らないです。『ケアライン119』の設置も、したくない。福祉の方からは、毎週電話があります。通院は1ヶ月に1～2回、ポートアイランドの市民病院と板宿の病院へ行ってます。友達は、全く出来ない。料理も出来ない(不自由)ので、パック調理品を買っています。〈もっと話したいご様子でしたが、次のお宅への訪問があるので、切り上げる。お茶菓子等を頂いたので、4月2日お礼の電話をしました〉。(67歳女性、一人暮らし、担当：石黒、白岩)

4月8日

[復興住宅]

・被災後、兄弟の世話になり、トラックの運転手をしていた。現在…職が無く(ハローワークで受け付けてくれない)、生活保護を受けている。B型肝炎。妻はうつ病で家事が出来ず、身の回りの事が出来ない。生活の不安を抱えている(親戚も大変な状態なので、頼れない)。2人の子供は小学生です。〈今後、ケアが必要かもしれないので、HAT訪問の際は、再訪問をお願いします〉。(50歳、4人暮らし、担当：堀内、松尾、田植)

・姉と一緒に住んでいます。毎週水曜日、カラオケで懐かしい曲を歌います。友達が多く、ラジオ体操や踊りの練習にも参加しています。今年もダイエーの横で盆踊りがあるので、楽しみだ。首や足が痛むので、通院しています。(？歳、？人暮らし、担当：永田、加藤(香)・(美)、長船)

・〈頼まれていた手芸用リボンを購入し、代金引換でお届けした〉。夫(車椅子で生活している)は、4月3日膀胱に腫れ物が出来た為、入院した。管を入れて焼くだけで、治療出来るという。早いうちに見つかって、良かった。他に悪いところはなく、元気そうにしています。今日も、ちょうど病院から帰ってきたところです。(67歳、2人暮らし、担当：加藤(香)・(美)、矢萩)

・病院から、今…帰ったところです。歩いて行くと2時間以上かかる。話をしたいが、顔見知りでないとならない。兄ちゃんの声は…聞き覚えがあったので、ドアを開けた。今度また来てな。〈病院を、変えたい様子。前回の訪問でも、色んな病院の名前を出されたが、結局同じ所へ行かれています〉。(70歳女性、一人暮らし、担当：林(和)、石黒、辻野)

・夜寝ていると、耳鳴り(セミが鳴いているような音)がして、起きてしまう。近くの診療所で、頭・耳・胃腸を検査してもらったが、これといった異常はなかった…。今年の冬は、足腰が弱り、足の爪も切れない程だった。でも、今は大分良くなり、「男の料理教室」や体操にも行っています。料理は…この年になると難しい。11番館に住んでいる方(仮設が同じだった)が、時々様子を見に来てくれ、ヘルパーも週1回来てくれます。〈前回訪問の際は体調が悪いとあったが、予想していたよりお元気そうにされていたので、安心しました〉。(77歳男性、一人暮らし、担当：加藤(香)・(美)、矢萩)

・〈前回訪問・車椅子を使用。4月からの介護保険導入で、ヘルパーが2時間しかつかない…。通院が困る〉。

先日、ケアマネージャーが来られて、ヘルパーが週3回来てくれる事になった。通院する際は、2時間を越えても…対応してくれる事になった。ご心配をおかけしましたが、何とかかなりそうです。(84歳女性、一人暮らし、担当：小林(弘))

4月15日

[復興住宅]

・以前よく来ていたセールスも、最近…ようやく来なくなった。集会場の行事は、ほどほどに参加しています。「ボランティアの訪問は、金曜やで。」と、他の人から教えてもらったので、昨日と勘違いしとったわ…。〈息子さん達も近くにおられ、お元気そうでした〉。(90歳女性、一人暮らし、担当：中谷、赤西)

・脳梗塞で倒れ、震災時は入院していた。最近は物忘れがひどくなり、左目もよく見えず…。人の顔もぼやけて見える。通院は、一人で行けないので、息子の嫁に付き添ってもらいます。外出の際迷子になると困るので、首からサポートカード(名前や自宅の住所・電話番号・病名・連絡先などが記載されている)を、ぶら下げている。私達夫婦以外は、みんな会社の寮におり、ほとんど帰ってこない。妻も食堂に勤めているので、昼間は一人で…寂しい。ここでは、皆余り口を利かない。エレベーターに乗っても、黙って下を向いているだけ…。車好きで、昔は何でも乗った。若い頃はホンダCBに乗り、カミナリ族だった。〈いろんな経験をされてきたようで、お話が尽きなかった…。〉。(70歳、2人暮らし、担当：福本、矢萩)

・最近、また喘息（持病）がひどくなってきた。このところ、体調悪いな…。寝付きも悪い。枕を3つ重ね（高くして）、寝とるんや…。〈愛犬と触れ合っている時は、本当に楽しそうで、明るい表情をされていた。しかし去年7月にお会いした時に比べ、今回は余り元気がない様子で、最後まで…言葉に力強さがなく、心配になりました〉。（71歳男性、一人暮らし、担当：中谷、赤西）

・震災後、入退院を繰り返した後、西区のはずれにあった仮設に入居した。交通の便が悪く、回りは畑ばかりだったが、却って環境はとても良かったと思う。近所の方が、ずっと親切にして下さり、復興住宅でも、お世話して下さる方がいて、本当に有難い。腰と腎臓が悪いので、2ヶ所の病院で薬をもらっているが、それ以外は至って元気です。夫の遺族年金で何とかやっていけるし、次男夫婦もよくしてくれます。今まで…いろいろ苦労もあったが、回りの人の助けでやってこれました。『かみひこうき』でも、いつもお世話になってます。〈過ごしてこられた半生をお聞きしましたが、気の持ち方で、こんなにも前向きになれるという事に感心しました〉。（83歳女性、一人暮らし、担当：田植、小田）

・要介護1の認定を受けたが、それが何を意味し、どんなサービスを受ける事ができるのか？ 又私は何（どんな手続き）をすればいいのか分からない。『ケアマネージャー（介護支援専門員）』？ 何それ？ 資料とか説明書はどんどん増えるが、何が何やらわからん。今は骨粗鬆症の為、あまり立って動き回れないので、週1回ヘルパーさんに来てもらっている。〈持参している介護保険制度の資料で説明し、必要な箇所に線を引き、お渡しした。去年、花（岡山県津山市のお花ボランティア）を頂きとても嬉しかった〉。（81歳女性、一人暮らし、担当：赤西、中谷）

4月22日

[復興住宅]

・94年9月に手術で右足を切断、12月に退院しすぐに被災した。あまり外に、出たくない。右手も、もう動かない…。今は家内が元気だから、病院へも連れて行ってくれるが、半日仕事や…。家に居た方が楽だと思えることがある。ここにいると、いろんなのが来たり…電話がかかってくるが、いつも断ってる。介護保険は、コープにすべて任せている。ベッドや車椅子等、みんな手配してもらった。〈以前住んでいらした新長田駅（地下鉄）のエレベーターの位置や、JRの乗り換え等を車椅子で出来るよう、地図を作成しお渡しした〉。（72歳、2人暮らし、担当：長船、竹森）

・相変わらず…足の具合は悪く、外出は車椅子、室内では歩行器を使っています。片目は医療ミスで視力が無い。もう片方も手遅れで、視野が狭い。医者にかかるのを我慢しているが、見えなくなるのが心配で…。井吹台のボランティアが、月1回…集会場で食事や体操を担当してくれる。保健所からも月1回、訪問に来てくれる。『ふれあい喫茶』もあるが、元気なうちは…できるだけ人の世話にならないようにしたい。（82歳、2人暮らし、担当：原、赤西）

・明石に住んでいる息子が、2週間おきに来てくれる。車で来るので、駐禁になった場合、15,000円の支払いが痛い。自治会がもっとしっかりしてくれたら、駐車場に車を入れられるのに…。（87歳女性、一人暮らし、担当：瀬戸、福本）

・特に困った事はないが、体に気をつけて、健康に暮らせたらい。先月、この棟のお世話役のような事をされていた方が、亡くなった。今後は、いろいろな会・行事に差し障りが出てき

そうな上に、棟全体のまとまりにも影響が出てくる予感がして、寂しい…。〈同じ階の、お友達が来られていた〉。(83歳、2人暮らし、担当：猪上、川口)

・訪問時、膝で歩いて(足が悪い為)出てこられたが、「特に問題はないですよ」と言われた。私達を忘れていらしたので、2年前…「裏の戸が開かない」と言われたので、使用方法を紙に書いてお渡しした事を伝えると、「あっ、思い出した」とニコニコされました。現在も週2回、ヘルパーさんが身の回りの事を手伝って下さるとの事。〈安心カードの記入をお手伝いし、お渡しした〉。(89歳女性、一人暮らし、担当：原、赤西)

・住まいが広くなったのはいいが、隣近所との交流が途絶えたので、仮設の方がよかったと思う。600世帯ある中で、年間30回位の告別式があり、大変頻度が高いと思う。高齢の人が多いで、ますます増えるのではないだろうか…。また自分もその中の一人ではないかと思うと…不安である。〈お孫さんが来られており、これから…いい時間を過ごされるのだろうが、ただ遊ぶ場所もなく、部屋の中では子供さんのする事が無いので、退屈であろうと思った〉。(？歳、2人暮らし、担当：猪上、川口)

・昔の新開地は神戸の中心で、川崎や三菱の社員が出張等で、私の旅館へよく泊まりに来ていた。当時はまっすぐ歩けないほど…人があふれていたが、新幹線の駅が出来てからは、中心は三宮へ移っていき、新開地はさびれた。夫は17年間入院していたが、被災後…2年程して入院先で亡くなった。自営業だった為、苦勞が絶えず、二度程自殺を考えた時もあった…。今も少ない年金生活で大変だが、ここへ当たり喜んでいる。入居してからは、落ち着きを取り戻し…ホッとした生活を送ってます。〈年齢よりずっと若く見え、明るく活発な感じのする方でした〉。(60歳女性、一人暮らし、担当：中谷、鹿島)

・もう、あんな地震…来ないでしょうね。家は全壊し、隣の家も倒れてきて…怖かった。夫はスポーツ好きの元気印ですが、2年ほど前から足が痺れるようになり、通院(市街地へ)しています。でも他に悪いところもなく、歩く事・動く事が健康の元と、カラオケや近くの公園でゴルフを積極的にしています。私は昨年家の中で転び、足を骨折…まだ完治していません。年をとって転ぶと、大変…。〈夫〉…若い時は仕事ばかりだったが、年をとって2人きりになり、初めて妻を…貴重な存在と思うようになった。隣は一人暮らしだが、一歩も…外へ出てこない。(85歳、2人暮らし、担当：中谷、鹿島)

・神戸に来て45年、西の山奥に来たのは、仮設に住む事になって…初めてでした。今でも仮設にいた時の友達や、その時お世話になったボランティアの方と付き合いがあります。心臓にペースメーカーを、入れています。犬・猫を飼ってはいけないのに…。夜中に、救急車がリモコンゲートを開けて入ってくると、犬が吠えてうるさい…。(73歳、2人暮らし、担当：瀬戸、柴原、福本)

・よく医者へ通い、電気で温めてもらい…湿布を貼っています。書道を教えに市街地まで通っているが、歩くのが…だんだん辛くなってきた。若い頃は考えもしなかったが、60代～70代になって老化を感じるようになりました。また、昔と大分世の中が変わってきたから、多少不安を感じます。以前住んでいた所に帰りたかったが、住人も世代交代しており、なじみの顔も少なくなってきた。この地域の様子も分かってきたし、自治会ができ…行事も増えて、会話できる人も増えてきました。週2回の食事会を利用し、それ以外の日はおかずを買い、ご飯は自分で炊きます。娘の家へも毎週、遊びに行ってます。(83歳男性、一人暮らし、担当：竹森、長船)

・『公的支援』の運動で、東京へ何回も行きました。最近、同じ棟の方（男性・一人暮らし）が体調が悪く、心配です。〈訪問中、『安否確認』の女性が来ました。「最近この公営で、2～3軒続けて…元気そうな方が、突然亡くなられています。それで、見回りを行ってるんですよ」と言われてました〉。（70歳男性、一人暮らし、担当：田植、原、赤西）

・以前は大工で、バブル期はかけ持ちの仕事が多く、疲れを癒すのに酒をよく飲んだ。その事が脳梗塞（平成2年）を起こす原因となり、医者から「体が、元通りに戻らない」と言われた時は、大変ショックだった。介護保険の申請をしたが、右半身不随（障害1種1級）にも関わらず、一人で車椅子を操ってどこへでも出掛けられる為か、要支援となり…ヘルパー（掃除のみ）が、2週間に一度来るだけとなった。車椅子には、バックミラーを左右に付け、倒れ防止ストッパーを付けるなど…工夫もしており、雨の日も…合羽を着て出掛けます。〈絵がお好きとの事で、自作の絵や大きなパズルの写真画が、所狭しと置いてあった。家具や台所用品等は機能的に配置され、部屋もきれいに整理されていた。超ガンバリ屋さんであるこの方に、拍手を挙げたい気持ちで、いっぱいだった〉。（59歳男性、一人暮らし、担当：中谷、鹿島）

・一番怖かったのは、姫路への空爆で、義母が「死ぬ時は一緒に…」と言い、息子（乳児）を抱えた私を抱いて…草むらに伏せ、命拾いした。夫が20歳の時に亡くなったので、息子と義母の面倒を見る為…28歳の時から会社勤めをしていた。息子夫婦は近くに住んでおり、嫁達が来たときのみ入浴してます。毎日、仮設で知り合った友人（2人）の見舞いに行く。Aさんは入院しているおり、洗濯物をすべて預かっていたが、今は…下着を自分で洗えるまで、回復した。Bさん（65歳）は、リュウマチで手が拘縮しているの、買い物・洗物・片付けなどを手伝っています。Bさん宅はヘルパーが週2回来ているが、「介護保険制度で1割負担になり、大変だ」と言ってます。老いる事ができない…不安だ。今日は亡くなった父親の事も思い出したり、よいお話をさせて頂き、大変有り難かった。（83歳女性、一人暮らし、担当：白岩、町野）

4月29日

[復興住宅]

・肺気腫（障害1級）で、酸素発生器を使用してます。昨年10月には脳血栓で倒れ、右半身が不自由になりました。掃除や風呂の補助等の為、ヘルパーに来てもらっています。また、民生委員・LSAも週2回訪問に来てくれます。歩く練習をしているので、今日はヘルパーさんと一緒に、買い物に行ってきた。久々に歩いたので、しんどい…。ここには、以前住んでいた仮設での知り合いも多い。転居した頃は訪ねてきたり、電話をくれたが、最近は…そういう事もなくなった。嫌われたんやろか…？ 仮設では、しょっちゅう声をかけてくれた。また、声をかけやすい雰囲気だった。わしも、年やし。生きとつても、する事ないわ。〈その後、戦中・戦後の生々しい体験談を語られた。話し始めると声が大きくなり、口調は滑らかで、ついにはベッドから起き上がられた〉。（74歳男性、2人暮らし、担当：中谷、赤西）

・弟の面倒をみながら、暮らすのは大変。でも、私が先に死んだら弟が不憫や…。震災時、屋根が落ちてきて動けなかったが、一緒に住んでた弟に助けられ、病院へ行った。今も、脊髄が…時々痛む。公営へ入居してからは、リュウマチで両手が痛み、辛い。地震の時、親類や友人に本当に世話になった。年賀状しか出してない親類がよくしてくれ、倒産した人も…2000円送ってきてくれた。この時のありがたさは忘れない。（72歳、2人暮らし、担当：長船、

鹿島)

・昨年は外でラジオ体操をやっていたが、今年からはベッドの上で、座って体操をしている。病気・手術で体が弱くなっているが、デイサービス（週1回）やふれあい喫茶・他集会に出掛け、折り紙を教えたりしている。だんだん、一人で動くのも、大変になってきた。介護保険導入で、デイサービスの金額が3倍になり、1ヶ月の負担が大きい。〈広告紙で折った携帯ゴミ入れ（小さなごみをそのまま捨てる）を、たくさん頂いた〉。（81歳女性、一人暮らし、担当：辻野、土谷）

・ここは、本当によい場所だ。住めば都。市街地で40年以上、昆布・鰹節類を売ってたけど、この住宅に当たり…再開する気もなくなった。今年3月によろやく仮換地も終え、境界線がはっきりしたので、店の跡地は駐車場にする。固定資産税の分だけ、収入があればよい。最近、市場も客が来ないので、仲間は…みんな苦勞している。〈市場時代のお話を、たくさんして頂いた〉。（71歳男性、一人暮らし、担当：土谷、辻野）

・息子はレストランをしており、夜が遅いので、小学生の孫を預かっている。風呂に入れる為、毎日ここまで通っているが、定休日には…親子揃って家へ帰ります。「知っている人には、挨拶するように」と、しつけています。夫は脳梗塞で右半身がマヒしたが、今は歩けるようになり、グランドゴルフが楽しめるようになった（入浴時の介助は必要なので、私がしています）。少々ハードな生活の為、体重が大分減った。でも太ってた時より、調子がいいので、体調面での不安はない（医者からは検査を勧められている）。入居した当初は年寄りと身障者ばかりで、「姥捨山」かと思った。でも、民間のマンションもでき、若い人も増えてきました。（69歳、3人暮らし、担当：田植、片山、矢萩）

・当住宅は環境が良好との事で、入居申込みをしました。高齢者・障害者が、約80%住むこの公営で、市役所・警察の方々には、皆がまとまり…安全に過ごせるよう、本当に…頑張ってもらいたい。（65歳、2人暮らし、本人自筆）

ここが最後の住む家と思って…皆入居したが、仮設の時の方が、よかったという人も多くいる。また暇になったら、ボランティアもしてみたいと思います。（担当：鹿島、長船）

・緑内障・白内障を患っているが、レンズを入れている為、生活に支障はない。家にも退屈なので、毎日出掛けている。娘が週に一度来てくれ、掃除や身の回りの事をしてくれる。自炊もしています。将棋が趣味だが、同じレベルの対戦相手がいない（住民の方々は強い人ばかり…）。両隣は女の人で、たまに顔を合わせても挨拶程度。同じ棟の人とも、月一度の掃除の時しか、ほとんど会う事がない。仮設と違い、人との交流がない為、『寂しい』。〈と、繰り返し言われていた。部屋が静かな事が…寂しさを増すように思われる。自分から話しかけたりするのは苦手な方のようなのだが、人との触れ合いを求めておられるように感じたので、時々…訪問に伺いたいと思う〉。（83歳男性、一人暮らし、担当：田植、矢萩、片山）

・腎臓が悪く、手が腫れる。〈実際にむくんでおられた。来客中との事なので、またゆっくりお話を伺える時があれば…と思いました〉。（60代男性、一人暮らし、担当：矢萩、田植、片山）

・ここにいる人は、みんな「仮設の方が良かった」と言っている。杖をつきながら歩けるが、出歩くのが、億劫だ。耳が聞こえにくく（補聴器を使用）、テレビとチャイムの音を間違え、気付かない事もある。来る時は電話で「ドアを開けて」と言って欲しい。（83歳女性、一人暮らし、担当：辻野）

5月6日

[復興住宅]

・腰が痛むので、コルセットを装着している。心臓も悪く、寒くなると…喘息（痰が切れない）で大変だ。犬を散歩に連れていくけど、おらんかったら、寝たきりになっているかも…。掃除などは、ヘルパーさんが来てくれる。でも一人だから、出来る事は自分でするようにしてます（台所・トイレ・風呂は特にきれいにしてる）。突然具合が悪くなるので…怖い。風呂に入る時は、気を付けています。〈カギ穴にボンドを入れるという、悪質なイタズラがあったとの事〉。

（70歳男性、2人暮らし、担当：西、長船、田植）

・通院の際、この年では、駅までしんどくて歩けないので、高くなるがタクシーを利用している。バスがあったらいいのに…。この年になっても、風邪を引くくらいです。家族はみんな勤めているので、一人で居るようなものです…。デイサービスや老人クラブも利用したいけど、係の人が見つからない（以前頼んだけど、そのままになっている）。淋しいです…。外をいつも眺めている。←井吹台にお住まいの方へ連絡したところ、デイサービスや老人クラブのパンフレットをお渡ししている。お元気で、よく出掛けておられるとの事。（91歳、?人暮らし、担当：西、田植、長船）

・妻が買い物に行っており、お茶も出せないなので、外で話をしませんか…。毎年いかなごの釘煮を作ってあちこちに送っているが、今年は…1時間並んでも、いかなごを少ししか買えなかった。週ボラさんに会うと、話が出来て嬉しい。〈外の腰掛けで、一緒に青い山脈・高校3年生・カチューシュ等を唄いました〉。（71歳、2人暮らし、担当：里、丸笹、小波本）

・母（96歳）が、デイサービスで週3日…出掛けるようになり、助かっている。母は大変気が強く、なかなか言う事を聞いてくれず、時々…互いに腹が立つ時がある。生まれたのは台湾で、終戦後…日本へ帰ってきた。物のない戦後から、あふれる現在まで体験してきたが、良かったと思っている。もう何が起きても、別に怖いとは思わない。趣味というものがない…。一度、母をショートステイに預けて、1泊2日の旅行をしてみたいと考えている。（71歳、2人暮らし、担当：小波本、里、丸笹）

・転ぶのが怖いので、杖をいつも使用している。昔から通っている病院へ行ってるが、この近所に良い接骨医はないだろうか？ 精神安定剤を服用しても、眠れない時がある（10年来続いている）。血圧も高く（最高が250）、低体温（平熱が34℃）です。息子がよく来てくれ、車であちこち食事に連れて行ってくれます。楽しい時もあれば、悲しい時もあり、結構幸せかも…。良い友達を作るようにね。それと『何でも経験しないと分からないよ』。〈と言っておられたが、経験に基づいた説得力のあるお話をたくさん伺い、勉強になった。後日、地元の方にお聞きした病院を、お知らせする予定〉。（83歳女性、一人暮らし、担当：土谷、辻野、若菜）

・裏庭で数多くの植物（チューリップ・アジサイ・サクラソウ）を育てている。右手・右足が不自由だが、プランターを運んだり水やりするのは、適度な運動になります。「ふれあい喫茶」は、音楽が流れていて、話が出来ず…つまらない。去年は「駅の子椅子・マップ」を作ろうと張り切っていたが、色々考えて…止める事にした。精神的に少々煮詰まっており、外出する事で…ストレスを発散させている。でも、再度考え直して、頑張ろうと思う。（50代男性、一人暮らし、担当：赤西、片山、中谷）

・先週『電球の取り替え』依頼があり、訪問したが…お留守だった為、再度伺う。「電球取り替えは、他の人に頼んだ。又、何かありましたら頼みます」と、明るく話されていた。体の具合が悪く、外に出られないのが、憂鬱でもあり…不安であるとの事。定期的に訪問をお願いします。(70代女性、?人暮らし、担当：中谷、片山、赤西)

・前回訪問…息子が狭心症。医療・障害手当や控除等の情報があれば知りたい。〈資料を持参したところ…〉息子(60代)は、病院で狭心症と診断され入院していたが、手術は受けていない。もし突然倒れたら…と2人で手当とか控除の話をしていました。まだ、それ程大層な状況ではない。わざわざその為に来て頂いて、ありがとうございます。息子夫婦が、毎週来てくれており、毎日友達の所へも手伝い(家事)に出掛けているので、張り合いがある。また月1回、仮設時代のボランティアが主催する食事会へ、行くのが楽しみです。ここは戸を閉めたら、それっきりで淋しいから…。(83歳女性、一人暮らし、担当：浦口、矢萩)

5月13日

[復興住宅]

・整理ダンス・食器棚の移設を行う。簡単に済んだが、「非常に助かった。これでまた部屋の模様替えが出来る」と、喜んでおられた。「活動資金にして下さい」と、少額のカンパを頂く。

(70代女性、一人暮らし、担当：矢野、赤西)

・昔、仕事(港湾労働・屋根工事)で痛めた左膝の後遺症があり、リハビリに市街地まで通っています。耳鳴り(セミの鳴き声のような)は、ずっと治らない。先日、他の棟で孤独死があったが、ここ(シルバー棟)では玄関の監視カメラが、人の出入りがないと察知するので…大丈夫と思う。ボランティアやLSAも、よく回ってきます。エレベーターなどの掃除も行き届いており、住み心地はいいです。4月から防犯係を担当しているが、ケンカの仲裁などもあり、結構…大変だ。(69歳男性、一人暮らし、担当：里、矢萩)

・部屋にいる時は、こうして演歌やタンゴの音楽を聴く事だけが楽しみ。歌う方は苦手なので、カラオケには行かない。集会場の行事にも顔を出さない…。最近ではセールスが来なくなったが、去年の秋「換気扇のフィルター」を1万円相当で買わされた。(78歳男性、一人暮らし、担当：林、赤西)

・今日は午後から、東京(日野市)の太鼓グループによる催しがあったので、聴いていた。震災後、太鼓の音が心に染みるようになった…。左目がほんの少し見えるだけだが、知った道は杖なしでも歩ける。でもデコボコ道が困るので、杖を使っています。階段の方が規則性があるので、楽だ。ここでは、いろいろな鳥の声を聴く事が出来る。夏はヒグラシも鳴き、空気はいいし…良い所です。今、組曲『阪神・淡路大震災』を作っている。震災で子供を亡くした親のイメージ・震災から復興のイメージを表現しようと思っているが、復興のイメージをどう表現するか難しい。〈『つる』やお孫さんの為に作られた曲、作成中の組曲などを聴かせて頂いた〉。

(63歳、2人暮らし、担当：里、西岡、鹿島、矢萩)

・日当たりが悪いので、昼でも灯りをつけてます。車椅子では、ここのキッチンが高く、使いづらい。だから自炊もするが、外食中心です。西神南やHAT神戸だと、この辺の配慮がされているようだ。ここは、弱者対策がなっていない。公営へ入居してから、他人と話すのが少なくなった。週ボラさんとは…たくさん話すけどね。音楽が好きで、クラシックやトランペットなどのBGMを愉しんでいる。〈床の拭き掃除・布団の取り入れを手伝った。紅茶を頂いた

時、「一人での飲むと美味しくないが、みんなで飲むと…美味しい」と言われ、お話を喜んで下さった。〈70歳男性、一人暮らし、担当：中谷、矢野、辻野〉

[一般公営の空き家募集入居者]

・仮設が決まらず、1ヶ月間…一人で過ごし、心細い思いをした。仮設住宅では、よく声をかけてもらい、淋しくなかったが…。今は、淋しい。隣の人とも交流がなく、右隣の人とは顔も合わせた事がない。一人っ子の為、身寄りもなく、デイサービスの日（9：30～夕方まで）だけが、楽しみです。普段は日中テレビを見ていて、買い物以外は外出をしません。地震の前に母を2年間介護したが、最後まで面倒を見れ、良かったと思っている…。右目がチクチクし、3ヶ所の医者にかかってみたが、原因が分からず困っている。〈神経内科はどうか？と勧めた〉。
(69歳男性、一人暮らし、担当：西岡、鹿島)

5月20日

[復興住宅]

・腎臓が悪く（20年前から）、発作が起きると…尿が止まる。4月からは要介護1となり、ヘルパーが週2回、家事援助（掃除・選択）に来てくれるようになった。体調が悪い時は緊急ボタンを押すが、土・日・祝・夜間はL S Aがいない。そんな時は同じ階の方が、救急車（急病）を呼んだり、身内に連絡してくれるが、ブザーが近所に鳴り響くので、気が引ける…。集會場で色々イベントを行っているが、人の集まる場所は嫌なので、行かない。でも子供や孫が近くに住んでおり、よく来てくれます。〈最初、「何を話せばいいの?」と戸惑っておられたが、ご自分の人生やご家族の事など…色々話して下さった〉。(85歳男性、一人暮らし、担当：矢野、矢萩)

・孫がアメフトをしているので、今もよく応援に行きますし、ひ孫も時々遊びに来てくれる。週末ボランティアさん、いつもありがとう。〈どの言葉で…話が弾み手芸で作られた白鳥を2羽頂いた。その後、顔見知りのメンバーとバトンタッチする。〉物を生かす心掛けは自分を生かし、活力を生みます。また依頼心が強いと老化するのでは？ 私は…広告紙を利用して、丈夫でソフトな肩たたき棒を作りました（幅5～6cm・長さ45cmの物を、15～16本ボンドで束ねる）。毛布も自分で洗います。風呂の縁に掛け、水切りするなど、色々工夫して…。(87歳女性、一人暮らし、担当：林、小波本、田植、白岩)

・ここは、通路に出ても人影がない。特に子供の姿が見えないのが寂しい。『姥捨て山』では？と、思う時がある。震災の時、4時間ガレキの下に埋まっていた。それ以来、胸が苦しくなったり…だるくなり、今だに治らない。でも医者に診てもらっても、「どこも悪くない」と言われる。〈以前より話されていた、土地問題への不満を語られた。時折「お兄ちゃん達、ごめんね。大事な時間なのに、私の長い話に付き合ってくれて…。でもこの気持、誰かに話さんと気が重いのだ」と言われていた〉。(83歳女性、一人暮らし、担当：辻野、長船、赤西)

・糖尿病・心臓病等で、体が弱っている〈やや気になる方でした〉。(66歳男性、一人暮らし、担当：田植、白岩)

・母（95歳）は、3月からまた違う施設へ転院した。遠くなり、以前のように、毎週行けなくなった。時々電話を入れているが、耳が遠いので…こちらが一方的に話すだけだ。でも「おおきに」と言ってくれる。私は心臓の調子が悪くなり、疲れやすくも、なっている。集會場で、

行事は色々あるけど、カラオケに2回行っただけ。(58歳男性、一人暮らし、担当：小波本、林、矢野、矢萩)

・同じ仮設だった人に会くと、必ず「仮設の方がええわー」という話が出る。夜は特にそうだが、窓が開いてないと、実に静か…。以前は通院に体力を使い…疲れていたが、世話役の方に近所の病院を紹介してもらい、楽になった。要介護1で、週1回デイサービスに参加している。楽しいけど、横になれないのが…しんどい。でも、花見等があるので、気に入っている。(77歳女性、一人暮らし、担当：矢野、矢萩)

5月27日

[復興住宅]

・10年前に脳出血で倒れ、右半身不自由となった。杖と、首にコルセットが必要だ。ヘルパーさんが、週1回来てくれ、掃除をしてくれる。でも、買い物は車椅子に乗って行き、食事は自分で作ります。気晴らしになるので、集会所で将棋をします。〈安心カードをお渡しした。ご自分から話したりするのは苦手な方でしたが、快く中に入れて下さいました〉。(63歳男性、一人暮らし、担当：長船、辻野)

・夫が…今年亡くなった。16年前、脳梗塞で倒れて以来、夫の世話をしてきたが、夫も…長患いで苦しただろうと思う。しかし、やっぱり一人になると寂しい。せつかくこんな新しい家には入れたのだから、もっと一緒に暮らしたかった…。腰(ヘルニア)が悪いが、その他は健康です。たまに、子供も遊びに来てくれます。(70歳女性、一人暮らし、担当：長船、辻野)

・20歳の頃、悪性リウマチになり、松葉杖か車椅子を使う生活となった。現在も約5種類の薬を、服用しなければならない。でも心の状態が極めて良好です。週に一回、ホームヘルパーの来訪とデイサービスがあり、住宅環境も整備されています。手芸や観劇(手伝ってもらい)へ行ったり、障害者用の車を運転し…友達や親戚の家・ドライブで知り合った方を訪問する等、日々楽しんでます。〈体が悪くても、乗り切る事が出来れば、50歳以降はいただきものの人生だから…面白く楽しむ、という事を実行されている方でした〉。(66歳女性、一人暮らし、担当：堀内、川口)

〈ご本人から届いたFAX〉 昨日は大雨降る中を、遠方から大勢の方がお越し下さいまして、ありがとうございます。私の所にも、男女お二人が来られ、初病から現在に至るまでの話を、一生懸命聞いて下さいました。「お話伺いボランティア」なのに、ストーブを箱に納め、扇風機を組み立てて下さいました。今日から、暑さ知らずで、快適に過ごせます。目が悪く、胸に付けておられた名札を、読み取る事が出来ませんでした。どうぞ、お二方様によりしくお伝え下さいませ。また、こちらに来られた折には、是非お立ち寄り下さい。楽しみにしております。

・仮設に住んでいた時、砂利道で転倒し足を痛めた。リハビリの末…ようやく、杖なしでも歩けるようになったが、今も湿布は欠かせない。料理や掃除の、合理的な方法を常に考えており、ベランダでは…数多くの植物を育てています。デイサービスへ週一度通ってますが、『出来るだけ…人に頼りたくない』が、信条です。音楽は『ビートルズ』が大好きで、『レット・イット・ビー』や『イエスタディ』以外にも、好きな曲がたくさんあるのよ。〈昔のアルバムや歌集・画集などを見せて頂いた。お孫さんがアメリカで活躍している内容の雑誌もあったが、英

語なので分からないとの事。後日、日本語訳をお渡しする約束をしました。とても、お若い方でした。)(90歳女性、一人暮らし、担当：中谷、赤西)

・月1回、ふれあい交番や保健所から、訪問に来てくれる。入居して2年になるが、住み心地はいい。でも入居当初はセールスがよく来て、玄関まで勝手に入ってきた事も…。「役所から来た」という人には、「証明する物を見せろ」と言うようにしている。とにかく変なのが来たら、きっぱり断る。最近は、ようやくセールスも少なくなった。以前、脳血栓で倒れたが、今は右足がちょっと悪い程度だ。妻も12年程前にクモ膜下出血で倒れたが、幸いほとんど後遺症がない。家事は、二人で助け合いながら、してます。子供達が孫と遊びに来てくれるが、まだ小さいので…走り回り、相手をするのに疲れてしまう。(76歳、2人暮らし、担当：矢野、矢萩)

・1年前、急性肺炎で一時意識不明に…。10日程寝たきりの状態でいたら、足が立たなくなり、今はずっとベッドで横になっている。昼、ヘルパーさんが来て世話をしてくれます。火・金は往診がある。息子は夕方に来て、泊まりがけで世話をしてくれる。現在は、内臓に悪い所もなく、食事も出来ます。毎日…何もする事が無い。死後の世界はどんなだろうか、地震で死ねば良かったとか、考えてしまう。それでも、21世紀がどんな世の中になるのか、見てみたい…。今日はよく来てくれました。また、いつでも来て欲しい。(91歳、2人暮らし、担当：長船、辻野)

・脳梗塞で倒れた事があるので、今も薬を飲んでます。仮設の時は、毎朝3000歩歩いていたが、今は1000歩がやっとだ。妻は腰痛で、足も不自由なので、杖を使っている。心臓も悪く、最近…気管支炎で痰が詰まり、夜中になると苦しむ時がある。病院は2週間に1回、二人で一緒に通います。ヘルパーさんが週2回来てくれる。でも、買い物と朝・昼の食事は私が作り、夜食は妻が作ってくれます。近所にいる娘も、時々来てくれます。仮設の時は、全国からボランティアが来てくれた。その中で、今も来てくれる人達がいます。今日も、こうして来てくれて嬉しい。〈お互いに、不平や負担と思わず「それが夫婦というものでしょう」と話されていたのが、印象的でした〉。(86歳、2人暮らし、担当：伊藤、小田)

6月3日

[復興住宅]

・夫は、今年亡くなった…。以前住んでいた場所で、安い住宅があれば、移りたい。コンクリートで囲まれた、今の生活は苦痛です。今は、少し動くだけでも、しんどい…。医者からは「環境病だな」と言われました。(76歳女性、一人暮らし、担当：堀内、丸笹、竹森)

・ここに来てから、喘息になった(車の通行量が多いため)。今まで、これといった病気はした事がなかったのに。季節の変わり目は、特にしんどい…。同じ棟に住む元大工の方に、長椅子を作ってもらい、玄関横に置いています。妻が煙草嫌いなので、いつもここで吸っている。〈長椅子に座って、戦中・戦後のお話等を伺いました。今は、落ち着いた生活をされている様子〉。(80歳、2人暮らし、担当：小波本、矢野、矢萩)

・巡回訪問が週2回、ヘルパーも週2回来てくれるが…約1時間なので、簡単に掃除をして、終わりになる。介護保険開始前は、もう少し長く…時間がとれたのに、残念だ。デイサービスへは、楽しく通っています。〈安全カードをお渡しする〉。カードを以前持っていたが、失くしてしまった。ありがとう。(86歳女性、一人暮らし、担当：小波本、赤西)

・ここも、ようやく慣れました。高齢なので、いい所に入れて…やれやれと安心したら、途端に…夫の体が弱くなった。余り歩かなくなり、何するにも時間がかかるようになった。今までは病気もせずに来たが、これから人の世話になるのかと思うと、生きる元気がなくなる…。灘の浜に来るバスは、1日4本しかなく、国道を走るバスは、時間が当てにならない。そのうえ無料パス（敬老乗車証）を使うと、運転手に嫌味を言われる。人間の尊厳を踏みにじられるような気がして、通院等には、電車を使う。でも、この棟から駅まで、高齢者にとっては遠い…。

（80歳、2人暮らし、担当：長船、中谷）

・仮設の友人や知人は、散り散りばらばらになり、ここはドアを閉めたら、なかなか話せない…。喘息になり、もう5～6年経つ。夜や雨の日は、しんどい。ヘルパーが週2回、巡回訪問が週2～3回来てくれる。でもケアセンターへは行かない。喘息で、すぐしんどくなるし、皆にも心配をかけたくないから…。「かみひこうき」は、白内障で…よう字が書けへん。〈ご本人が、外に出る事が、無理なようなので、再訪問をお願いします〉。（70歳男性、一人暮らし、担当：矢野、竹森）

・趣味（日本画・俳句・山歩き）を持つ事で、充実した日々を過ごしています。今、パソコンに熱中しているが、始めて3ヶ月で故障してしまい、修理中です。料理のレシピは1000程ある。お客さんが来たら、妻ではなく私が料理します。またこれからの人生を、どのように前向きで積極的に、人に優しくしていけるか、考えながら生きています。毎朝2時間歩いているが、顔を知っている方に挨拶しても…返答が90%位ない。寂しい事だ…。また訪問して下さい。

（69歳、2人暮らし、担当：堀内、丸笹）

・最近、左腕がしびれ、夜になるほど疲れが出る。血圧が高く、3ヶ月前…家で倒れ、緊急ベルを押して、救急車を呼んでもらった。でも近所の方達と仲が良く、息子夫婦もよく来てくれるので、一人が気楽です。介護保険導入で…負担が増えました。本が好きだけど、この年では、六甲道の図書館は遠いです…。移動図書館が来てくれたら、いいのにな。（81歳女性、一人暮らし、担当：中谷、長船）

・先週お約束した”お孫さんが掲載されていた雑誌（アメリカ）の日本語訳”と、前回同行者から頼まれた”花を一輪”お渡ししたところ、とても喜んで下さいました。（90歳女性、一人暮らし、担当：田植、赤西）

・前回訪問…ベッドで寝たきり。またいつでも来て下さい。

ヘルパーさんが毎日、朝30分・昼1時間・夜20分の3回来ます。でも、仕事が終わるとすぐ帰ってしまうので、話す事もなく…寂しい。食事も、おいしく食べられない。週2回、デイサービスで楽しみますが、6時間いるのは…結構疲れます。誕生会をしていた…仲の良かった友達は、震災で皆亡くなってしまった。〈他に悪い所がないので、自力で動けないのが、本当に歯がゆいご様子でした〉。（91歳女性、一人暮らし、担当：小波本、矢萩）

6月10日

[復興住宅]

・昨年10月、脳下垂体の手術をし、まだ体の方が疲れます。歩行もしんどく、先の事を考えると、不安がいっぱいです。（68歳、2人暮らし、本人自筆）

「コンクリートの建物になり、話し相手がいなくなった」という事を、声を大にして言いたい。近くにケアセンターもあるが、シルバーの人ばかり見て、一般は対象にならないと…話

されていた〉。(担当：白岩、矢野)

・夫は建具職人だが、震災で仕事場が壊れ、最近は…仕事も少なく、年金生活になった。ここは交通の便が悪く、老後に不安を感じます。また最寄りに医者がなく、何かあった時が、心配だ。駐車場も少なく、子供がたずねて来てくれても、車を置く場所がない…。震災後は民間マンションに住んでいたの、来た当初…他の住民になかなかとけ込めず、鬱状態になった。今は、夫婦とも外に出るよう心掛けており、色んなサークルにも参加しています。(62歳、2人暮らし、担当：赤西、藤村、西畑)

・左目は網膜剥離で失明、右目も悪いので、夜は歩けない。去年から、糖尿にもなり始めた。歯がないので、今はお粥などの流動食を中心に食べています。ダイエーのレシートで鶴を折っている。目が悪いので、勘で折るが、作ると気分がいい〈すごく器用な方でした〉。ケアセンターは、週2回来てくれます。また収入が少ないので、始末して生活しています。若い頃、ダンス等…色々したので、宝物が多いわ。自分の人生だから、その日その日を、大切に…していきたいな。(67歳女性、一人暮らし、担当：竹森、矢萩)

・血液が自分の体で作れない病気で、4ヶ月入院し、帰ってきたところです。娘が毎日来てくれるので、生活は大丈夫です。入院中は薬の影響で食事がとれず、副作用で髪の毛も全部抜けました。在宅中に、ご飯を食べ…体力をつけ、又1ヶ月入院する予定です。体力がないので、お付き合いできませんが、いつも気に掛けて下さって、ありがとう。(60代女性、一人暮らし、担当：田植、堀内)

・糖尿病と血圧が高いので、通院している。妻は肝炎で医者に通っているが、月に1~2回、気を失い…倒れる。目を離れた時に妻がどうなるか分からないので、ほとんど家を出る事が出来ない。今は何とかやっているが、今後いつ、ヘルパーやボランティアのお世話になるか分からない。〈妻〉…自分が思うままに動けないので、頭に来る事がある。(62歳、2人暮らし、担当：西畑、赤西、藤村)

・言いたい事は山程あるけど…。仮設で、喘息がひどくなり、医者への支払いが、月1万円以上になる事もある。60歳前半は、高齢者としての様々な補助が受けられず、生活を切りつめる事になります。〈「言いたい事は、出来るだけ溜めない方がいいですよ」と伝えたところ、別れ際に涙ぐまれていました〉。(60代、2人暮らし、担当：藤村、西畑、赤西)

・神経痛で、梅雨時は一番きつい。心臓病も患っているので、ケアセンターが、週2回来てくれます。郵便局へ行くのに約30分以上かかるので、近くに作って欲しいと、署名運動を行ったが、駄目だった…。仮設にいた方が、住民同士親しみやすかった。(？歳女性、一人暮らし、担当：白岩、矢野)

・ここに来た当初は、エレベーター内で挨拶を交わす事もなく、冷たいものだったが、最近は少しずつ良くなってきた。ガーデニングクラブに参加しています(会員は30名以上)。ここは有名な方が設計したが、住む者にとって好ましくない面もある。表の通りの…真下からの夜間照明は、目に直接光が入るので、結局…光を避けて歩く事になる。また子供の遊び場が充分でなく、気の毒に思う。ベンチも、もう少しあったら、いいのではと思う。(？歳、2人暮らし、担当：矢野、白岩)

・ガーデニングのサークルに所属しています。私(妻)は高血圧で、体調が悪い時は寝込んでしまう。どちらか一人…残った時が、心配です。又、のぞいて下さいね。(？歳、2人暮らし、担当：堀内、田植)

・〈知り合いの方が様子を見に来られており、その方に伺う〉。最近喘息がひどく、話すのも苦しいようです。ヘルパー（週2回）さんなどに、頼る事も多くなりました。目や耳も弱くなり、生活で不自由する事が増えています…。(80代、一人暮らし、担当：北山、竹内、赤西)

・震災時、娘と孫2人を亡くした…。その悲しみを今も引きずっており、義理の息子と残った孫とで、毎月欠かさず墓参りを続けている。自営業を営んでいたが、震災で駄目になり、今は年金と私（妻）のパート勤めで暮らしています。糖尿病を患い毎日通院しているが、生活面では前向きに、生きています。孫も大きくなり楽しみも増えたので、それでよいと思っています。

〈訪問に同行した名古屋の高校生2人に、奥さんから若い人へのお願として、「少しでも年老いた人に優しい気持で、これからも接して欲しい」と話されていた。また高校生もご夫婦と一緒に写真を撮り、必ず後日送る約束をしていました〉。(68歳、2人暮らし、担当：森、竹邑、西畑)

・足は悪いが、リハビリを兼ね、できるだけ自分でするようにしています。娘もよく来てくれるので、安心です。仮設の時、『神戸元気村』を通し、山梨の方からお米を頂いた。その後も手紙や写真のやり取りを通し、交流が続いています。震災をきっかけに、いいめぐりあいが出来た。今の子ども達は『思いやり』がないから、色々な問題を起こすのでは？ 『思いやり』は他人から言われてわかるものではなく、体験しないと身につかない。また年寄りや身体の不自由な人と、若い人などの交流が大切です。若い人は、年寄りから生活の知恵を学ぶ事が出来、我々は、若者からエネルギーをもらう事が出来る。〈耳はかなり遠いようですが、『心はいつまでも青春』という、若々しい気持を持たれていました〉。(90歳女性、一人暮らし、担当：鳥居、石田、矢萩)

・〈高校生を見て…玄関横のお部屋に上げて頂いたが、そこには外出用の携帯酸素ボンベがありました。病気の話やヘルパー・介護保険などについて、お話を伺う〉。梅雨入りし、体調があまり良くなって、今日も…日中は休んでいた。ボランティアやヘルパーさんをお願いがある。親切にしてくれるつもりで、色々言ってくれるのはいい。けれども、いざそれを頼んだら、なかなかしてくれない人もいる。出来ない事は言わないで欲しい。それか、言う事はきちんと実行して欲しい。(70歳男性、一人暮らし、担当：大竹、安江、竹森)

6月17日

[復興住宅]

・脳梗塞で倒れ、3ヶ月前にようやく退院した。これって、どんどん悪くなるんやろうか？ 花が大好きなので、手入れをしようと思うが、身体がついてこず、枯れてしまった物もある…。今日は、手伝ってもらって、本当にありがとう。〈花の植え替え作業の依頼があり、植木やプランターの置き場所など、指示によって作業を行った。またトイレの壁紙がはがれていたので、ボンドで応急処置を行う。動きやお話が、上手に出来ない様子でした〉。(？歳女性、一人暮らし、担当：浦口、鹿島、矢野)

・少しでも、元居た所の近くへと、ここを申し込んだ。友達もいるし、仮設に比べれば、ここは天国。来てよかった。グランドゴルフやふれあい喫茶にも参加しており、みんな良くしてくれます。入居後、主人が脳梗塞を起こし、今もカテーテルを入れてるので、その事が気がかりです…。(67歳、2人暮らし、担当：辻岡、松山、竹森)

・民謡が好きで、カラオケでよく歌います。今日は昔の話も出来て、非常に良かった。来てく

れてありがとう。〈安心カードの記入をお手伝いし、お渡しした。また『ふるさと』と一緒に歌い、とても喜ばれた。〉。(75歳女性、一人暮らし、担当：西田、小波本)

・地震の前、交通事故の被害に遭い、その後遺症に悩む。目をはじめ、身体のいろんな所が悪い。ヘルパーさんに来て欲しいが、市から「65歳にならないと駄目」と言われた。障害手帳はもらいたくない…。しかし、家の中の掃除が出来ないので…汚く、是非ヘルパーさんには来て欲しい。〈『市福祉協議会のチラシ』をお渡しした〉。住民の為に、自治会は頑張っ欲しい。ボランティアさんに、今日は色々な話や気持ちを聞いてもらい、良かった。(63歳男性、一人暮らし、担当：長船、筒井、鹿島)

・年金をもらえるようになった頃、震災に遭った。その後、大阪の仮設で3年過ごしました。仮設は、顔見知りが多かった。ここでは…同じフロアの人と、顔を合わせる事が少ない。また交通の便が悪く、ダイエーの品揃えにも不満がある。今は気楽な一人暮らしです。終の住居で、酒の量が増えなければ…と願っています。(？歳男性、一人暮らし、担当：伊藤、中谷)

・遺伝性の眼病で、視界が下半分しか見えないので、白い杖を持っています。かかりつけの先生は、とても良い方で、地震後よく手紙を頂きました。ヘルパーさんが週1回来ます。デイサービスをよく利用していますが、孫みたいに…ようしてくれます。今は幸せです。友達とか、みんないい人に当たるから…。(80歳女性、一人暮らし、担当：辻岡、竹森)

・先月、夫が入院先より退院してきた。夫はほとんど動けないが、でも…互いに家に居る方が、安心できます。ここでの近所付き合いも、うまくいっています。街に出る時も便利だし、不便だった買い物も、近くにダイエーが出来て、助かっている。バスも目の前に停まります。うちの上は建物の構造上、空きスペースになっている。だから最初の頃は、高校生くらいの少年達が、上で騒ぐと響いたり、おしっこをされて臭かったりと、迷惑した。たまらず「何やってんの」と、少年達に立ち向かい、よくケンカになった。周りの人達は、「何かあったら…」と心配してくれていたが、今では少年達から「おばちゃん」と声を掛けてくれる程、仲良くなりました。(？歳、2人暮らし、担当：松山、亀井)

6月25日

[復興住宅]

・震災後に結婚したが、それぞれの実家は全壊で、靴も持ち出せなかった。私達2人に父の収入を併せると…かなりの額になり、復興住宅への申し込みが出来なかった。ここは公団・県借り上げ公団が混在していて、コミュニケーションがうまくいってない。同じ階でも、顔が分かるのは西端の奥さんだけです。(？歳、3人暮らし、担当：川口、堀内)

・こんな立派な所に住まわせてもらって…悪口を言うのも何だが、近所の触れ合い等は仮設の時の方が楽しかった。ここはドアを閉めたら人の声も聞こえず、顔も見えない。今は…近くの温泉へ、通うのが楽しみです。ケアセンターからは週2回、訪問の人が来てくれます。(70代、一人暮らし、担当：赤西、中谷)

・歯医者の治療費は高いが、どのように値段を決めているのだろうか…。週に4回、昔の職場で働いています。気分転換にもなるので、とても気に入っています。(60代女性、一人暮らし、担当：塩原、浦口)

・何回も訪問を受けておられるとの事で、快く中まで通していただきました。「出身は石川県なの」と言われ、私自身…小松で同郷ということがわかり、話もさらに弾みました。記憶力も

話し方もしっかりされており、頼もしい明治の女性を感じました。(91歳女性、一人暮らし、担当：浦口、塩原)

・母(91歳)は2年半前から、寝たきりになった。最初は家からの通いで世話をしていたが、今は泊まり込みでしている。最近…介護疲れで、肝臓が悪くなり、病院通いをしています。要介護4をもらう為に、市役所へ通い詰めたけど、ヘルパーさんは介護する時間が決まっており、それ以上に介護を受ける時は、お金が必要になる。以前はもっと柔軟であった…。(65歳、2人暮らし、担当：辻野、藤村)

7月1日

[復興住宅]

・〈窓を小さく開けて…〉お話しする事はありません…。病気がちで、仕事はしていません。(？歳男性、？人暮らし、担当：加藤、白岩)

・三宮で飲食店を経営していたが、震災で店は全壊、借金だけが残った。今は月の半分程、警備の仕事に行っています。妻の母(93歳)と同居しているが、介護保険は「要介護3」と認定された。デイケアへ誘ってくれるが、行くと…かえって疲れるようなので、今は家で休ませています。(62歳、3人暮らし、担当：丸笹、堀内)

・18年前、肺が半分機能しなくなり、主治医から「もう半年しか、持たない」と匙を投げられ、数カ所の病院をたらい回しにされた。その後…ようやく、今通院しているところへ、入院できた。『どくだみ』や『生たまねぎ』を食べる健康法も行い、こうして生き延びる事が、出来たと思う(障害1種4級)。戦時中、乗船していた船が広島に寄港し、私だけを降ろし…港を出た。そして、間もなく被爆した(手帳を持っている)。「何故、私だけが」と思ったが、乗っていた船は、その直後インド洋にて撃沈され、全員死亡したとの事…。今は本が好きで、読書をする毎日です。〈辛かった事、大変な事についても、非常に明るく語られていました〉。(75歳、2人暮らし、担当：泉、赤西)

・子供を遊ばせる所がないので、遠くの公園まで付き添って行かなければならず、大変です。(？歳、2人暮らし、担当：加藤、白岩)

・夫は、背中を手術して1年入院し、最近帰ってきたところです。困っている事と言えば、端部屋なので、何かされるようで…怖い。去年は石を投げられ、ベランダのガラスを割られた。犯人はわからないが、たぶん子供だと思う。(75歳、3人暮らし、担当：石川、矢萩)

・足が不自由(障害2級)。『神戸元気村』のベルボックスサービスを受けており、週2回…訪問にも来てくれます。手芸が趣味で、『はり絵』・『造花』・『編み物』等、作品がたくさんあります。近所の方と、友達付き合いをしているので、寂しい思いはしていません。〈安心カードをお渡しし、血液型を調べるようお勧めした〉。(54歳女性、一人暮らし、担当：堀内、丸笹)

・避難所で、5階まで水運びをしていた際、両膝・腰を痛めた。今も毎日、杖をつけて…通院しているが、しんどい。近所でペットを飼われている方とトラブルになった〈『市長への手紙』をお渡しした〉。入居して間もなく、どこからか…石が飛んできて、ベランダフェンスの目隠しガラスが割れた。市に相談したが、「うちでは出来ません」と言われたので、そのままにしている〈市住宅供給公社・補繕係の電話番号をお伝えし、相談してみるようお勧めした〉。(64歳、3人暮らし、担当：石川、矢萩)

・足の具合が悪く、外出できない。足さえ良くなれば、あちこち行きたい所があるのだが、今は…ドアを開けて廊下に出るのみです。本当に残念でならない。毎日、娘が来てくれるので、特に困っている事はないです。〈『安心カード』を、お渡しした〉。(90歳女性、一人暮らし、担当：泉、赤西)

・52歳頃から、人工透析(2～3日おきに)の治療を受けている。1回の透析時間は、2～3時間かかる。これ以上悪化しない為に、肉・レバー・豆類などの食事制限があり、酒も禁止されている。しかし、ビールが大好きで、1杯が2杯になってしまう…(笑)。元住んでいた所では、震災で多くの人が亡くなった。けがをしなかった分、幸運かな…。(65歳男性、一人暮らし、担当：加藤、白岩)

7月8日

[復興住宅]

・6月初旬、体調が悪くなり入院したが、朝方まで寝れず…やむなく退院した。耳が悪く(補聴器を使用)、心臓や腎臓の調子もよくない。何とか気力だけで、頑張っています…。近くの病院で、点滴だけ打ってもらってます。ヘルパーが週2回来てくれ、身の回りの事はしてくれます。(87歳男性、一人暮らし、担当：里、矢萩)

・人生は山あり谷ありだが、圧倒的に谷の時の方が多い。でも、貧乏にならないと、人間…強くなれないのではないかと思う。今回の震災では勉強になった。(？歳、2人暮らし、担当：田植、藤村、矢野)

・夫は脳梗塞で、近くの病院へ通院しています。今は全く困った事がないが、子供がいないし、将来について不安を感じる。〈ご本人は、年齢よりもお若く感じました〉。(79歳、2人暮らし、担当：西、藤村)

・ここでは高齢者の方が多いので、クーラーや電気の使い方がわからないというので…教えに行ったり、非常ベルが鳴る(廊下に鳴り響く仕組みになっている)度に、駆けつけます。また、色々な方がおられるようなので、警察や行政と連携を密にしています。住民にも「何かあれば、相談して下さい」と言ってるので、電話があつたり、人が訪ねてきて、1日中…休む間もないです。〈忙しい毎日を過ごされているようですが、ご本人はお元気との事でした〉。(70代男性、一人暮らし、担当：里、矢萩)

・高血圧等で、通院中です。腎臓を片方取って以来、酒・煙草は止めました。食事は、スーパーで買った物を、食べている。何と言っても…『話し相手』がおらんから、寂しい。ちょっと前まで、換気扇のフィルター・保険・宗教の勧誘と、セールスが…よう来た。浄水器は、うっかり契約してしまい、市に相談したらエライ怒られたけど、キャンセルが出来た。今は…タチの悪い、ピンクチラシ(風俗)がよく入り、迷惑している。犬・猫を飼っている者に、言いたい。「フンの始末ぐらい、しろ」と。(53歳男性、一人暮らし、担当：赤西)

・足にけがしており、月1回の割合で通院しています。ここは、交通の便がよいと思うので、老人無料パスは続けて欲しいです。犬・猫を飼う時は、マナーを守ってほしい。(78歳女性、一人暮らし、担当：西、藤村)

・今は腎臓が悪く、週3回透析を受けている。この状態では、普通に働けないので、時間が空いた時…近くのボランティア団体で、送迎のドライバーをしています。母が脳梗塞(要介護5)で、入院しているので、とても心配。(38歳男性、一人暮らし、担当：田植、矢野、藤村)

7月15日

[復興住宅]

・今のところ病気知らずで、保険料ばかり…払ってます。傾いた家の中から…家財道具を運び出す時、引っ越し業者が怖がったので、自分で取り出しました。歩くのが好きで、三宮までなら、30分ぐらいで行けます。とにかく、出来るだけ人に頼らず、元気で頑張りたい。(70歳女性、一人暮らし、担当：中谷、高橋、辻野)

・平成10年3月31日退職予定を、会社からの要望で4月末まで残った為、法律改正のあおりで、失業保険が半額になってしまった。また公営入居後も、家賃を1年間、正規の額で納めた…。私は体を動かす事が好きで、風邪一つひいた事がないです。カラオケが好きなので、自宅で教室を開いたり、老人クラブでも、同好会を作った。老人ホームで歌謡ショーを開いた時は、入所者の方々に喜んで頂いた。〈グランドゴルフを楽しむ等、とてもお元気な方でした〉。

(67歳、2人暮らし、担当：矢野、矢萩)

・25歳の頃、徴集にあつて海軍に入り、台湾・ベトナム・ジャワなどを回った。この年まで好きな事をしてきたので、いつ死んでもいいと思っているけど、なかなか…死なないものだ。膝が悪いが、杖を使わないよう、頑張っています。グランドゴルフを週3回しており、料理が好きなので、自分でよく作ります。今、川柳を習いたいと思っているところです。暮らしの中で、感想を5・7・5で作し、オチをつけたら…楽しいと思う。(81歳男性、一人暮らし、担当：竹森、増田、堀内)

・1年前…脳梗塞を患い、右手が動きにくくなった。でも、娘もよく来てくれ、週1回デイケアにも行ってます。民謡とカラオケが、趣味です。2年後に、家賃が上がる(震災特例の家賃減免切れ)のが、とても…心配だ。(81歳女性、一人暮らし、担当：堀内、増田)

・何も言う事はありませんが、夏になると西日がきつく、とても暑いです。7～8月は、とてもたまりません。夜もなかなか眠れません。(79歳女性、一人暮らし、本人自筆)

22歳の時、神戸に出てきて…空襲や震災を経験しました。今は足が悪くて、病院に通っているけど、出来る限り、自分の事は自分でやる主義です。今日は、みんなが訪ねてきてくれ、楽しい。また来てな…。〈まだまだ話したい事が、一杯あるようでした〉。(担当：里、赤西、藤村)

・血圧が低く、起きていると倒れそうになるので、ほとんど横になっている。ずっと家にいると暑いので、扇風機を2台使っています。食事は、ダイエーで惣菜を買ってくるが、食べたり…食べなかったりです。娘がよく様子を見に、来てくれます。(？歳男性、一人暮らし、担当：林、小田)

・灘の生まれなので、地元に戻れてよかった。震災後、避難所・仮設・公営と、それぞれの場所で転び、段々足が悪くなった。でもダイエーまでは運動だと思って、毎日…手押し車を押し、行っています。耳も聞こえにくいですが、自分で…何でも出来ますよ。娘家族も近くにおり、孫が時々泊まりに来てくれます。(83歳女性、一人暮らし、担当：林、小田)

・目まいがひどいです。息子2人と暮らしていますが、昼間が心配な為、今は週2回、ヘルパーさんに来てもらってます。嫁も、よく来てくれます。子供を7人授かりましたが、食糧事情の悪い頃は、私がお米を口にするのは、正月だけでした…。〈ヘルパーさんが帰られる際…介助を得て、ベッドへ横になる習慣があるとの事で、お暇しました〉。(？歳女性、3人暮らし、担当：中嶋、塩原、白岩)

・さっき、デイサービスから帰ってきたところです。病気の為、手が少し震えます。足も少し動きにくいですが、日常生活にさほど支障はないです。ここは段差がなく、隣の物音が聞こえにくいので、気に入っています。宅配便の不在通知が入っていたので、電話を掛けたが、コンピュータで…聞き取りにくかった。また夜になると住宅前をバイクが走り、うるさい。住みにくい世の中になったものだ…。〈宅配便の会社へ、代わりに電話をしました。田辺聖子の本を、またお貸しした〉。(81歳女性、一人暮らし、担当：中谷、高橋、辻野)

・元気な娘時代、『宝塚音楽学校』を受けようと勉強していたが、捻挫をした。その後、どんどん足が悪くなってしまい、20歳の頃には、車椅子を使う生活となりました。被災時、家は全壊だったが、2階に居たので助かった。でもガスの引火が、とても怖かった。逃げられないから…。ここでは、好きな料理も、不自由なく出来ます。〈先週、神戸市内のバリアフリーガイドマップをお渡しした。お花や植木鉢も多く、プチトマトやキュウリ等も栽培されていました。手芸もたくさんされており、作品を見せて頂いた〉。(66歳女性、一人暮らし、担当：中嶋、塩原、白岩)

7月22日

[復興住宅]

・仮設の時は元気だったが、入居後…糖尿病になり、足が痛む。週に一度、安否確認の人とヘルパーさんが、来てくれます。最上階という事もあり、誰とも顔を合わせた事がなく、緊急ブザーも…通路で鳴るだけで、役に立たん。家賃の減免措置がもうすぐ切れるけど、いくら払う事になるのだろうか？ 年金生活なので、これ以上の値上げをされたら、しんどい…。〈市の家賃減免は、5年経過後もある。利用すればそんなに上がらないが、毎年手続き更新が必要になる事をお伝えした。また緊急ブザーを鳴らしてみたが、誰も出てこられないので、次回訪問の際は、ケアライン119の資料を持参する予定〉。(70代男性、2人暮らし、担当：竹森、鹿島)

・妻はヘルニアで、通院していますが、私は元気です。夫婦で助け合い、何とかやっています。〈『四季の歌』のペン習字の、手本をお渡ししたところ、喜んで下さった〉。(？歳、2人暮らし、担当：小波本、白岩)

・夫は今失業中ですが、息子が勤めており、私もパートで働いているので、何とかやっています。自宅は全壊でしたが、夫の勤務先が借り上げた民間マンションで、3年2ヶ月暮らした後、ここへ当選しました。2年以上経つが、住み心地はいいです。以前は、話す人もなく…寂しかった。この辺は、物心ついた頃から知っているなので、帰って来れて、本当に良かった。知り合いも、たくさんいるから…。(60歳、3人暮らし、担当：中谷、矢萩)

・夫は震災以来、夜になると、おびえるようになった…。近所付き合いは、あまりしてません。近くに息子がおり、よく来てくれるので…。仮設の時、無料パスがあれば大分助かったのに、今もらっても…行く所がない。(78歳、2人暮らし、担当：竹森、鹿島)

・体調は十分でないですが、まずまず…元気でやっています。近くで行われている、グランドゴルフを楽しんでおり、仲間も60名程います。住み心地は、いいですね。(68歳男性、一人暮らし、担当：中谷、矢萩)

・震災以降、毎日4時間くらいしか眠れない…。通院しているけど、グランドゴルフを、趣味として楽しんでいます。(64歳男性、一人暮らし、担当：藤村、堀内、小波本)

・震災の時は、公園に…1日で6畳一間の家を建て、しばらくそこに住んでいました。3年前に脳梗塞で倒れ、薬を数種類飲んでいる。最近、薬が変わったようなので、処方箋の説明書を見比べて欲しい。〈以前と今の薬や処方箋を、丹念に調べたところ、睡眠導入剤が0.5g増えていただけなので、その事をお伝えした。その後、年金の話や仕事でのいろいろな体験談を、話して下さいました〉。(65歳男性、一人暮らし、担当：川口、塩原)

・約3年前に、小さな病院で注射をしてもらった際、神経に影響したのか、車椅子の生活となった。病院のミスが明白であったが、当時…痛みが多少和らいだので、賠償などの話はしなかった。目もよく見えないので、テレビが見られない。週3回、ヘルパーさんに来てもらい、掃除や料理をしてもらいます。また週2回、迎えに来てもらい、デイサービスへ行きます。月末は、ショートステイへ3日程…外泊に行きます。(76歳女性、2人暮らし、担当：塩原、川口)

・今まで、入院していました。足の踏ん張りが効かず、家の中で、よく転びます。また、思うように歩く事も、難しい。エアコンが故障したのか、夜中でも32℃ぐらいあり、暑くて…たまらない。私など、生きていてもしょうがないのでは…と思う。〈4時頃、「訪問に来て欲しい」と携帯に電話が入り、急遽伺う事になった。足が異常に腫れており、なぜ退院させるんだろうと思う程だった。エアコンはガスが抜けているようなので、電気屋さんを呼ぶようにお勧めした。ただただ…お話をお聞きするばかりでした〉。(65歳女性、2人暮らし、担当：堀内、鹿島)

7月29日

[復興住宅]

・デイサービスへ、週2～3回行きます。今日も、ちょうどケアセンターから、帰ってきたところです。公営へ入居後、体調を崩し…県外に住んでいた息子夫婦の所にいました。でも、神戸生まれの神戸育ち、やっぱり神戸がいいという事で、戻ってきた。息子夫婦も、心配して、近所に引っ越してきました。息子の強い勧めで、散歩を少しずつするようになり、歩行器を押しながらではあるが…歩けるようになった。今も毎朝、散歩しています。嫁が食事や洗濯をしてくれ、日中も様子を見てきてくれます。〈耳が遠い方だったので、あまりお役に立てなかったかもしれません〉。(90歳男性、一人暮らし、担当：泉、竹森)

〈後日…身内の方からのFAX〉 人付き合いの下手な義父ですが、29日に来て頂いて、刺激になったようです。翌日は早々と着替え、散歩に出掛けていきました。いつもは、声を掛けると、『出掛ける』という事が多いのですが、人と人の関係が、短時間でも出来るという事でしょうか。又、いつかお出で下さい。

・足が悪いので、外にはあまり出ません。通院する際の、タクシー代にお金がかかり、困っています。年金が少ないので、余計…生活が苦しいです。一人で、寂しかった。今日は、話を聞いてくれて、ありがとう。〈生活保護の資料をお渡しし、説明をした。後日被災者連絡会に、詳しく説明・検討してもらおう予定〉。8/5連絡会より→状況を伺った。受給できる金額を調べ、電話する予定。しかし、心の中に受給する事への葛藤があるようなので、申請についてはご本人からの電話を待つ事にした。タクシー代は、要介護3であれば、助成されるが、ご本人が要介護2である為…助成されない。(75歳女性、一人暮らし、担当：矢野、小波本)

・電車の清掃を、3人1組でしていた。休むと、他の者に迷惑を掛けるので、無理をし続けた。

3月初めに、ヘルニアで手術を受け、現在…リハビリ中です。収入がないので、失業保険を受けるべく、職業安定所へ行ったが、「就業可能の診断書がないと、受けられない」との事。早めに年金をもらった方がよいのかな？ 今日、長時間…話す事が出来て、気が晴れた。ありがとう。〈年金については、区役所で相談されるようお勧めした。また「コルセットが嫌で、外したい」と言われていたが、「私の体験上、外さない方がよいですよ」と申し上げた〉。(62歳男性、一人暮らし、担当：藤村、矢野、小波本)

8月5日

[復興住宅]

・ここに来てから、手芸・書道・俳句等の老人クラブの行事に参加しています。また老人クラブのメンバーで、一人暮らしの方の所へ、お話伺いにも、行っております。ここにずっと住むのだから、どうせなら楽しく過ごそうと参加したのが、きっかけでした。いろいろな人がいて、いい刺激になっており、今が青春…と思っています。震災前は、隣近所の事がよく分かっていたが、ここでは行事で顔を合わせていても、余り体験してきた話は、しません。時間をかけて…付き合っていく事が、大切なのかなと思います。先月は宗教の勧誘が、一戸一戸回っていました…。心ない事をするのは、止めて欲しい。(62歳、2人暮らし、担当：竹田、前田、矢萩)

・妻は8年前に胃ガンになり、手術をしました。耳も不自由です。私も…糖尿病です。でもこの環境に、満足しています。温泉が好きなので、よく北区の『しあわせの村』へ、行きます。〈ご夫婦で助け合って暮らされていて、前向きに考えておられる方でした〉。(77歳、2人暮らし、担当：林、浦口、柳川)

・一番問題なのは、家賃が倍になった事(措置期限の終了)です。入居時約5万円が、今は…10万円を超えている。たいして給料をもらってないので、もうちょっと安くして欲しい。(50代男性、?人暮らし、担当：木村、赤西)

・目が悪いので、予告チラシも読んでなかった。LSAの方が、週2回訪問してくれるので、特に困った事はないです。必要な事柄は、LSAの人が、大きな文字で貼り紙にしてくれます。(85歳女性、3人暮らし、担当：寺嶋、田植)

・家賃をもう少し、安くして欲しい。年金生活者にとって、民間より安いとはいえ、苦しい。←再訪問の時、生活保護の資料を、お渡しする予定。(70代女性、一人暮らし、担当：木村、赤西)

・電動車椅子で、生田川の病院まで、週2回通院しています。足は不自由ですが、身の回りの事は、とりあえず自分で出来ています。〈若い頃の戦争の話から、地震の事など話して下さいました〉。(79歳男性、一人暮らし、担当：寺島、田植)

・年金繰り上げ受給については、まだ区役所へ相談に行ってません。社会保険事務所へ照会したところ、受給可能でした。受給金額は教えてもらえなかったが、申請は必要書類を揃えて、三宮の社会保険事務所の方でして欲しいとの事だった。今のところ、何とか…やりくりしていますが、市民税の支払いの件もあるので、早めに区役所へ相談に行ってみます。(62歳男性、一人暮らし、担当：竹田、前田、矢萩)

・交通事故の後遺症で、目をはじめ身体のあちこちが悪い。食事は、ほとんどが野菜中心です。また健康の為に、漢方薬を飲んでいるが、便通が良くなり、半年で7kgやせました。酒は好き

ではないが、寂しいので…飲まないとやっつけられない（3日で焼酎1パック程度）。今日は来てくれて、本当に嬉しい。〈経験談などを、たくさん伺いました。温かい漢方薬を入れて頂き、ギターも弾いて下さった。「また来て下さい」との事でした〉。（62歳男性、一人暮らし、担当：阪上、大学、辻野）

・車椅子を使用しています。しかたなくタクシーを使う時に、距離が近いと、よく嫌味を言われるのが…辛いです。エアコンのスイッチを入れても、暑い。リモコンの操作が、よく分からない…。〈絵図と簡単な使用説明を書き、お渡しした〉。（76歳女性、一人暮らし、担当：木村、赤西）

8月12日

[復興住宅]

・義理の息子がよく訪ねてくれ、「小遣いや！」と、心してくれます。また折をみては、俳句の会に参加しています。でも、寂しい。周辺には話の合う人がおらず、訪ねてくれる人も少ないので…。近くに寄った時は、また訪ねて欲しい。〈熊野町の復興住宅におられる方から、「灘の浜へ行ったら、友人宅をぜひ訪問して欲しい」と依頼されていたので、伺いました。学生さん（千葉県）の訪問を、とても喜ばれていた。一緒に撮った写真を、後日送る予定です〉。（81歳女性、一人暮らし、担当：中、白岩）

・イベントなどへは、積極的に参加してません。カラオケは苦手で…。90代の母と一緒に暮らしていますが、特に介護の必要は、今のところないです。（70代、3人暮らし、担当：矢萩、橘）

・甲状腺が悪く、体がしんどいです。今年5月、いところが亡くなり、一人になって寂しい。精一杯介護をした。民生委員の方が訪問に来てくれるが、一人暮らしで…親戚もいないので、何かあった時が不安です。身寄りがない為、緊急の連絡先が警察になってます。今日は、久しぶりに若い人と話が出来て、嬉しかった。（75歳女性、一人暮らし、担当：福田、瀬戸、林）

・デイサービスは、まだ周囲の者と顔馴染みになれていないので、楽しいという程ではない。早く顔馴染みになれたらいいが…。今の若者は、辛抱が足らんの一。昭和初期は、大阪・神戸間を歩くのは、当たり前だったよ。（90歳男性、一人暮らし、担当：中谷、赤西）

・タクシーに乗ると嫌味を言われるので、送迎ボランティアを利用する事もあるが、こちらの都合に、合わない事も多い…。11月に、さくら銀行からみなと銀行へ、営業譲渡される。家賃の引き落としや年金の振込みもあるので、口座変更の手続き等が、どうなるか心配です。口座がある支店は、入口に段差がある為、行った事がない。〈さくら銀行へ、営業譲渡後の口座変更について問い合わせると、「銀行側で手続きするので、来店の必要はありません」との事でした。後日、ご返事する予定です〉。（76歳女性、一人暮らし、担当：橘、矢萩）

・目が悪く、歯がないので…流動食を食べてます。テレビばかり見て、ゴロゴロすると、体がますます弱りそうなので、「千羽鶴」を折る等、出来るだけ指先を使うようにしています。体調は今一つだが、大丈夫です。（76歳女性、一人暮らし、担当：赤西、中谷）

・20年前に妻を亡くして以来、一人暮らし。映画や浪曲が好きで、絵も画いています。訪問してくれるLSAの方とは、仲良しです。目が少々…不自由な以外は、どこも悪くない。いつも、土曜日は外出してる事が多いです。〈お年には見えないくらい、お元気な方でした〉。（86歳男性、一人暮らし、担当：阪井、竹森）

8月19日

[復興住宅]

・仮設にいた頃、妻は杖をついて、周囲を散歩できた。でもエレベーターを、とても怖がり、ここでは…外出できず、歩けなくなってしまった。ヘルパーさんが週2回来て、風呂やトイレなどの掃除をしてくれます。LSAは週1~2回、状況を聞きに来てくれ、内科の先生も、月2回往診してくれます。妻は話し相手がおらず…寂しい。今日は、若い人達と話をし、気が紛れて…よかった。また、来て下さいね。〈ご主人が、まだお元気なので…一人で介護をされるとの事。奥様はよく話され、冗談好きな方でした〉。(75歳、2人暮らし、担当：平戸、矢萩)

・私は腰や股関節が悪く、膀胱も手術で除去しました。夫は肺気腫を患っており、リュウマチで右手甲も腫れ上がっている。最近…健康状態が、あまりよくないので、心配です。精密検査を受けるように、何度…言っても、聞き入れてくれない。皆さんが来られる前も、その事を話していたのですが…相変わらず平行線だった。愚痴みたいになって、ごめんなさいね。(78歳、2人暮らし、担当：林、竹森)

・夫は1ヶ月前から、急性肺炎で入院したが、ほぼ完治しています。私は週2回、デイケアサービスへ通っています。娘も近所に住んでおり、何かあるとすぐに来てくれるので、安心です。〈朗らかな方で、とても楽しく、お話を伺いました〉。(84歳、2人暮らし、担当：藤本、藤村)

・右足が少し悪いです。大阪の姉の所へ、2時間余りかかるが(電車を乗り継ぐ)、時々…会いに行きます。隣近所の方々は、話しかけてくれ、よくしてくれます。集会場で、カレンダーを作りや折り紙をする時、参加しています。でも自分から、声をかけられず、なかなかお友達が出来ない…。入居した当初、色々な設備があり戸惑った。鍵(ドア)をかけ忘れ…外出した際は、ブザーが鳴って(10時間ほど、人の出入りがないと、鳴る仕組み)しまった事も。今はそんな事、ないですけど(笑)。(70代女性、一人暮らし、担当：平戸、矢萩)

・足が腫れ…歩く事が出来ないので、電動車椅子を使っています。入居当初、浴室へ…車椅子で入れない設計だったので、市役所へ何回も掛け合った。しかし息子の収入があるという事で、補助が出ず、結局…自腹を切って改装した。車椅子でいろんな所へ行けるよう、もっとバリアフリーの場所を、増やしたい。〈ご自分の経験談を明るく、豊富に語って下さった。バリアフリーマップ等、車椅子に関する本を、お渡しした〉。(62歳、2人暮らし、担当：堀内、赤西)

・娘と孫が、ここへ当選した。私は違う仮設で暮らしていたが、仮設解消時期が迫る中、公営がなかなか当たらずにいた。役所から、「娘さんが公営へ当選しているので、当分同居させてもらったら…」と言われ、この状態になりました。だから、勝手になんかする事が出来ないのよ。(78歳、3人暮らし、担当：竹森)

・妻は肝臓が悪く、約1ヶ月入院してます。周囲の人から聞く事は、金銭的な面で苦しいという事。私も長年…商売をしてきたので、少ない年金額(国民)ですが、何とかやっています。仮設に住んでいた頃、知り合ったボランティアの方達と、今も付き合っています。こうやって…誰かが訪ねてきてくれるのは、とても楽しい。(75歳、2人暮らし、担当：藤本、浦口、藤村)

8月26日

[復興住宅]

・夫は入院中で、私は脳梗塞です。こう暑いと、何をやってもあかん。部屋の中を片付けようと思うのだが、途中で疲れてしまって…寝てしまう。また端切れやチラシ・ティッシュ等を、いつか使えると思い、取っておくので、片付かない。〈お手伝いをするつもりで、上がらせて頂いたが、どこから手を付けていいのかわからないご様子で…結局、ほとんど片付けられずに終わった。大切な書類はまとめておられるので、本来は几帳面な方だと思う。自分を責められる言葉が多いので、心配になった〉。(80歳、2人暮らし、担当：品川、前田、矢萩)

・被災地しごと開発へ、週3日行っているが、勤務地が3ヶ月程で変わる。今は西明石なので、通勤に1時間かかり、しんどい。(？歳、2人暮らし、担当：竹森、沖野、竹内)

・右目は見えず、左目は0.7です。足・腰が痛くって、困ってます。(78歳女性、一人暮らし、本人自筆)

国民年金は、月2～3万円。そこに眼科・内科・外科の医療費がかかり、生活費も切り詰めて、何とか暮らしている。でも、もう限界が…。福祉を受けれる条件等を、教えて欲しい。〈資料をお渡しし、被災者連絡会の竹森氏へ、説明を依頼する〉。(担当：石川、白田、赤西)

預貯金の関係で、今すぐの申請は無理かもしれないが、一度役所へ行って、現状生活を相談してみてください。その方が、ご本人も安心できるでしょうと、お伝えした。本人も、そうしてみますとの事。(担当：沖野、竹内、竹森)

・震災の時、足腰が家具の下敷きになり、歩行難です。夫は関節炎(腕)が重くなり、左官職を…引退しました。夫婦というもんは、変なもんですわ！。私が悪くなると、必ず夫が良くなるんです。〈それは…自分が少々悪くても、相手を支えるものなのだと、痛感する。毛糸の人形等、手芸品が室内にたくさんあった。これを作っているのは、何と！ご主人だった。ふれあいセンターにて、習ったとの事。また指先を使うのは頭の刺激になるので、2人で千羽鶴をたくさん折られていた。「リングを2つに切る時、必ず差をつけて切ります。大きい方は、当然…相手の為である」。ご夫婦愛の全てのような、素晴らしいお話を色々聞かせて頂きました〉。(81歳、2人暮らし、担当：藤井、鎌倉、白岩)

・震災から5年4ヶ月、ほんまにしんどかった。仮設・賃貸アパートなどを転々とし、公営へ当選するのも…時間がかかった。震災以降、失ったものは多い。住まい・健康・そして気力…。かつて住んでいた所は、下町のような雰囲気、近隣同志…声を掛け合っていた。ここでは私のような年齢は、何か“中途半端”で、周囲と話しづらい。(60代、2人暮らし、担当：石川、白田、赤西)

・息子(障害者)が、悪口を言われたり、いじめにあっている。私は、腰が悪い。唯一の心の安らぎは、教会へ行く事です。〈非常に孤独な思いを、されているようです。定期的に、訪問をお願いします〉。(？歳、2人暮らし、担当：沖野、竹内、竹森)

・足が不自由な為、電動車椅子を使用している。私の若い時代は、サイパンは過酷な職場だったので、今の若者がグアム・サイパンへ遊びに行く気持が…理解できない！。他の人からは、「時代が違うよ」と言われた。戦後…広島から大阪に帰る際、客車は人がいっぱいなので、山積みの石炭の上に乗ったが、トンネルが来る度、体を低くしていた。大阪に着いた時は、全身真っ黒だった。〈耳がかなり聞こえにくいようだったが、終始笑顔で、体験談を話して下さった〉。(74歳男性、一人暮らし、担当：辻野、矢野、藤本)

・2人とも、元気でやっています。ただ、主人は仕事があったり…なかったりで、定職を探しているところです。(39歳、2人暮らし、担当：品川、前田、矢萩)

9月2日

(記録なし)

9月9日

[復興住宅]

・ポストを壊され、困っている(注：公営内で、ポスト破壊の被害が、相次いでいる)。二度直してもらったが、三度目からは…自己負担との事(13,000円)。また壊されるので、直していない。(70歳、2人暮らし、担当：辻野、永田)

・前が幹線道路で、車の往来が多く、空気が悪いです。親戚との行き来や近所との付き合いは、余りないです…。(70代女性、一人暮らし、担当：阿部、矢萩)

・震災時、夫は電車に乗っていた。「車両が傾き…ガラスが割れたので、何か!と思ったが、回りの家が潰れてるのを見て、初めて地震だと分かった」と言っていました。その夫も…今年2月から1ヶ月の間に、3回も手術をし、3回目は傷口もふさがらないまま、口も利けず、亡くなった。ここへは、今年の5月に入居しました。丁度今、折紙をしていたところなのよ。〈ご主人を亡くし、まだまだお一人が寂しいという様子が伝わってきました。まだお友達もおられないようなので、お寂しい事と思います〉。(70歳女性、一人暮らし、担当：鹿島、塩原)

・最後まで、公営が当たらなかった私ともう一人の方が、一緒にここへ入れ…よかった。両隣の方とも、仲良くしています。目が少し悪く、眼科へ通院中です。夫は被災後、知人の老人ホームにいたが、夫婦一緒に住めるよう、市住を申し込んだ。しかし仮設の世帯主の関係で、市から「別に申し込むよう」言われた。夫は空き家当選で、違う棟へ入居したが、今は…入院しています。(70代女性、一人暮らし、担当：阿部、矢萩)

・今日、退院してきたばかりで休んでいました。いつもだったら、お話を伺うのですが…。ごめんなさいね。〈1~2週間おいて、再度訪問して下さい〉。(70代女性、一人暮らし、担当：島田、竹森)

・毎月1回の清掃に、人がなかなか集まらない。兄は震災後、病院で亡くなったので、今でも…その近くへは、行く気になれない。親が死んだのとは、また別の寂しさがある…。月~金曜は、事務の仕事に行ってます。長く勤めているので、もう古狸ですわ(笑)。1軒・1軒回るのも大変でしょう。〈と、私達の事を気遣って下さった〉。(70代女性、一人暮らし、担当：阿部、矢萩)

・田舎で産婆をしていたが、入院出産する人が増えた為、神戸に来て家政婦をしていた。震災の時…埋まっていたが、私だけ独り者なので、なかなか発見されなかった。家主さんが2昼夜経って気付いたが…『死んでる』と思われ、掘り出されたのは、更に1日後だった。大腿骨粉碎で、足が弱くなった。今夏は買い物に行かなくなり…家に来る福祉サービスの方に頼んだが、その後上司だという方から、「買い物は仕事範囲ではない」と言われた。困り事は、LSAのお姉さんに頼んでいます。でも身の上話を聞いてもらうには、男の人の方がさっぱりしているので、良い。〈楽しくお話を、伺いました〉。(84歳女性、一人暮らし、担当：辻野、永田)

・介護保険を8,000(円/月)払っているが、高いなー。貧乏人は、介護せんという事かな。駐車場に、たくさん未契約を示す鉄柱が立っている。この空きスペースの一部を、来客用駐車場として、活用できないだろうか。市役所は、「そんな事をする人手がない」と言うが、自治会管理にするなど、いろいろな方法を考えてもらえないだろうか。〈「子供や孫が来ても、ゆっくり出来ない」という声が、かなりあるようです〉。(60代、2人暮らし、担当：島田、竹森)

・妻の入院予定が、10月に変更になった。入院したら(1週間の予定)、手伝いに来て欲しい…。(70代、2人暮らし、担当：小河、赤西)

9月16日

[復興住宅]

・被災時、ガレキの下敷きになった。救助隊が引き上げそうになった時、誰かが「この下におばあちゃんが居るぞ!」と言ってくれ、夜7時頃ようやく救出された。それ以来丈夫だった体のあちこちが、痛んで困っている。また玄関ドアが風圧によって、外へ押し開く事が出来ず、困ってます。〈「具合が悪い」と言われていたが、話をしているうち…段々顔色がよくなられ、玄関の外に出て、手押し車の上に座られた。女子学生2人と私、それぞれドアを押したが、重くてやっと開く程だった…。ドアのダンパーアジャストが外してあり、危険であろうと思ったが、住宅管理部等と相談した結果、この状況になったとの事〉。(84歳女性、一人暮らし、担当：吉村、相馬、白岩)

・これまで、水害・戦争・地震を経験してきたが、人間は元々、裸一貫…一人なので、びっくりしなかった。一人で生きてきたので、人を頼ったり愚痴を言ったりするのは、好みません。人付き合いは余りないですが、歯医者などへ毎日通っており、忙しいです。〈被災の時、ご自分がボランティアをされてたの事。80歳の年代の誇り高い人格を感じました〉。(80歳女性、一人暮らし、担当：塩原、中谷、矢野)

・妻は震災前からずっと常勤で働いていたが、公営へ入居の際、1万円程所得オーバーになるというので、パートに変わった。1万円ぐらい、いいと思うのに…。ここは住み心地が良い。毎朝玄関を開けると、摩耶・六甲の山並みが見えるのが気に入っている。(60代、2人暮らし、担当：上坂、佐藤、矢萩)

・仮設住宅に住んでいる時、脚の血が固まる病気になり、右足を大腿部から切断、3級の障害者となった。週3回リハビリに通っているが、バスは混んでいるので、タクシーを使っています。バスの便数を増やして欲しい。タクシー券も…3級で必要な人が、使えるようになればいいのに。被災した時、夫がタンスの下敷きになったので、必死でそれを取り除いた。〈震災以降の一片すら知らず、今起きている災害についても知らない、自分が…すごく情けなかった。大それた事は言えないが、「共に生きている」という事を、感じていきたいです〉。〈年配の方と接する機会が余りなく、うまく言葉を発する事が出来なかった。また自分自身多くの分野について、精通している事が望ましいと思った。でも、とても有意義な時間を過ごせました〉。(76歳、2人暮らし、担当：色摩、伊藤、堀内)

・一緒に暮らしていた母が、脳梗塞で入院したので…心配です。妹も、母の事で心を痛めているが、これからが大変だと思う。埼玉県の遠方からのボランティアは、初めてです。ありがとう。(40代、2人暮らし、担当：渡辺、小堤、小波本)

・地震のあの時、まだ床の中だった。真っ暗な中で、懐中電灯を探したが、どうしても見つからず…困ってしまった。〈私も…卓上鏡台で頭をガン！とやられた為、愛用しているペンライトを探したものの、なかなか見つからなかった。明るくなってきて、ようやく…身近にある事が分かった。→懐中電灯等の必需品や大切な物は、室内のわかりやすいコーナーへ、固定しておくべき事を痛感する〉。(80代女性、一人暮らし、担当：吉村、相馬、白岩)

・震災後…母(80歳)に、避難所(テントで1年過ごした)や仮設での生活は大変だと思い、入院してもらったが、公営には一緒に入居した。でも高血圧や足が不自由な為、再入院した…。今年春の定年退職から、私も体調が悪くなり、今日も点滴を打ってきました。〈年齢や体調の悪さを何回も言われ、生活への張りをなくされているようで、気になりました〉。(60代男性、一人暮らし、担当：佐藤、上坂、矢萩)

・震災以降、色々な人(ボランティアも含めて)に、苦情や要望を言ってきたが、今はもう“言い尽くした”という感じです。今は元気にしていますが、又何時…人のお世話になるかわかりませんね。こんな雨の中訪ねて来てくれ、有り難う。(70代、?人暮らし、担当：井本、岡、赤西)

・生まれてから震災の時まで、木造の家に住んできたので、出来れば…また住みたい。2ヶ月前に仕事がなくなり、無職です。今は、妻のパートで、生活を支えている。仕事がない事が、一番の悩みです。〈建築の仕事をされていたとの事で、地震で壊れた家の欠陥を、いろいろ教えて下さった〉。(49歳、2人暮らし、担当：玉丸、馬場、藤村)

・震災後、避難所や仮設等…全部で、5回転居した。バブル崩壊後の負債を抱え、震災に遭いました。今年3月頃から、ストレスで髪が抜け落ちてしまう程…自殺を考えた。以前は30万ぐらいの収入があったのに、今は12万程だ。〈「前向き」という言葉を、何度も口にしておられた〉。(72歳、2人暮らし、担当：塩原、中谷、矢野)

・ヘルパーさんが、週2回来てくれ、病院の先生が月2回、往診してくれます。糖尿病の為、10種類程の病気になっており、最近足が悪く…車椅子と歩行器を使って外出しています。仮設住宅の時は、仲の良い人が周囲に多かったが、現在は少ないので、寂しい。息子や孫が、来てくれるのが…楽しみです。また、来て下さい。〈自分自身に対し、理想を高く持っておられ、自分で何でもされるような方でした〉。(67歳女性、一人暮らし、担当：塚原、鈴木、浦口)

・LSAが週2回来る。神経・内科・耳が聞こえにくいので、3ヶ所通院している。薬を飲んでいいるうちは…ええけど、切れると頭が痛くなる。どうしたらいいか、わからへん。〈毎週でなくて良いですので、お話伺いに行ってください…心配です〉。(73歳男性、一人暮らし、担当：小池、高松、田植)

・震災の時、コミュニケーションのあった大学生に助けってもらった。今でも…大きな音がすると、怖い…。洋裁の仕事で息子を育てたが、今も現役です。昔、息子に教えたように、孫に…自立の心・他人に迷惑をかけない・自分の事に責任を持つ大切さを、教えている。学生さん達も、自立して下さいね。今日は遠方から来られて、本当に有り難う。〈住所を教えてください、後日お手紙を書こうと思います〉。(68歳女性、一人暮らし、担当：小波本、渡辺、小堤)

9月23日

[復興住宅]

・電動自転車で病院へ行き、血圧を測ったり、注射を打ってもらう。帰りがけに、ちょっと買い物をしてくる。毎日同じ生活の繰り返しで、特に楽しみはないです。集会場へは、男一人だと行きづらい。ここは、物音がしないので…隣で人が死んでいても、分からないだろう。私は、子供達が近所にいるので、安心してますが…。〈通院中とはいえ、お年を感じさせないお元気がありました〉。(79歳男性、一人暮らし、担当：矢萩、辻野)

・バイクや自転車の盗難が多く、夜になると暴走族が走り回る。一人暮らしの老人の場合、「あの人…見かけんなー」と言っていたら、亡くなられていた事もあります。深夜の発作で気付かれず、朝になって救急車を呼び…手遅れだった事も多い。市営は何かあった時…中に入れるが、県営はブザーが鳴っても、入る事が出来ない。この差は、どうしてなのか？ (?歳、4人暮らし、担当：見崎、藤村、猪上)

・〈電動車椅子を使用されてる方から、“蛍光灯の傘の掃除”を依頼されていたので、伺う〉。窓を開けておくと、国道の排気ガスがよく入ってくるので、汚れ方が違う…。今日は、本当にありがとう。年齢や職業、地域も違う人達、また遠方から来られる方達が、一緒にボランティアに参加できる事は、素晴らしいと思います。(62歳、2人暮らし、担当：中谷、赤西)

・言いたい事が…山ほどあるが、来週は仕事で家にいない。妻に支援シートを預けておきます。(?歳、2人暮らし、担当：猪上、見崎、藤村)

・神戸大学の学生さんの、ボランティア喫茶(毎週土曜)へ行きますが、楽しいですよ。〈最初は不審感を持たれていたが、毎週土曜日訪問をしており…今日で266回目という事には、驚かれてました。介護保険のサギに遭わないよう、手口などをお伝えした。特に玄関では、現金を支払わないようにと…。〉(?歳、2人暮らし、担当：白岩、矢野)

9月30日

[復興住宅]

・勾配のある歩道や駐車場で、若い子がローラーボードを夜中にしており、うるさい…それに危険だ。階段などに座り、夜遅くまで話したり、周辺に公衆トイレがないので、手近で済ませている事も含め、迷惑している。また自転車を駐輪場に置いておくと、部品を盗まれたり、壊されるので、部屋前まで持ってくる人が多いです。派出所が近くに、もうすぐ出来るらしい。そうなれば、少しは治安が良くなるだろうか…。(65歳、3人暮らし、担当：赤西、塩原)

・震災時、自営業をしていたが、店が倒壊して以来、再建していない。店の再開には億単位の金がかかります。重労働の上…先の事を考えると、なかなか決断できずにいる。跡地を処分したいと思うが、地価の下落や場所が悪い等の理由で、買い手もない…。その為、固定資産税を毎年払わなければならない。今は近くの会社で、サラリーマンをしています。行政はもう私達の事を、何も心配してくれてない…。(50代、3人暮らし、担当：佐々木、川口、鹿島)

・自宅再建のめどが立たず、復興住宅へ入居しました。建設関係の仕事をしていましたが、不況で仕事なくなり、今は国民年金で生活しています。大変です…。〈第一声に「ボランティアに世話になるほど、落ちぶれてない」と、笑顔で言われるほど、明るい方でした。「また遊びに、お出で」と、言って下さった〉。(63歳男性、一人暮らし、担当：辻野、土谷)

・夫は造園の仕事をしているが、最近…余り注文が来ない(現実に3ヶ月程ない)。子供も

就職を探しているが、神戸地区は不況で余りない…。買い物へは、歩いて行きます。時間はかかるが、気分転換になる。(60代、?人暮らし、担当：鹿島、佐々木、川口)

・息子は震災がきっかけで、色々な人と出会い、経験して、強くなった。でも、難しい年頃なので、私からせんさくされるのを、嫌っています。不安はありますが、元気で…悪い事をしないで育ってくれればと、思っています。(40代、3人暮らし、担当：中谷、矢萩)

10月7日

[復興住宅]

・今、映画館で掃除のアルバイトをしている。週に3~4日(3・4時間程)なので、月収は6万程です。職安で仕事を探してみても、年齢制限の為、見つからない…。蓄えを食いつぶし、貯金・保険・年金もない。区役所へ相談に行ったが、「働けなくなったら、来て下さい」と言われた。以前は塗装の職人であったが、その技術を生かす事も出来ない…。〈60~69歳までの、健康で働きたい人達へのケアに、不十分さを感じる←後日、シルバー職業案内所の地図をお渡しした〉。(65歳男性、一人暮らし、担当：中谷、橘)

・最近、中年の不審な男性が、子供に声をかけて、一緒にどこかに行こうと誘うので、心配です。下校中の小学生の女の子が狙われやすく、近所の人や老人会に声をかけ、見守ってもらうようにしている。酒を飲み…中庭で、通りすがりの子供に絡む、変な男性もいる。(30代、?人暮らし、担当：赤西、小野)

・夫の会社が大阪なので、通勤が便利になるようにと、ここへ入居した。以前は西神の仮設だったので、大変でした…。震災時の記憶を、今も忘れられません。7階に住んでいるので、大型車が通る度に揺れ、嫌な記憶が蘇ってくる。(30代、3人暮らし、担当：堀内、佐々木)

・夫の勤務先は坂の多い所なので、どうしても車が必要です。でも駐車場料金が毎月21,000円は、高過ぎると思う。文句を言いたい、どこに言えばいいのか…。〈「市長への手紙」について説明し、お渡しした〉。(35歳、4人暮らし、担当：田端、矢萩)

・ここは、陸の孤島ですね…。仮設にいた時は、海の孤島であったが、人が暮らしているという実感があった。近隣の主婦達がグループを作って、訪ねてきてくれました。今もその方達と、お付き合いがあります。生まれ変わったら結婚しようという約束をしたけど、何人もの人と約束したので、生まれ変わりが間に合わないなー(笑)。〈とてもユーモアのある方でした〉。(69歳男性、一人暮らし、担当：佐々木、堀内)

・前回訪問…夫を今年亡くし、寂しい。

家に、閉じこもって(テレビを見たり、窓から外を見る)います。夜になると、特に寂しさを感じる…。疲れやすく、腰・膝も冷えるので、近くの温泉を利用しています。〈現在は友達が余りなく、人との接触が少ない生活をされているようです〉。(70歳女性、一人暮らし、担当：白岩、間嶋)

・前回訪問…エレベーターを怖がり、入居後歩けなくなって、寝たきりになる。

入院予定(妻)が、自宅療養で済む事になり、妻は喜んでます。30年前に、九州から神戸に来たが、何も楽しい事はなかった。唯一、仮設から復興住宅へ入居するのだけが、楽しみだった(10回目の応募で、ようやく当選)。ここは1人用の住宅なので、狭いです…。今日は若い人達が、また来てくれて、嬉しい。(75歳、2人暮らし、担当：長船、林、鹿島)

・前回訪問…杖か車椅子を使用している。障害者用の車を運転して出掛けたり、充実した日を

送っています。

市から派遣されるボランティアの方など、色々な人が来てくれるが、ドアを閉めて一人になってしまうと…寂しい。こうして話を聞きに来てくれると、嬉しいですね。収入は障害年金だけなので、震災特例が切れた後の家賃や、正規料金となる介護保険料の事が不安です。〈今年、胡蝶蘭が咲いた事を、とても喜ばれていた〉。(66歳女性、一人暮らし、担当：田端、矢萩)

- ・前回訪問…『出来るだけ…人に頼りたくない』が信条で、ビートルズが大好きです。

仮設時代、お世話になったボランティアの方から、今でも手紙を頂き、感謝しています。最近アメリカにいる孫娘から、手紙が来たので、嬉しい…。〈今日は、絵画の話で盛り上がり、書棚から画集を取り出してきて、楽しそうに話されていました〉。(91歳女性、一人暮らし、担当：赤西、小野)

10月14日

[復興住宅]

- ・前回訪問…周辺に、訪ねてくれる人が少ないので、寂しい。

どんな人でも来てくれたら、嬉しい。ここに住めて有り難いが、やはり木造長屋が恋しいですね。神戸に住んで80年…生き様を自費出版したい。また必ず来て下さいね。〈包丁研ぎや、こたつのナット締めを行った〉。(81歳女性、一人暮らし、担当：白岩、矢野)

- ・前回訪問…高血圧(妻)で、体調が悪い時は、寝込んでしまう。

2人とも、病院に通っている。もし私に何かあったら、夫は自分一人で何も出来ない…。病院への送り迎えや、買い物時の荷物運び等、簡単な手伝いをしてくれる人がいないだろうか？
〈送迎サービスのチラシをお渡しした〉。(74歳、2人暮らし、担当：小河、藤村)

- ・前回訪問…緊急ブザーは頼りにならない。

週ボラさんに『ケアライン119』の説明をしてもらったが、取り付けがややこしそう。玄関前に消防署へつながる非常電話があるので、いざというときはそれを使うつもりです。LSAも週1回見せてくれるので…。(70代男性、一人暮らし、担当：千葉、矢萩)

- ・前回訪問…映画や浪曲が好き。目が少し悪いだけで、他は大丈夫です。

昔、映画の宣伝用の絵を、描いていた事がある。この映画誌は、毎日新聞の刊行で、今では入手不可の貴重品です。もう少し、ゆっくりしていきなさい…。〈話題の豊富な方でしたが、夕方となり、短い時間での訪問が残念でした〉。(86歳男性、一人暮らし、担当：矢野、白岩)

- ・前回訪問…膝が悪いが、杖を使わないようにしています。

毎朝、周辺を散歩しながら、ゴミ拾いをしている。人の為にとというよりは、自分にとって気持ちがいいので、続けています。料理は震災後から、始めた。テレビを見たり、自分で色々工夫している。入れ歯が合わないので、細かくして、飲み込んでいるが、味はわからんなー。震災以後、お金がないけど、それなりの暮らしをすればいい。ちっとも苦にならんわ。ただ目が悪くなり、本が読めないのが辛い。今日は、来てくれて嬉しい。(81歳男性、一人暮らし、担当：千葉、矢萩)

- ・前回訪問…介護保険開始前はヘルパーが、もう少し柔軟だった…残念だ。

みんな閉めきっているから、寂しい。ここは、80代の人ばかりやろ。誰も出てこおへんわ。仮設の方が良かったー。〈と、しみじみ言っておられ、その表情が本当に懐かしそうでした〉。

(86歳女性、一人暮らし、担当：赤西、橘)

・前回訪問・通院の際、タクシーを使うので、お金がかかる←要介護2の為、交通費が助成されない。

通院している病院が少々遠いが、長い付き合いがあるので、簡単には変えられない…。仮設と違って、ここは隔離されているみたいです。人と会う事も、余りないので…。年と共に、記憶力が衰えてきました。(75歳女性、一人暮らし、担当：田植、石黒)

・前回訪問・脳梗塞で倒れ、最近…入院した。花の植え替えを頼みたい←作業を行った。

体調は、前より良くなりました。ただ、和式のトイレで、立ち上がれなくなったり、目が見えにくいのは、年のせいかな。仮設の時は、近所の人と遊びに行ったりもしたけど、ここに来てからは、そういう事もないです…。介護保険の支払いが始まり、年金だけで生活していけるか…心配です。(70歳女性、一人暮らし、担当：石黒、田植)

・前回訪問・電動車椅子を使用している。戦中・戦後のお話をしていただいた。

仮設の頃より、随分足が悪くなりました。若い人がうらやましい。足が悪いと、何も出来ない…。〈以前より、お元気そうでした。戦争の話を伺う〉。(79歳男性、一人暮らし、担当：石黒、田植)

・前回訪問・今日は、昔の話を出来て、良かった。

脳梗塞で倒れて以来、足を引きずるようになった。何も用事のない日は、玄関の前で座って、植木を見ている。〈足が悪いので、一人で外に行く時は、大変そうでした〉。(75歳、一人暮らし、担当：小河、藤村)

・前回訪問・今年、いところが亡くなり、一人になって寂しい。

40年来親しくしてきた従兄は、リウマチと震災が重なり、命を縮めた。今はもう、ポカーンと穴が開いて、何も手がかからない。震災から仮設へと、本当に大変でした。今やっと、ボランティアさんと、笑顔で話が出来ようになりました。(75歳女性、一人暮らし、担当：長船、鹿島)

・前回訪問・足が悪い。通院の為、老人無料パスを、続けて欲しい。

最近、足がつるので、診てもらおうと…手術しないと無理と言われた。もう年なので…あきらめました。今年、延命治療を受けていた従兄が、亡くなった。私は子供がいないので、電話の所に「延命治療お断り」の紙を貼っています。友人は、「子供が、面倒みてくれなくても、電話などで一声かけてくれるだけでも…嬉しい」と言っていた。皆さん方も、ご両親を大切になさって下さいね。(78歳女性、一人暮らし、担当：千葉、矢萩)

・前回訪問・2年半前から寝たきり。息子は最近…介護疲れで、体調を崩しています。

今の世の中は地獄なのか、極楽なのかわからない。景気はいつになったら、良くなるんやろうか？ 〈息子さんの事を、心配されていた〉。(91歳、2人暮らし、担当：赤西、橘)

・前回訪問・足さえ良くなれば、あちこち行きたい所があるんだが…。

一通り、何でも自分でしてます。〈立ち方もしっかきされておられ、何より…全てご自分の歯だという事に、驚きました。車椅子があれば、外にお連れしたかった〉。(90歳女性、一人暮らし、担当：矢野、白岩)

・前回訪問・脳梗塞で倒れ、最近…退院した。花の植え替えを頼みたい←作業を行った。

体調は、前より良くなりました。ただ、和式のトイレで、立ち上がれなくなったり、目が見えにくいのは、年のせいかな。仮設の時は、近所の人と遊びに行ったりもしたけど、ここに

来てからは、そういう事もないです…。介護保険の支払いが始まり、年金だけで生活していけるか…心配です。(70歳女性、一人暮らし、担当：石黒、田植)

・前回訪問・脳下垂体の手術をし、まだ体が疲れている。先の事を考えると、不安です。

夫は、風邪をひいて体調が悪く、お話が出来ません。手術後については、小康状態です。私も、体調が思わしくありません。夫が入院中、何かと不便なので、私が付き添いをしましたが、2人とも病気だと…大変です。(68歳、2人暮らし、担当：千葉、矢萩)

・前回訪問・車椅子の生活。銀行の営業譲渡後、口座がどうなるか心配です←銀行側が手続きする旨、お伝えした。

外出を余りされてないとの事なので、車椅子での外出をお勧めした。13階建ての公営に昇るなど、灘の浜を時間かけて1周しました。(76歳女性、一人暮らし、担当：白岩、鹿島)

10月21日

[復興住宅]

・前回訪問・足が悪く、目が不自由。近所の人と交流がない。

孤独な生活に最初は不安だったが、今は慣れました。デイサービスへも参加しており、賑やかで楽しい。体調がよくなり、病院へも歩いて行っています。仮設にいた時の写真を見ていると、懐かしい。楽しかった頃を、思い出します。(70代女性、一人暮らし、担当：古賀、竹内、辻野)

・前回訪問・3年前右足を骨折。リハビリを兼ね、知人の犬を散歩させています。

体調は余り良くない。今はデイサービスにも、通ってません。定期的に、LSAが来てくれるので…助かっています。エレベーターを、いたずらする人がいるので、怖い。(70歳女性、一人暮らし、担当：池田、福光、赤西)

・前回訪問・血圧が高く、心臓が悪い。家族はいない。

私は人と付き合うのが下手なので、一人で住む事は…苦になりません。外反母趾が痛み、立っているのも大変。風呂掃除が出来ないので、近くの銭湯に行きます。人の世話になるのは気がひける為、ヘルパーは頼んでません。LSAが、週1回来ます。〈買い物用の車を押されていたが、歩行がかなり大変そうでした〉。(86歳女性、一人暮らし、担当：安達、西山、藤村)

・前回訪問・足と、耳が少々不自由。以前、調理の仕事をしていたので、食事は自分で作ります。

足の指が曲がったままなので、今度手術をする事になった。心臓・肝臓も悪く、高血圧の為、週1回は通院しています。身内は皆、戦死や病死した。ここでは、特別に仲の良い人はいない。今日は皆さんが来るというので、外出しないで待っていました。またいらして下さい。〈介護支援センターから贈られた誕生祝いの色紙を大事に飾っておられた。また私達の名前を忘れないよう、手帳に記名されました〉。(70歳男性、一人暮らし、担当：竹内、下岡、矢萩)

・前回訪問・震災の時、腰を強打し障害5級になる。最近の若い者は、携帯電話ばかりかけて、人間が墮落するで！

蛍光灯の取り替えや、風呂掃除が出来ない。〈私達一人一人の名前をメモされ、「何か要望があったら電話する」と言われました。次回、またお伺いする事を、楽しみにされているようでした〉。(70歳、一人暮らし、担当：竹森、奥田、田坂)

・前回訪問…2年前、心筋梗塞と脳梗塞で倒れたが、大事に至らず済んだ。

最近パソコンを購入したが、結局開ける事もない。〈とっても話題が豊富な方で、お話しする事が、とても楽しかったです〉。(52歳女性、一人暮らし、担当：竹森、田坂、奥田)

・あと10日程で、入院中の父親(痴呆症・脳梗塞・心不全・不整脈等)が帰ってくる。徘徊癖があって、以前ここから芦屋まで歩いて行った事があるし…。今後の介護を考えると、気が重い。『介護保険』の申請がまだなので、手続きや内容を教えて欲しい。〈介護保険の資料を渡し、説明した〉。早速月曜日に、行ってくるわ。今日は色々グチを聞いてもらえ、気分がすっとした。ほんとうに、ありがとう。(50代女性、一人暮らし、担当：池田、福光、赤西)

・前回訪問…4車線の道路は、私達高齢者だと…渡り切る前に『赤』になってしまう。

眼鏡をかけないで針に糸を通せるし、夜11時頃まで裁縫をしています。「買い物に便利だから…」と、弟と妹が、手押し車を買ってくれた。荷物がある時など、とても便利です。足も達者だし、100まで生きるんや！(86歳女性、一人暮らし、担当：竹内、下岡、矢萩)

・前回訪問…仮設内で倒れ、左半身不随となった。北区までリハビリに通っている。

膝の皿を骨折したが、マヒした足なので…。それ以外は、特に変わりはありません。リハビリも、体が硬くならないようにしているだけで、良くなったという感じはない…。(65歳男性、一人暮らし、担当：竹内、下岡、矢萩)

・前回訪問…酒を1日1升飲むが、肝臓や腎臓は、どこも異常がない。

月2回の掃除は行ってるけど、集会場の行事には行かない。男一人で住んでいて、近所付き合いがなかったら、結局は酒飲むだけや…。古本屋を回って、時代物の小説を探すのが好き。俺が死んだら、この本(歴史小説が100冊位ある)を、図書館に寄付するつもりや。こうやって、話を聞いてくれて、ほんまに嬉しい。ふだん話す人がおらんからなー。(66歳男性、一人暮らし、担当：池田、福光、赤西)

・前回訪問…妻は乳ガンで、東京(実家)の病院へ入院しており、3ヶ月程看病に行ってきた。

抗ガン剤の副作用(味覚の劣化・聴覚障害)がきついで、最新治療をしてくれる埼玉の病院へ転院した。送迎の寝台車や治療に、保険が適用されないの、かなり金がかかる。でも妻には、出来るだけの事をしてあげたい。息子も3年前にガンで亡くしているので、なお…そう思う。月に1~2回(10日程)、妻の介護に行く。私自身は心臓と足が悪いが、まだ大丈夫。こうやって、話を聞きに来てくれ、ありがたい。〈やる事がたくさんあって、生活に張りのある感じでした〉。(79歳男性、一人暮らし、担当：古賀、竹内、辻野)

・前回訪問…六甲の米屋でバイトをしており、30kgの米を持って、階段を駆け上がれる。

米屋に昼から仕事に行って、6年になる。若い頃から体を鍛えているので、元気です。満州へ兵隊として渡ったが、すぐ終戦となった。シベリアへ抑留され…3年間黒パンを焼いていた。その間、たくさんの方が、亡くなった。〈思い起こして…涙されていた〉。(76歳男性、一人暮らし、担当：田植、沼、橋田)

・前回訪問…「もう少しゆっくりせい」と言われたが、夕方で…短い時間の訪問となる。

波瀾万丈の86年の人生を驚きながら、聞かせて頂きました。帰り際に、実演販売で使っていたという、レモン絞り器を頂きました。(86歳男性、一人暮らし、担当：沼、橋田、田植)

・前回訪問…簡単な手伝いを頼めるヘルパーを探している。←コープのヘルパー資料を後日渡す予定。

すでにコープの会員になっています。夫と一緒に外出では、ウィンドウショッピングもゆっ

くり出来ないので、週ボラさんが荷物の運搬や買い物に付き合ってくれるかなーと思って…。ガーデニングを、こちらに来て始めたのですが、今では夫の方が夢中です。こんなに懸命にすると、新しい発見でした。(74歳、2人暮らし、担当：田植、橋田、沼)

10月28日

[復興住宅]

・前回訪問…目が不自由。ヘルパーさんが来ない日でも、手探りで家事をしています。

ここでの生活にも慣れ、友達とカラオケやお茶を飲みに行ったりと、毎日楽しい日々を送っています。次男や孫もよく遊びに来てくれます。長男が嫁とケンカしたとかで、1週間程一緒にいるが、明日は帰るみたい。いつまでも、親に頼ってばかりで…(笑)。(67歳女性、一人暮らし、担当：竹内、小河、畑田)

・前回訪問…ヘルニアで下半身が痺れている。

これから先の季節、寒さで…痛みが増しそうだ。最近、この階の班長となったので、声かけをしているが、なかなかコミュニケーションが取りにくい。(？歳男性、一人暮らし、担当：畑田、小河、竹内)

・前回訪問…先日退院した。足の痛みで踏ん張りが効かず、家の中でよく転ぶ。

入院での治療は、ベッドで足を上げて寝る事です。退院して、立ったり座ったりしていると、みるみる内に腫れてくる。便秘なので、トイレにずっと座っているが、そうしてるだけで…余計腫れがひどくなる。便秘がひどいので、食事は余り食べません。一人で生きてきたが、病気で苦しい…。〈足がパンパンに腫れ、赤くなっていました。ゴミ捨てと、お菓子やすしの買い出しを行う。その後、私達に『サンタルチア』や『きらきら星』等を、原語で歌って下さった〉。(65歳女性、一人暮らし、担当：藤井、細貝、塩原)

・前回訪問…入居して2ヶ月になるが、眠れない。人気がなくて怖い。

今は、特に問題はないが、悩みが一つある。和歌山に所有している家が、ほったらかしで、草ぼうぼうになっている。草刈りをしてくれる人が、いないだろうか？(70歳、2人暮らし、担当：田端、矢野、浦口)

・前回訪問…家が焼けてしまい、何も取り出す事が出来なかった。

昭和52年に、神戸市へ転入するまでは、土木の仕事で各地を移動していた。仮設住宅では、隣近所と楽しく過ごしました。今…、神戸市では、ほとんど仕事がない。〈冷蔵庫以外は、他の家具は要らないと言われ、室内はキレイサッパリとされていた。新聞を2紙取っており、読みあさってるのお話。色々な事を、とてもよくご存知でした〉。(57歳男性、一人暮らし、担当：村松、北村、白岩)

・通りがかりの方が、「ワシはコロッと死にたいから、酒を飲んでいる」と言われていた。握手をすると、「若いエネルギーを補給すんや」と…。(？歳男性、？人暮らし、担当：小坂、中谷、宮本)

・大工をしていたが、稼いだ分だけ、よう使ったわ(笑)。震災で火災に遭い、何も残らなかった。食事は、ほとんどパック食ですわ。仕事中のケガから、足の痛みがあるが、自転車であちこちへ、よく行く。ゴミ出しの清掃を引き受けていますよ。〈声が低く、よく聞き取れなかったが、お元気な方でした〉。(71歳男性、一人暮らし、担当：白岩、村松、北村)

・前回訪問…近所付き合いがなく、寂しい。ほこりがすごく、掃除をしても一緒。

阪神高速のそばで、騒音がひどい為、比較的静かな6畳の部屋のみで…生活している。仕事を探しているけど、相変わらずない。足が冷えて、頻尿。血圧が高い。身体を弱くしたのは、酒の飲み過ぎや…。出来たら3ヶ月に1回ぐらい、来てくれんかな。楽しみはないし、息しとるだけ。ここへボランティアが来てくれたら、みんな喜ぶと思う。(60歳男性、一人暮らし、担当：鹿島、亀井、長船)

・夫の看病は大変だったが、今から思うと「あの時に、ああすれば良かった…」など、後悔の連続です。亡くなった後、しばらく立ち直れずにいたが、最近ようやく落ち着いてきました。夫が機械に強かったので、今ではビデオテープのダビング・ビデオカメラ・ワープロ等、私も色々やっています。新しい事に常に挑戦し、出来るだけ自分の力で生きていかないと…。〈楽しい話や苦しい話のほとんどがご主人の事で、話の節々から亡き人への、思いの強さを感じられた。また、「若い人達に、多くの事を教えたい」と、説得力のある話をして下さった〉。(75歳女性、一人暮らし、担当：松浦、小林、辻野)

・前回訪問…介護保険の導入で、利用していたサービス費用が、倍かかるようになった。仕事探しも、母の介護の事を考えると、不安があります。母(87歳)は、目も耳も不自由になり、生きていて…何も面白い事はないと思う。でも、『どんな状態でも母と一緒にいられる事は、嬉しい』。生きてくれている事に、感謝しています。週2回のデイサービスと、週1回の訪問看護を受けてます。最近…頑張らないかと思うが、根気がなくなっている。今でも、私達の事を忘れずに訪問してくれ、感謝しています。〈介護生活の状態を、ご兄弟にわかってもらえず、ストレスの発散が出来ないようです〉。(52歳、2人暮らし、担当：石田、藤井、矢萩)

・前回訪問…10月28日訪問時、留守と思ったが、耳が非常に悪い為…反応がなかった事が判明。

テレビを大音量でつけられており、何度呼び掛けても返事はなく、5分後にやっと私に気付かれた。補聴器を私に見せ、「さっぱり聞こえん！」と一言。健康状態等お聞きしたところ、いずれも手を振り、「全然ダメ！」と繰り返すだけでした。3年前、仮設でお会いした時は、まだ『会話』が出来たのに…。(86歳女性、一人暮らし、担当：赤西)

[一般公営の空き家募集入居者]

・前回訪問…便利な所だが、住民のマナーが悪い。各棟エレベーター前に、燃えないゴミ用のコンテナが置いてあるが、そこに生ゴミを入れる人がいるので、ゴキブリが多くて困っている。保健所や公団へ相談に行ったが、貼り紙をしてくれただけで、事態は変わりがなかった。隣・近所の人達と、この事で気まづくなった。(72歳女性、一人暮らし、担当：宮本、小坂、中谷)

[個人宅]

・前回訪問…引っ越し後、体調が悪くなり、住環境も整っていないので…入院させた。←その後病院へ訪問したが、先日退院したとの事。体調を考え、自宅訪問をしなかった。

母(87歳)は、今年5月に亡くなりました。週ボラさんが仮設の頃から、代わる代わる来てくれ…色々な人と知り合う事が出来、本人にとって幸せだったと思います。ありがとうございました。(？歳男性、一人暮らし、担当：亀井、長船、鹿島)

11月4日

[復興住宅]

・妻は、仮設住宅入居2ヶ月後に脳出血で倒れ、一時期は自分の名前も忘れ、言葉も使えない状態だった。『要介護4』の認定を受け、訪問介護・訪問リハビリ・デイサービス等を利用しています。今一番心配なのは、自分が突然倒れた時の事。ケアラインやベルがあれば、教えて欲しい。←次回訪問時、資料を渡す予定。介護問題では、介護者の心安らぐ場所や時間を作るなど、疲れている“介護者”にも、目を向けて欲しい。こうやって話を聞いてもらえるのは、本当に有り難い。〈リハビリを続け歌えるまでになったとの事で、『りんごの唄』・『佐渡おけさ』を一緒に歌いました〉。(68歳、2人暮らし、担当：藤葉、赤西)

・週に1回、息子(42歳)が孫を連れ、来てくれます。家事は一通りやっているが、食事はコープの出来合いの物で済ましてます。趣味のサークルに入って、楽しく過ごしているが、夜遅くの誘いの電話は…かなわんわ。(74歳男性、一人暮らし、担当：竹内、矢萩)

・足や目が悪いので、市街地への通院に娘が車で送ってくれ、帰りは夫が付き添い、地下鉄を利用して帰ります。夫は掃除・洗濯を、私は料理をします。夫は血圧が高く、心臓も良くないが、病院嫌い。悪い結果が出るのが、怖いのでしょうか。デイサービスで、色んな人と話するのが楽しみです。また夫が育てた草花を眺め、楽しんでいます。でも一人で外出できないのが、辛いです。車椅子用のスロープは、傾斜があるので…怖い。(73歳、2人暮らし、担当：竹内、亀井、矢萩)

・酸素ボンベを付けており、立って話すのも辛いので、横になっています。昨年脳血栓で倒れて以来、右半身が不自由になったが、薬の飲み合わせが悪かったのでは…と思う。あの医者殺して、自分も死にたい。ちょうど今、どうすれば自殺できるかを考えていた。生きていても、何も面白い事はない。〈医者に対する怒りを爆発させたり、ふさぎ込む発言をされており、ストレスがたまっている様子でした〉。(74歳男性、一人暮らし、担当：矢萩、竹内)

・足が悪いので、車椅子を使用している。ヘルパーは週に3回来てくれます。震災前に住んでいた所は、街自体が気さくな感じで、良かった。〈時間が経つにつれ、舌が滑らかなになり、笑顔も出てこられた。実家が商売をされていたという事で、快活な方でした。とにかく、前向き!!〉。(84歳女性、一人暮らし、担当：矢萩、竹内)

・バスが通るようになって、とても便利になった。でも住宅内にコンビニがなく、ちょっとした物を買う時に不便。ドアが、非常に重たいです。(87歳女性、一人暮らし、担当：中谷、矢野)

・足が悪く、耳が遠いです。でも誰とでもよく話すし、毎週火・金のデイサービスに、参加しています。チラシで、手の込んだ折り紙を作るのが趣味です。〈買い物車が破損していたので、修理をしました。笑い声も大きな元気な方で、作品を頂きました〉。(81歳女性、一人暮らし、担当：中谷、若菜、矢野)

・生まれが鳥取なので、年1回は帰郷します。この間の地震は、やはり心配しました。換気扇が油で汚れており、掃除したいが、背が届かず困っていた。今日は、有り難う。ちょうど大きな人が来てくれ、助かった。〈汚れは結構しつこく、完全には取れませんでした。鳥取に知り合いがおり、話が盛り上がりました〉。(84歳女性、一人暮らし、担当：中谷、矢野)

・震災時、火事で何もかも失った。家具のほとんどは、仮設の時、近所から拾ってきた物です。目が悪く・足も痛いので、大変…。収入は、月5万の年金のみです。生活保護を勧められたが、

頑張っている人に悪いので、受けようとは思わない。親類もなく、子供もいないので…心細い。震災前に住んでいた所では知り合いも多かったが、ここでは隣と話すくらいです。〈生活保護を受ける事で、健康的にも無理のない生活が出来ますと、再度お勧めしたところ「考えてみます」とのご返事でした〉。(75歳女性、一人暮らし、担当：鹿島、長船)

11月11日

[復興住宅]

・公営入居後、リウマチの痛みがひどくなり、外出はほとんどしない。ゴミ捨てと通院ぐらいです。隣近所は一人暮らしの年寄りが多く、わざわざ出向いたり訪れるなどして、話す事などはないですね…。これまで水害・震災・津波・地震を経験したが、予告なしで襲ってくる地震が、一番怖かった。〈話がとても盛り上がり、『かみひこうき』を書いて頂いた〉。(73歳、2人暮らし、担当：竹内、赤西)

・月に1回、住民で棟周辺を清掃しており、近所付き合いは良いです。毎日ラジオ体操をした後、20分程度歩き、週に2日は友達と会っています。甥や姪の所へも遊びに行っています。

(71歳女性、一人暮らし、担当：小河、浦口)

・夫は心筋梗塞で、3回手術しました。私は、体が丈夫なので仕事をしたいが、西区のハローワークでは、なかなか見つからない。贅沢を言えないが、出来れば長時間(フルタイム)働きたい。いい情報があったら、教えて下さいね〈フェニックスプラザに求人情報の綴りが置いてある事をお伝えした。←翌週、求人情報(ハローワーク)を入手し、お渡しした〉。(50代、2人暮らし、担当：矢萩)

・電灯の交換を依頼されたので、お手伝いをしました。(60代、?人暮らし、担当：小河、浦口)

・もう間もなく定年になるが、その後の仕事がない。同居している母(90代)は、視力・聴力ともに悪くなっており、その事も含め生活に不安を感じる。国民年金も少ないので、今後の仕事や生活について、相談したい。生活保護等も、検討したいと思ってる。西区役所や玉津の支所へ相談に行ったが、よく聞いてくれない。〈今から外出されるという事でした〉。←後日改めて資料を持参し、説明する予定。(60代、2人暮らし、担当：松田、白岩)

・喘息から脳梗塞を患い、入院した。それ以来…方向音痴になり、住居に帰って来なくなるので、いつも首から住所を書いたカードと5000円を入れた袋をぶら下げている。子供が苦勞しないよう、母はビルを建て、各階…兄弟毎に名義を持たせた。でも、そのビルも震災で被災し、ダメになった。昼間は一人なので、退屈している。また来てくれ。(70歳、6人暮らし、担当：松田、白岩)

・80歳の時に右足の血管が詰まり、6時間にわたる手術を受けた。年が年だから持たないと思ったけど…死に損ないですわ。最近、左足も痛くなってきた…。同居の長男夫婦は店をしているので、朝9時から夜9時まで家にいません。日中は一人なので、死んどってもわかりませんわ。嫁が1日分の食事を作ってくれるので、他に欲しい物がある時は、自分で買いに行きます。最近、近くにバスが通るようになり、便利になりました。(91歳、3人暮らし、担当：矢萩)

・足が悪いので、毎日1万歩歩くよう、医者からいわれてるが、歩けてないな。介護認定で要介護だが、サービスは受けてない。『震災特例打ち切りに反対する』書類に、今日署名をし

た。国民年金で生活しているので、家賃の値上がりはかなわんからなー。私が商売していた市街地の市場も、年々…売り上げは下がる一方。皆、今住んでいる地域に段々なじんできて、安くて新鮮でも…元住んでいた所まで行かなくなったから。知り合いでも「商売にならない」と、まだ若いのに店をたたんで、中央市場へ働きに行っている人がいる…。月1回の大掃除には、皆が参加しています。掃除は口実で、話しするのが、楽しみみたいですね。(71歳男性、一人暮らし、担当：矢萩)

11月18日

[復興住宅]

・貸農園で野菜作りをしたり、近所の方の集りやカラオケに参加しています。明日は、仮設の時の友達と会う事の。仮設の方が、やはり付き合いに深みがあった…。地震の経験は皆程度の違いはあるが、傷の深い人には絶対に忘れられない。何もかも失った時、医者に診てもらい薬も頂き、「何も(お金は)いりませんよ」と言われた事は、本当に嬉しかった。今も忘れない<と…涙ぐまれていた>。(？歳女性、一人暮らし、担当：矢野、土谷)

・息子が介護福祉の学校へ通う事になっていたが、学校が倒産してしまい、結局…入学金8万円は戻ってこなかった。又、見知らぬ男の人から「お宅の息子さんに、金を貸している」という電話があり、息子に尋ねると…知らないとの事。2回目の時、強い態度で言い返すと、二度とかかってこなかった。<消費者センター(苦情相談)のチラシをお渡しした>。愚痴ばかり言って、ごめんね。でも気分がすっきりした。(70代女性、一人暮らし、担当：井上、赤西)

・妻が糖尿病にて、10年来病院にかかっています。私も引越しの時に、ぎっくり腰になり、2年近く通院しています(10分歩く事も、しんどい…)。早く健康になりたい。2人とも、老年の粹に達しており、人生諦めの気持ちです。静かなる人生を送りたい…。(75歳、2人暮らし、本人自筆)

区役所が遠くて、不便です。隣近所の付き合いは、余りない…。集会所へ行く事も、ありません。荷物を三田の方に預けているが、人手や車の調整がつかず、取りに行けないでいます。

(担当：土谷、矢野)

・震災により家が倒壊し、健康上の理由もあり、復興住宅へ入居する事となりました。当初…環境も良好で、ここで安堵する事を楽しみにしておりました。しかし、コミュニティを育てようという意識に欠けた一部の方達がおり、皆が努力しても健全なものになりません。それが残念です。(65歳、2人暮らし、本人自筆)

震災後、心労がたたって左眼が網膜はく離になり、水晶体を外した。片目と一緒になので、階段を下りる時が…怖い。来年、手術で水晶体を入れる予定です。地震の時は、起きて出張の準備をしていたが、寝てたら…助からなかったかもしれない。今でも思い出すと、ゾツとする。仮設の時は皆協力し合っていて、良かった…。公営の自治会は、公私混同せず、ガラス張りに、事前に皆と相談してやって欲しいですね。(担当：矢萩)

・足が悪く、車椅子を利用しています。先日、和歌山の温泉へ子供達が連れて行ってくれ、楽しかった。週1回、医者がリハビリに、看護婦が検診に来てくれます。洗濯をはじめ、日常家事は夫が全てしてくれている。だから将来、夫が動けなくなった時が、不安です。<介護資料をお渡しした。また現在訪問している医者や、LSAに相談するよう、お伝えした>。(90

歳、2人暮らし、担当：矢野、土谷)

・夫は30年前に脳梗塞になり、最近は…痴呆が入ってきた。しかし気分のいい時は、自分の事は自分でしています。私は“膠原病”が悪化し、療養中ですが、手芸で気分転換をしています。今、娘と一緒に住む家を探しています。出来れば、市街地をと…。今日は、色々と話を聞いてもらって嬉しかった。(82歳、2人暮らし、担当：井上、赤西)

・仮設時代は、近隣の為に色々と動き回った。でも公営に入ってから、体調が悪くなりました。耳(一番奥の神経部分)が悪く、大声を聞くと…頭がガンガンするので、読書と手芸で、気を紛らわしています。3人の子供は独立して、遠方にいます。要支援の認定を受けているが、自分で出来る事は、極力行うようにしている。また、定期的にLSAが訪問に来るので、助かっています。今日はわざわざ来てくれて、有難う。(70代女性、一人暮らし、担当：井上、赤西)

・地震の時、逃げるように家を飛び出し、夢中で娘の家まで歩いていくと、火事で燃えていた。一家の安全を知り、家に戻ると…今度は自分の家が燃えていた。60年前にも、三木で大水害に遭い、家を流されました…。子供4人は年の差が少なく、子育てが大変だった。5人目は年があいて楽に育てられたが、高校を卒業した1年後、急逝しました…。今は、仮設で知り合いになった方達と出歩いたり、子供の家に行くなど、元気に忙しく生活しています。(86歳女性、一人暮らし、担当：竹内、鹿島)

11月25日

[復興住宅]

・夫は4年前に仮設で亡くなった。長男も昨年11月に亡くなった。息子に、家の事を色々してもらっていたので、亡くなって以来…体調が悪い。今まで「介護保険の結果が出るまで、何ヶ月もかかる」と言われた事があり、申請を出さなかった。週に1~2回、買い物や掃除をしてくれるヘルパーさんを、頼めないだろうか?〈パンフレットを渡し、大事な所にラインマーカーを引いて、説明をした〉。ケアマネージャーさんと相談して、申請してみます。ありがとう。(79歳女性、一人暮らし、担当：松田、赤西)

・あの震災の朝の事を思い浮かべ、いざペンを取り書こうと思うと、涙が出て…胸が熱くなり、考え付く事は支離滅裂、まとまりが付きません。現在はこの住宅に住まわせて頂き、有難いという感謝の日々です。しかし、夫は健康が優れず、病院通いの毎日。震災の時は命があっただけでも喜び合いましたが、最低の年金で…家賃・保険等色々考え、あと何年生きていかねばならないかと思うと、不安な気持ちです…。新聞に、『震災の時、モンゴルの青年達が「隣の国が大変だ。毛布をみんなで集めよう」と草原を駆け回った。経済的には決して豊かといえない国だが、人々が助け合い、豊かな心で生活している。(略)すべてを満たされなければ、価値や満足は得られないのだろうか。本当の豊かさとは、欲望をコントロールできる、自立した人間に与えられるものであろう。』と、ありました。胸が熱くなり、震災のあの時の…皆様からの援助の有難さを思い出し、また考えさせられました。(74歳、2人暮らし、本人自筆)

体調が悪く、足腰も弱り…杖を使用しています。集会場へ行く時は普通の杖を、買い物等少し遠くへ行く時は…椅子代わりにする杖を使い、疲れると開いて座っています。息子が買ってきてくれました。息子は東京で一人暮らしをしており、帰って来るのは盆・正月くらいです。

(担当：吉本・矢萩)

・60年以上も吸ってきたタバコを、5月に止めてから…すっかり体調が良くなりました。血の循環が良くなったせいか、足のしびれもなくなり、今では足腰がしゃんとしています。元気になったので、朝早くからあちこちへ出掛けますが、妻から「家の事をしてから出かけて…」と言われてます(笑)。(85歳、2人暮らし、担当：吉本、矢萩)

・薬を数種類飲んでいるが、元気です。また出来るだけ外を歩くよう、心掛けています。ケアラインや非常用のベルを付けており、身分証明も常に身に付けています。デイサービスや集会場での催しにも参加し、知り合いを作るようにしていますが、週末ボランティアさんにも定期的に、訪問して欲しいです…。(84歳女性、一人暮らし、担当：中塚、赤西)

・震災から6年が過ぎ、当時の悪夢も忘れがちです。でも、こうしてボランティアの訪問を受ける度に、風化し…忘れがちな悲惨だった事、何とか立ち直るため努力した姿、暖かい手を差し出してくれた皆様の努力等、当時の記憶を呼び起こしてくれます。御礼の申し様もありません。今後もこの暖かい手の温もりを、年老いた人達へ、希望を失いかけた方々へと、お願い致します。私自身、ペースメーカーを入れており、健康には留意しております。(73歳、2人暮らし、本人自筆)

戦争の時、呉の海軍工廠でグラマン戦闘機の攻撃を受け、周囲にいた仲間は死んだが、私は生き残った。震災の時も、家はメチャクチャで、当日寝ていたら助からなかったと思うが、千葉の娘の家に泊まっていた。悪運が強いのか、九死に一生を得ています。娘達は、震災時に私達がボランティアの世話になったのを見て、今では様々なボランティア活動に参加しています。仮設では外に出ると、すぐ人の姿が見えたが、ここではほとんど見えず…寂しいですね。また、いらして下さい。(担当：吉本、矢萩)

・被災時、父・娘でタンスの下敷きになった。その後小学校へ避難したが、寒さと飢えで親子3人共、肺炎になり入院した。それまで家族3人で働いていたが、震災で健康を害し、全員…働けなくなった。全壊の家から荷物を何一つ取り出せなかったのも、仮設や公営住宅入居の際、親類に全て世話になり、今も借金を返せないままで、申し訳なく思っている。父は2年前に亡くなり、足が悪く…耳も遠い母(75歳)は、余計元気をなくしている。仮設では、声を掛け合い賑やかだったが、ここでは昼間人の姿を余り見かけず…心細い。皆、どうしてるのかと思う。この前大きな地震があった時、建物から多くの住民が出てきて、やっぱり人が住んでいたと感じた。寝付きが悪いので、眠剤を毎日、母娘で飲んでいきます。(39歳、2人暮らし、担当：矢野、鹿島)

・4階の友達がよく訪ねてくれるので、安心している。おかずもよく持ってきてくれる。また家族も来てくれるので、身の回りの問題はないです。〈体調も大変よさそうで、明るくお話しをして下さった〉。(83歳女性、一人暮らし、担当：松田、浦口)

12月2日

[復興住宅]

・10年前に主人を亡くしてからは、一人暮らし。この住宅は仮設時代の知り合いが多く、行き来しています。〈前回訪問の後、「台所を掃除して欲しい」と電話があり、きれいに掃除しました〉。(75歳女性、一人暮らし、担当：竹内、小田)

・車椅子に乗り、介助者なしで震災前に住んでいた市街地のリハビリ施設や病院へ通っている。地下鉄も駅員の世話にならず、一人で乗ります。リハビリで始めたジグソーパズルに興味を持

ち、3000～5000ピースの作品を30点ほど仕上げた。身近に親類はいないが、友人は多く、結構付き合いもあります。〈脑梗塞の為、右半身不随だが、身の回りの事はほとんどご自分でされ、何事にも前向きに取り組まれている方でした〉。(59歳男性、一人暮らし、担当：矢野、矢萩)

・体調はまずまずです。腰が痛い時もあるが、医者にかかるほどではない。近くに親類がおり、ご近所とも仲良くやっています。ただ、地震の時の怖さは、今でも忘れられません。(60代女性、一人暮らし、担当：鹿島、西)

・3年間過した仮設では、仲の良い人がたくさん出来ました。今はグランドゴルフが楽しみです。バスが近くを通るようになったので、外出するのも楽になりました。(76歳女性、一人暮らし、担当：川口、井手上)

・70歳になって…先行き何の希望もありません。公営に移ってから喘息で…時折、夜に発作が起きます。心臓も悪く、今年は自宅で3回倒れました。緊急通報用の装置はあるが、救急車が来ると近所の人が心配するので…使った事はない。震災では、家が潰れ外に出られなくなったが、手元にあったドライバーで、塞いでいた板に穴を開けて脱出した。近所では生き埋めのまま、救出できず焼死した知人もいました。ここでは近所の子供達が、よく遊びに来てくれます。〈部屋の中は子供達の写真で一杯で、子供に好かれるおじいさんという印象でした〉。(70歳男性、一人暮らし、担当：鹿島、西)

・車椅子での生活に大分慣れ、今では市街地にも行ってます。花を育てるのが楽しみで、水やりが日課になっています。(59歳男性、一人暮らし、担当：中谷、青木)

・特定疾患の為、入退院を繰り返し、今はベッド待ちの状態です。今度病院に入った新しい治療薬に、望みをかけています。震災当時はボランティアもしたが、2年後寝たきり状態に…。車椅子での生活になった当初はショックでしたが、リハビリに通い始めてから、気分的に落ち込まなくなりました。近くにいる母が週1回来て、食事の支度など面倒をみしてくれる。買い物と洗濯は自分でやっています。(30代男性、一人暮らし、担当：中谷、青木)

12月9日

[復興住宅]

・住宅内の行事は色々あるが、体力的に心配で…参加してません。でも、ラジオ体操だけは部屋の中でゆっくりやっています。〈似顔絵を描いて差し上げると大変喜ばれ、「今日はとてもいい日でした。またぜひ来てください」との事でした〉。(81歳女性、一人暮らし、担当：遠藤、白岩)

・震災で妻を亡くし…来年の1月17日は7回忌です。毎日、散歩するよう心掛けています。〈なかなかお元気なご様子でした〉。(86歳男性、一人暮らし、担当：遠藤、白岩)

・仮設の時は近所付き合いが頻繁にあり…友達も多かった。ここは高層マンションのように各戸が区切られ、外に出ても人と会う事がなく、話し相手も少ないので…寂しい思いをしています。(60代、2人暮らし、担当：佐沢、東條)

・以前、十二指腸潰瘍と胃潰瘍で入院した事があり、今度胃カメラで検査する予定だが、余りが進まない。ここでの生活が気に入っているので、今では…被災前住んでいた所に帰りたいたいと思いません。デイサービスや旅行に行き…そしてボランティアにも参加しています。〈植木や花、手作りの品々がたくさんあり…驚きました。穏やかな笑顔が印象的な、とても楽しい方

でした〉。(77歳女性、一人暮らし、担当：竹内、木原)

・20年間パート勤めをしていたが、体がしんどくなったのと不況が重なり…最近退職した。年金生活は苦しいので、健康なうちにいい仕事があれば、働きたいと思いますが…。被災前に住んでいた市街地の市場は再建したものの、周辺の住民が元に戻らず…商売繁盛とはいかないようです。(60代女性、一人暮らし、担当：佐沢、東條)

12月16日

[復興住宅]

・ここは不便で、買い物に行くのも通院も大変です。便利のいい所に入りたかったが、最後まで当たらず…結局ここに入れられたという気持ちです。今は一人暮らしの寂しさ・怖さを感じます。もし、倒れた時の事を考えると…ぞっとする。最近、上の階から水の入ったペットボトルが投げ落とされ、けが人が出た事もあり…とても心配です。(76歳女性、一人暮らし、担当：竹内、鍋田)

・被災後、他県での避難生活を経て、ここへ入居しました。避難先で頂いた物は何一つ捨てずに、今も大切に使っています。その時の好意を忘れずにいたいのです…。「命あればこそ」ですから、最低の生活をしていても、幸せです。物はなくても、貧しいとは思いません。震災には遭いましたが、避難先で交流が出来たし、こうして生活出来るだけでも幸せと思っています。(72歳、2人暮らし、担当：井手上、東條)

・仮設の時に仕事がなく、ビールばかり飲んでいたので悪かったのか、糖尿病に…。病院にも通ったが、状態が変わらないので行かなくなった。歯が抜け、足の裏は何かを踏んでるような感じで…痛い。妻は飲食店に勤めているが、不況で残業が少なくなり、収入も減ったので…家賃を払うのはこたえる。私も仕事したいが、手が不自由なせいかな…なかなか採用してもらえない。もうあきらめてます。〈秋のもみじが葉の落ちる前、最後の錦を飾るように…人生も60からと思って、諦めずに1日1日を送られるよう、お伝えした〉。(60代、2人暮らし、担当：小波本、矢萩)

12月23日

[復興住宅]

・身の回りの事は全部出来るのに、かかりつけの医者から「介護保険のサービス」を使うように勧められ、困っています。〈「海外にいる孫へ手紙を書きたいが、住所の書き方がわからないので教えて欲しい」と言われ、見本を書いて説明したところ、大変喜んでおられた。とても元気で、ハキハキとお話される方でした〉。(73歳女性、一人暮らし、担当：赤西、大久保)

・12年前に腰の骨を折って第1～第5関節まで麻痺しており、今もリハビリ中です。毎日1万3千歩を目標に、この近辺を歩いている。集会所の行事にも、時々参加しています。仮設から公営に移って、「寂しい」という声をよく聞くが、自分から人と接する努力が必要だと思う。私は、できるだけ人と会うようにしています。(70代女性、一人暮らし、担当：赤西、大久保)

・おかげさまで元気にしています。ここは3人のLSAが巡回してるけど、仮設にいた頃は、毎日のようにボランティアが来ていたなー。(70代女性、一人暮らし、担当：赤西、大久保)

・肝臓が悪く、市街地まで毎日通院しています。ここは買い物が不便ですし、坂ばかりで…本

当に嫌になる。仮設で知り合った友達はこちらに住んでいるが、部屋を訪ねて行き来するという気にはならない。以前はテキパキと物事をこなしましたが、今は何をするのも億劫で…好きな手芸や園芸をする気も起きません。〈震災前と今の環境が余りに異なり、精神的に参っているご様子。今日は部屋で会話できた事が、気晴らしになったようです〉。(73歳女性、一人暮らし、担当：堀内、丸笹)

・高血圧で、年内にかかりつけの医者に行くつもりですが、この寒さのせいか、急に左膝が痛くなり…困っています。足が痛くない時はよく外へ出掛けてますが…。この住宅は気に入っています。(60代女性、一人暮らし、担当：堀内、丸笹)

・震災後しばらくは夫が働いていたので、公団の空家入居を勧められていた。仮設で夫が定年になり…この公営に入居しました。去年夏、近所の盆踊りの帰り道で見たこの住宅の灯りが、とても美しかった。田舎から来た姉と一緒に見に行ったら、「こんな美しいもの…初めて見た」と喜んでくれた。〈明るい方で、近所の人々の話し相手になっているご様子でした〉。(62歳、2人暮らし、担当：丸笹、堀内)

・歯が抜けてしまって、下の前歯1本しか残っていない。男の一人暮らしで何も出来ず…食事は外食になりがちです。大阪と神戸にいる息子は時々来てくれます。(74歳男性、一人暮らし、担当：篠原、竹内)

・大病をし、月1回、西区の病院へ通っている。息子がよく来るので、困った事はないし、元気でやっています。不便なのは仕方ないです。(？歳男性、一人暮らし、担当：竹内、篠原、浦口)